

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	01
担当教員	浅田 義久	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3132	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，専門研究（二），卒業論文を通じて，経済学，特にミクロ経済学と計量経済学を社会に出で活用できる能力を取得することを目的とします。そのために，専門研究（一）では基礎的な分析方法を身につけるようにする。 対応 DP 及び CP：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
学主目標で記したように，本講義は社会で用いられるように日常をミクロ経済学で検討し，それをデータを元に検証していきます。 そのため，ミクロ経済学，計量経済学以外にも GIS や機械学習などを授業外でも学習していきます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	どのように授業を進めるか、どのような自習が必要かを学びます。 全員がテキストを読んでおく。 【事後学習】2 時間 各班でスケジュールを相談する。
第 2 回	テキスト第 1 章の説明と問題解答	A 班が 1 章の説明を行い、C 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 1 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、1 章の内容を理解しているかを復習する。
第 3 回	テキスト第 2 章の説明と問題解答	A 班が 2 章の説明を行い、C 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 2 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、2 章の内容を理解しているかを復習する。
第 4 回	テキスト第 3 章の説明と問題解答	B 班が 3 章の説明を行い、D 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 3 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、3 章の内容を理解しているかを復習する。
第 5 回	テキスト第 4 章の説明と問題解答	D 班が 4 章の説明を行い、A 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 4 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、4 章の内容を理解しているかを復習する。
第 6 回	テキスト第 5 章の説明と問題解答	A 班が 5 章の説明を行い、D 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 5 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、5 章の内容を理解しているかを復習する。
第 7 回	テキスト第 6 章の説明と問題解答	C 班が 6 章の説明を行い、B 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 6 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、6 章の内容を理解しているかを復習する。
第 8 回	テキスト第 7 章の説明と問題解答	D 班が 7 章の説明を行い、C 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 7 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、7 章の内容を理解しているかを復習する。
第 9 回	テキスト第 8 章の説明と問題解答	B 班が 8 章の説明を行い、A 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 8 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、8 章の内容を理解しているかを復習する。
第 10 回	テキスト第 9 章の説明と問題解答	A 班が 9 章の説明を行い、C 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 9 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、9 章の内容を理解しているかを復習する。

第 11 回	テキスト第 10 章の説明と 問題解答	D 班が 10 章の説明を行い、B 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 10 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、10 章の内容を理解しているかを復習する。
第 12 回	テキスト第 11 章の説明と 問題解答	B 班が 11 章の説明を行い、C 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 11 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、11 章の内容を理解しているかを復習する。
第 13 回	テキスト第 12 章の説明と 問題解答	A 班が 12 章の説明を行い、DC 班が問題を解説する。 【事前学習】2 時間 全員が 12 章を読み、問題を解く。 【事後学習】2 時間 報告者の評価を行い、12 章の内容を理解しているかを復習する。
第 14 回	前期の総括試験	1 章から 12 章の問題から抽出した問題を解く。 【事前学習】2 時間 1 章から 12 章までを総復習する。 【事後学習】2 時間 出された問題を復習しておく。
第 15 回	前期の復習と後期の研究 課題の決定	前期の復習を行い、後期の自主研究の班分けを行う。 【事前学習】2 時間 自主研究の研究課題を考える。 【事後学習】2 時間 決まった自主研究の研究課題に関する先行研究を検討する。
第 16 回	自主研究の方向性の検討 (1)	A,B 班の自主研究の方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 各班で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 A,B 班の自主研究の方向性に関して議論し、フィードバックする。
第 17 回	自主研究の方向性の検討 (2)	C,D 班の自主研究の方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 各班で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 C,D 班の自主研究の方向性に関して議論し、フィードバックする。
第 18 回	自主研究の報告 I (1)	A 班の自主研究で必要な理論的背景、先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】2 時間 A 班の報告に対してフィードバックする。
第 19 回	自主研究の報告 I (2)	B 班の自主研究で必要な理論的背景、先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】2 時間 B 班の報告に対してフィードバックする。
第 20 回	自主研究の報告 I (3)	C 班の自主研究で必要な理論的背景、先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】2 時間 C 班の報告に対してフィードバックする。
第 21 回	自主研究の報告 I (4)	D 班の自主研究で必要な理論的背景、先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間

		各班でも理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】2 時間 D 班の報告に対してフィードバックする。
第 22 回	自主研究の報告Ⅱ（1）	C 班の自主研究で用いる実証分析の先行事例と必要データに関して報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも実証分析の先行事例と必要データ調べる。 【事後学習】2 時間 C 班の報告に対してフィードバックする。
第 23 回	自主研究の報告Ⅱ（2）	D 班の自主研究で用いる実証分析の先行事例と必要データに関して報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも実証分析の先行事例と必要データ調べる。 【事後学習】2 時間 D 班の報告に対してフィードバックする。
第 24 回	自主研究の報告Ⅱ（3）	A 班の自主研究で用いる実証分析の先行事例と必要データに関して報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも実証分析の先行事例と必要データ調べる。 【事後学習】2 時間 A 班の報告に対してフィードバックする。
第 25 回	自主研究の報告Ⅱ（4）	B 班の自主研究で用いる実証分析の先行事例と必要データに関して報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも実証分析の先行事例と必要データ調べる。 【事後学習】2 時間 B 班の報告に対してフィードバックする。
第 26 回	自主研究の報告Ⅲ（1）	D 班の自主報告最終報告を行い、専門研究（二）への各自の研究テーマを報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも最終報告を行い、専門研究（二）への各自の研究テーマを検討する。 【事後学習】2 時間 D 班の報告に対してフィードバックする。
第 27 回	自主研究の報告Ⅲ（2）	A 班の自主報告最終報告を行い、専門研究（二）への各自の研究テーマを報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも最終報告を行い、専門研究（二）への各自の研究テーマを検討する。 【事後学習】2 時間 A 班の報告に対してフィードバックする。
第 28 回	自主研究の報告Ⅲ（3）	C 班の自主報告最終報告を行い、専門研究（二）への各自の研究テーマを報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも最終報告を行い、専門研究（二）への各自の研究テーマを検討する。 【事後学習】2 時間 C 班の報告に対してフィードバックする。
第 29 回	自主研究の報告Ⅲ（4）	B 班の自主報告最終報告を行い、専門研究（二）への各自の研究テーマを報告する。 【事前学習】2 時間 各班でも最終報告を行い、専門研究（二）への各自の研究テーマを検討

		する。 【事後学習】2 時間 B 班の報告に対してフィードバックする。
第 30 回	まとめ	各自の専門研究（二）の研究テーマを検討する。 【事前学習】2 時間 各自の研究テーマをまとめる。 【事後学習】2 時間 各自の報告に対してフィードバックする。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
適宜授業で提示する。
参考文献
適宜授業で提示する。
オフィスパワー
オフィスパワーは適時変更します。事前に下記の WEB を参考にアポイントを取ること。 https://sites.google.com/a/nihon-u.ac.jp/asada/
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ミクロ経済の理解ができており、PC 操作もある程度習得している学生が望ましい。該当しない学生の履修は難しい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	02
担当教員	有馬 守康	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では以下の能力を身につけることを目標としています。 1. 経済学の基本的な考え方を身につけることができる。 2. 経済学の考え方に基づき、問題発見・解決能力を身につけることができる。 3. グループワークを通じ、自分にはない考え方を理解し尊重し、協働する精神を養うことができる。 対応 DP 及び CP : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では、まず主にミクロ経済学、特にその中でもゲームと情報の経済学を中心に基礎を固めていきます。それによって、各経済主体がおかれた駆け引きの生じる様々な制約下での最適化行動を理解できるようになります。また、それらがあらゆる個人や集団、社会や世界の経済問題を紐解き解決するツールとしての有効性を認識できるようになることを目指します。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	本講義の目的・内容・成績評価法・受講上の注意の説明・テキストの発表の分担決め・教員および学生の自己紹介。 【事前学習】2 時間 EcoLink 等で配布した資料に目を通し、理解したうえで講義に臨むこと。 【事後学習】2 時間 本講義での内容を確認し、今後の講義に備えること。
第 2 回	ミクロ経済学 I の復習とこれからの講義内容	1 年次のミクロ経済学の大まかな復習を講義したうえで、本講義で行う内容の違いを明確化に理解すること。 【事前学習】2 時間 ミクロ経済学 I を復習してくること。 【事後学習】2 時間 本講義で使用するテキストを概観すること。
第 3 回	2 章 ゲーム理論のやり方	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	2 章 混合戦略	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	3 章 競争と協力	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	3 章 囚人のジレンマ	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	4 章 同時手番の寡占	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	4 章 価格競争と数量競争	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	5 章 ベイジアンゲーム	指定したテキストの内容を順番に報告する。

		【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	5 章 オークションの理論	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	6 章 時間を通して行われるゲーム	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	6 章 サブゲーム完全均衡	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	7 章 駆け引き	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	7 章 逐次手番の寡占	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	8 章 2 段階ゲーム	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	8 章 2 段階ゲーム：寡占	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	9 章 協力の発生	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ

		ート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	9 章 繰り返し契約か	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	10 章 評判	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	10 章 会社やブランドの評判	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	11 章 交渉の理論	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	11 章 協力ゲームと非協力ゲーム	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	13 章 リスクと保険	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	13 章 状態空間分析	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	14 章 モラルハザード	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	14 章 エージェンシー問題	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	1 5 章 逆選択	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	1 5 章 逆選択の事例分析	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	1 6 章 スクリーニング	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	1 6 章 スクリーニングの事例分析	指定したテキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	10%	60%	0%	100%
評価の特記事項					
やむを得ず欠席をする場合は必ず連絡をすること。提出物は必ず提出すること。					

テキスト
神戸伸輔著『入門ゲーム理論と情報の経済学』, 日本評論社, 2004 年, 2500 円(税抜) 嶋村紘輝他著『入門ミクロ経済学』, 中央経済社, 2002 年, 3200 円(税抜)
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
金曜 6 限 (18:00~19:30)
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
遅刻, 私語など他の学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。 専門科目の基礎となる科目なので, 十分な予習・復習に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	03
担当教員	安藤 至大	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3122	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
このゼミでは、うまい仕組みの作り方を学びます。具体的には、まずゲーム理論と契約理論について学習した上で、契約や組織、制度のデザイン方法を検討します。うまい仕組みとは、人々が自分の欲求にしたがって素直に行動するだけで、望ましい結果が得られるような制度やルールを意味しています。 例えば、日本大学経済学部でのゼミナール入室試験について、いまの実施方法よりも学生の満足度を向上させるためにはどのような取り組みが効果的でしょうか。また企業が新入社員を選ぶとき、どのような選考方法を用いれば適性のある人材を採用できるのでしょうか。 役に立つ道具としての経済学を身に付けることで、このような具体的な社会的・経済的課題を解決できるようになりましょう。 対応 DP 及び CP : 5、6、7、8
授業概要（教育目的）
2 年次では、ゲーム理論と契約理論を学ぶために、教科書の輪読を行います。書いてある内容を理解する能力、また他人に伝えるプレゼンテーション技術を向上させましょう。そして経済理論を現実の問題に応用する力を身につけましょう。 対応 DP 及び CP : 5、6、7、8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	学生の自己紹介を行う。ゼミでの研究内容について確認し、理解を深める。利用する教科書等の紹介と輪読の方法について議論する。 【事前学習】2 時間 ゼミシラバスの内容を確認する。また 1 年生の時に学んだミクロ経済学 1 の内容を復習しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 2 回	活動の準備	最大化問題の解き方を確認する。具体的な練習問題を解くことを通じて、計算に慣れる。ゼミで利用している共有ノートサービス（Scrapbox）の使い方を理解する。 【事前学習】2 時間 事前に配布される練習問題に目を通しておく。高校までで学習した同関数の求め方を復習しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 3 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 6 章から輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 4 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 6 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 5 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 6 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 6 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 7 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。

第 7 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 7 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 8 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 7 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 9 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 8 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 10 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 8 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 11 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 8 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 12 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 9 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 13 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 9 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分

		を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 14 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 9 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 15 回	前期のまとめ	前期に扱った内容を確認する。後期の進め方について議論する。 【事前学習】2 時間 これまでの学習内容を整理しておく。 【事後学習】2 時間 前期のゼミ活動で得た知識を他人に説明できるようになることを目標として、復習する。
第 16 回	後期のイントロダクション	後期のゼミの進め方について、グループワークの運営について確認する。割り当てを決定する。 【事前学習】2 時間 問題集の内容をあらかじめ把握しておく。 【事後学習】2 時間 グループワークの進め方について、また上級生との連絡手段について確認する。
第 17 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 6 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 18 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 6 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 19 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 7 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 20 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 7 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は

		事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 21 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 8 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 22 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 8 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 23 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 9 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に上級生に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 24 回	現実の課題の調査研究	2 年生と 3 年生でグループを作って行う現実の調査研究について、グループ分けを行う。またテーマ決定を行う。 【事前学習】2 時間 どのようなテーマを扱いたいのかを事前に考えておく。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 25 回	現実の課題の調査研究	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 26 回	現実の課題の調査研究	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 27 回	現実の課題の調査研究	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。

		【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 28 回	現実の課題の調査研究	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 29 回	報告会	調査研究の結果をグループ毎に発表する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 他グループから発表された内容を理解するために、報告資料を確認する。
第 30 回	一年間のまとめ	一年間の活動内容を振り返る。 【事前学習】2 時間 ゼミで行ってきた活動内容を個人で振り返っておく。 【事後学習】2 時間 次年度に行いたい活動について考えておく。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
報告等を担当する際の取り組みだけでなく、他の学生による報告等に関する議論への積極的な関与を評価の対象とする。					

テキスト
神取道宏（2016）『ミクロ経済学の力』（日本評論社）のゲーム理論のパート 神取道宏（2018）『ミクロ経済学の技』（日本評論社）のゲーム理論のパート（練習問題）
参考文献
ゼミにおいて指示する。
オフィスアワー
ゼミの初回に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
具体的な仕組みづくりなどを考える前に、まずは分析ツールとしてのゲーム理論等をよく理解することが求められます。自分が報告を担当する部分だけ勉強するのではなく、ゼミで扱われるすべての内容を理解できるように、主体的に学ぶことが必要です。 「ここは理解した」と言えるためには、その内容を何も見ずに再現できることが前提となります。自信を持って理解していると言える内容を増やしていきましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	04
担当教員	池本 修一	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	7043	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
現代の世界には様々な経済システムが存在する。アメリカ型資本主義，日本型資本主義，大陸欧州型資本主義，中国型社会主義などさまざまである。本専門研究では当該課題に関する経済関連文献の輪読，発表などを通じて世界の現状を理解し説明する能力を身につけ，同時に論理的・批判的思考力，問題発見・解決能力をも体得できるよう指導する。 対応 D P 及び C P : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
年度ごとに注目すべきテーマを選択し，それに該当する文献の輪読と発表を，単独あるいはグループに分けて行う。本年度はノーベル経済学賞に最も近いといわれるダロン・アセモグル & ジェイムズ・ロビンソン著『国家はなぜ衰退するのか』を取り上げる。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	課題図書『国家はなぜ衰退するのか』 第 1 章 こんなに近いのに、 こんなに違う 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 2 回	第 1 章 こんなに近いのに、 こんなに違う 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 3 回	第 2 章 役に立たない理論 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 4 回	第 2 章 役に立たない理論 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 5 回	第 3 章 繁栄と貧困の形成 過程 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 6 回	第 3 章 繁栄と貧困の形成 過程 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 7 回	第 4 章 小さな相違と決定的な岐路 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 8 回	第 4 章 小さな相違と決定的な岐路 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 9 回	第 5 章「私は未来を見た。 うまくいっている未来を」前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 10 回	第 5 章「私は未来を見た。 うまくいっている未来を」後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポート

		を作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 11 回	第 6 章 乖離 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 12 回	第 6 章 乖離 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 13 回	第 7 章 転換点 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 14 回	第 7 章 転換点 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 15 回	第 8 章 縄張りを守れー発展の障壁 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 16 回	第 8 章 縄張りを守れー発展の障壁 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 17 回	第 9 章 後退する発展 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 18 回	第 9 章 後退する発展 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 19 回	第 10 章 繁栄の広がり 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 20 回	第 10 章 繁栄の広がり 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 21 回	第 11 章 好循環 前半	当該節の輪読と発表。

		【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 22 回	第 11 章 好循環 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 23 回	第 12 章 悪循環 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 24 回	第 12 章 悪循環 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 25 回	第 13 章 こんにちは国家はなぜ衰退するのか 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 26 回	第 13 章 こんにちは国家はなぜ衰退するのか 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 27 回	第 14 章 旧弊を打破する 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 28 回	第 14 章 旧弊を打破する 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 29 回	第 15 章 繁栄と貧困を理解する 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 30 回	第 15 章 繁栄と貧困を理解する 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
原則的に授業への出席と発表によって評価する。					

テキスト
ダロン・アセモグル&ジェイムズ・ロビンソン著『国家はなぜ衰退するのか』早川書房，2016 年を使用する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
火曜日 4 時限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業に必ず出席し，発表，質疑応答などを積極的に行ってほしい。テキストは内容が豊富で難解であるので，学生は十分に予習をしてほしい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	05
担当教員	石川 恵子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3124	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
業界分析・企業不正の事例について調べ、健全なコーポレート・ガバナンスのあり方について議論をすることを学習目標としています。 対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
学生が調べた業界分析・企業不正の事例についてグループディスカッションを行い、健全なコーポレートガバナンスのあり方を学びます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容・講義形式・評価方法・履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 資料をよく復習し、講義中に出てきたキーワードを理解すること。
第 2 回	レポートの書き方について (1)	レポートの書き方について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 レポートの書き方について説明する。 事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 資料をよく復習し、講義中に出てきたキーワードを理解すること。
第 3 回	レポートの書き方について (2)	レポートの書き方について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 4 回	レポートの書き方について (3)	レポートの書き方について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間
第 5 回	業界分析について (1)	業界分析の方法を説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 6 回	業界分析について (2)	業界分析の方法を説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 7 回	業界分析について (3)	業界分析の方法を説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 8 回	レポートの発表	第 1 回～第 7 回までの講義に基づいて、レポートを発表してもらう。 【事前学習】2 時間
第 9 回	企業不正の事例 (1)	企業不正の事例について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。

第 10 回	企業不正の事例 (2)	企業不正の事例について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 11 回	企業不正の事例 (3)	企業不正の事例について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 12 回	コーポレートガバナンス (1)	健全なコーポレートガバナンスについて議論する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 13 回	コーポレートガバナンス (2)	健全なコーポレートガバナンスについて議論する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 14 回	コーポレートガバナンス (3)	健全なコーポレートガバナンスについて議論する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 15 回	レポートの発表	第 9 回～第 14 回までの講義に基づいて、レポートを発表してもらう。 【事前学習】2 時間
第 16 回	グループディスカッション (1)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 17 回	グループディスカッション (2)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 18 回	グループディスカッション (3)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 19 回	グループディスカッション (4)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間

		Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 20 回	グループディスカッション (5)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 21 回	グループディスカッション (6)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 22 回	グループディスカッション (7)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間
第 23 回	グループディスカッション (8)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 24 回	グループディスカッション (9)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 25 回	グループディスカッション (10)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 26 回	グループディスカッション (11)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 27 回	グループディスカッション (12)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 28 回	グループディスカッション (13)	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間

		授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 29 回	グループディスカッション (14)	グループディスカッションの振り返りを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 30 回	まとめ	第 1 回～第 29 回までのまとめ。 【事前学習】2 時間

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
	60%		40%		100%
評価の特記事項					
GoogleForms を使用して、当日の意見・質問をとるので、期限内に提出すること。					

テキスト
授業時に指示する.
参考文献
吉見宏『ケースブック監査論第 5 版』新世社,2013 年, 2500 円.
オフィスアワー
月曜日 13 時～14 時 面会を希望される場合は、事前に連絡をし、相談内容を伝えて下さい。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	06
担当教員	石田 教子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3133	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
制度派経済学についての理解を深めながら、特に、以下の項目に関わるオーラルスキルを身につけます。 1) 制度派経済学が経済学史上どのように位置づけられるかを説明できる。 2) 制度派経済学の諸理論の特徴を捉え、現代の経済社会との接点を実感できる。 3) 市場や価格の動きだけではなく、社会における思考習慣、規範、制度、法などが経済活動に及ぼす影響を考察できる。 対応 DP 及び CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本授業はゼミナールです。制度派経済学の理解を深めるために、まず経済学史の基本的な知識について解説し、18 世紀から 21 世紀に至る経済学の知のあり方の変遷をたどります。そして、私たちの身近にある問題群を経済学的な視点から捉えることで、さまざまな経済現象を独自の視点から解釈し、それについて自らの意見を表明できるように導きます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	自己紹介を行い、ゼミナールの進め方を説明します。発表の順番やゼミナール内の係を決めます。テキストの輪読の分担も決めます。 【事前学習】2 時間 制度派経済学について調べてくること。 【事後学習】2 時間 決定事項をよく復習し、次回のテキストの輪読範囲を精読する。
第 2 回	経済学史の教養を深める (第 1-2 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 3 回	経済学史の教養を深める (第 3-4 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 4 回	経済学史の教養を深める (第 5-6 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 5 回	経済学史の教養を深める (第 7-8 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 6 回	経済学史の教養を深める (第 9-10 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。

		【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 7 回	経済学史の教養を深める (第 11-12 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 8 回	経済学史の教養を深める (第 13-14 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 9 回	経済学史の教養を深める (第 15-16 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 10 回	経済学史の教養を深める (第 17-18 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 11 回	経済学史の教養を深める (第 19-20 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 12 回	経済学史の教養を深める (第 21-22 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間

		テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 13 回	経済学史の教養を深める (第 23-24 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 14 回	経済学史の教養を深める (第 25-26 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 15 回	経済学史の教養を深める (第 27-28 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 16 回	2-3 年生合同 書評レポート発表会	夏休みの課題（制度派経済学に関する図書を自ら選び、書評を執筆する）の成果について発表を行う。 【事前学習】2 時間 前日までにレポートを提出し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 振り返りを提出する。
第 17 回	経済学史の教養を深める (第 29-30 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 18 回	経済学史の教養を深める (第 31-32 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はそ

		の準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 19 回	経済学史の教養を深める (第 33-34 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 20 回	経済学史の教養を深める (第 35-36 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 21 回	経済学史の教養を深める (第 37-38 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 22 回	経済学史の教養を深める (第 39-40 章)	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 23 回	グループワーク ディベート①	2 つのグループに分かれ、共通の課題については是非を考察する。ディベートの準備を行う。 【事前学習】2 時間 指定されたテーマについて情報・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 情報・資料の検討を継続する。
第 24 回	グループワーク ディベート②	2 つのグループに分かれ、共通の課題については是非を考察する。ディベートの準備を行う。 【事前学習】2 時間 指定されたテーマについて情報・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 情報・資料の検討を継続する。
第 25 回	グループワーク ディベート③	2 つのグループに分かれ、共通の課題については是非を考察する。ディベートの

	(討論会)	準備を行う。 【事前学習】2 時間 指定されたテーマについて情報・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 情報・資料の検討を継続する。
第 26 回	グループワーク 共同研究プレゼンテーション①	2 名ずつのチームに分かれ、テーマを選び、問題設定、考察を行う。 【事前学習】2 時間 指定されたテーマについて情報・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 情報・資料の検討を継続する。
第 27 回	グループワーク 共同研究プレゼンテーション②	2 名ずつのチームに分かれ、テーマを選び、問題設定、考察を行う。 【事前学習】2 時間 指定されたテーマについて情報・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 情報・資料の検討を継続する。
第 28 回	グループワーク 共同研究プレゼンテーション③	2 名ずつのチームに分かれ、テーマを選び、問題設定、考察を行う。 【事前学習】2 時間 指定されたテーマについて情報・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 情報・資料の検討を継続する。
第 29 回	グループワーク 共同研究プレゼンテーション④ (発表)	2 名ずつのチームに分かれ、テーマを選び、問題設定、考察を行う。 【事前学習】2 時間 指定されたテーマについて情報・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 振り返りを提出する。
第 30 回	4 年生 卒業論文発表会	4 年生の卒論発表会に参加し、自らの研究課題について模索します。 事前学習】2 時間 卒業論文要旨に目を通し、予習を行う。 【事後学習】2 時間 振り返りを行う。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	0%	60%	0%	100%
評価の特記事項					
プレゼンテーション、指定範囲の予習、積極的な発言やコメント、討論の論理の緻密さなど。					

テキスト
ナイアル・キシテイニー著、『若い読者のための経済学史 (Yale University Press Little Histories)』, すばる舎, 2018 年.
参考文献
授業内で適宜指示する。
オフィスアワー
水曜日 4 限。希望者はメールでアポイントを取ること。 ishida.noriko@nihon-u.ac.jp
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻や無断欠席は一切認めません。退ゼミとなります。バイトやサークルを優先する人には向きません。他者の違いを寛容に受け入れ、共に学び合い、それぞれが自主的に研究を進めることを期待します。 ゼミの見学はいつでも大歓迎です。希望者は参加希望日などを下記のフォームからお知らせください。 https://forms.gle/XfZ9bFPE555KysWi7
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	07
担当教員	井尻 直彦	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	7061	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、ゼミナール受講生が国境を越える経済取引によって発生する諸問題を理解するために必要な基礎的理論を身につけることを目的にします。主なテーマとして国際貿易、海外直接投資および多国籍企業を取り上げ、受講生はこれらの発生要因や経済効果に関して理論的な理解を深め、各国経済の相互依存関係を分析する力を養うことを期待しています。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
グローバル化の進展のなかで複雑化する各国の相互依存関係を知り、その上で国際的経済取引の重要性の高まりの意義を解説します。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	初回 ; はじめに	ゼミナール全体の概要の説明 経済の国際化の意義 【準備学習】2 時間 事前に示された課題に取り組む (提出) 【事後学習】2 時間 CH1 の予習
第 2 回	第 1 クール : 20 世紀の世界経済体制	第 1 次世界大戦, 大恐慌, 第 2 次世界大戦の経験をふまえ、主要国が成立に努力したブレトンウッズ体制の意義を考察する。 【準備学習】2 時間 講義までに参考書でブレトンウッズ体制を学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 世界経済におけるブレトンウッズ体制の意義を説明できるようにすること
第 3 回	第 1 クール : 大戦後の世界経済体制	GATT, WTO の機能と今日の世界各国の国際貿易の状況を理解する。 【準備学習】2 時間 講義までに参考書で GATT, WTO の機能を学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 GATT, WTO の交渉の歴史を説明できるようにすること
第 4 回	第 2 クール : 国際経済取引の基礎理論 : リカードモデル	国際貿易の基礎理論 : リカードモデル 1 (技術格差) 国際貿易発生のパターンを絶対生産費差 (絶対優位説) に基づいて考察し、この考え方の問題点を解説する。 【準備学習】2 時間 講義までに参考書で絶対優位を学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 絶対優位を説明できるようにすること
第 5 回	第 2 クール : 国際経済取引の基礎理論 : リカードモデル	国際貿易の基礎理論 : リカードモデル 2 (技術格差) 国際貿易発生のパターンをリカードの比較生産費差 (比較優位説) に基づいて考察し、国際貿易が経済厚生に与える効果を解説する。 【準備学習】2 時間 講義までに参考書でリカードモデル (比較優位説) を学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 比較優位を説明できるようにすること
第 6 回	第 2 クール : 国際経済取引の基礎理論 : ヘクシャー = オリンモデル	国際貿易の基礎理論 : ヘクシャー = オリンモデル 1 (要素賦存度と要素集約度) 国際貿易発生のパターンをヘクシャー = オリンモデルに基づいて考察し、リカードモデルとの違いを解説する。 【準備学習】2 時間 講義までに参考書でヘクシャー = オリンモデルの概要を学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 リカードモデルとの相違を説明できるようにすること
第 7 回	第 2 クール : 国際経済取引の基礎理論 : ヘクシャー = オリンモデル	国際貿易の基礎理論 : ヘクシャー = オリンモデル 2 ヘクシャー = オリンモデルにおける重要なインプリケーションの一つである要素価格均等化を解説する。 【準備学習】2 時間 講義までに参考書でヘクシャー = オリンモデルの要素価格均等化を学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 要素課価格均等化のインプリケーションを説明できるようにすること
第 8 回	第 2 クール : 国際経済取	国際貿易の基礎理論 : ヘクシャー = オリンモデル 3

	引の基礎理論：ヘクシャー＝オリーンモデル	ヘクシャー＝オリーンモデルにおけるその他インプリケーションであるリブチンスキー定理とストルパー・サミュエルソン定理を解説する。 【準備学習】2 時間 講義までに参考書でリブチンスキー定理とストルパー・サミュエルソン定理を学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 これらの定理のインプリケーションを説明できるようにすること
第 9 回	第 2 クール：国際経済取引の基礎理論：ヘクシャー＝オリーンモデル再考	国際貿易の基礎理論：レオンティエフ・パラドックス これまで解説してきたヘクシャー＝オリーンモデルが予測する貿易パターンを実証的に否定してレオンティエフの分析結果（レオンティエフ・パラドックス）を検討し、ヘクシャー＝オリーンモデルの有効性を再考する。 【事後学習】2 時間 レオンティエフパラドックスを説明できるようにすること
第 10 回	第 3 クール：不完全競争下の国際経済取引：クルーグマンモデル	新貿易理論：独占的競争モデルと国際貿易（製品差別化と規模の経済） これまでの完全競争モデルとは異なり、製品差別化と規模の経済を貿易パターンの決定要因として考慮した不完全競争に基づいて、貿易の発生およびその利益に関して解説をする。まずはクルーグマンモデルにおける製品差別化の概念および役割を説明していく。 【準備学習】2 時間 講義までに参考書でクルーグマンモデルを学習しておくこと。またミクロ経済学等の教科書で製品差別化の概念を学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 このモデルにおける製品差別化、規模の経済の意義を説明できるようにすること
第 11 回	第 3 クール：不完全競争下の国際経済取引：クルーグマンモデル	新貿易理論：独占的競争モデルと国際貿易（製品差別化と規模の経済） 次に、クルーグマンモデルにおける規模の経済の概念および役割を説明していく。 【準備学習】2 時間 講義までに参考書でクルーグマンモデルを学習しておくこと。またミクロ経済学等の教科書で規模の経済の概念を学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 このモデルにおける製品差別化、規模の経済の意義を説明できるようにすること
第 12 回	第 3 クール：不完全競争下の国際経済取引：クルーグマンモデル	新貿易理論：独占的競争モデルと国際貿易（製品差別化と規模の経済） クルーグマンモデルに基づいて国際貿易の発生が経済厚生に与える影響を解説していく。 【準備学習】2 時間 講義までに参考書でクルーグマンモデルを学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 このモデルが経済厚生に与える影響を説明できるようにすること
第 13 回	第 3 クール：不完全競争下の国際経済取引：クルーグマンモデル再考	新貿易理論：独占的競争モデルと国際貿易（製品差別化と規模の経済） クルーグマンモデルの議論を代替するモデルを紹介し、他のモデルでも同様の結論が得られることを解説する。 【準備学習】2 時間 前回までの講義で指定する参考書等で不完全競争貿易モデルを学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 クルーグマンモデルとの相違を説明できるようにすること

第 14 回	理解度の確認	これまでの要点のまとめ 【準備学習】2 時間 これまでの講義で学修した貿易モデルを学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 これまでの講義で学修した貿易モデルのインプリケーションを学習しておくこと。
第 15 回	中間のまとめ	まとめ 【準備学習】2 時間 これまでの講義で学修した貿易モデルを学習しておくこと。 【事後学習】2 時間 これまでの講義で学修した貿易モデルのインプリケーションを復習しておくこと。
第 16 回	第 4 クール： 海外直接投資と多国籍企業の理解 国際収支統計上の取り扱い	海外直接投資、多国籍企業の定義と実際 データでみる海外直接投資の現状およびその意義を解説します。まずは国際収支統計上でどのように海外直接投資が取り扱われており、それがこれまでに日本および世界でどのような変化を遂げてきているかを解説します。 【準備学習】2 時間 マクロ経済学等の教科書で国際収支統計に関して予習しておくこと。 【準備学習】2 時間 これまでの講義で学修した貿易モデルを学習しておくこと。 【事後学習】 国際収支表の構造を説明できるようにすること
第 17 回	第 4 クール： 海外直接投資と多国籍企業の理解 理論的な考察	海外直接投資の理論：水平的海外直接投資 海外直接投資は主に投資目的によっていつかの形態に分けられています。まずはもっとも一般的な形態と言われている水平的海外直接投資の発生とその経済効果を解説します。 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 水平的海外直接投資の定義を説明できるようにすること
第 18 回	第 4 クール： 海外直接投資と多国籍企業の理解 理論的な考察	海外直接投資の理論：垂直的海外直接投資 次に、先進国と途上国間で一般的な垂直的海外直接投資の発生とその経済効果を解説します。 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 水平的海外直接投資と垂直的解体直接投資の相違を説明できるようにすること
第 19 回	第 4 クール： 海外直接投資と多国籍企業の理解 理論的な考察	海外直接投資と国際貿易の理論 海外直接投資の発生が国際貿易のパターンに及ぼす影響を国際貿易理論に基づいて解説します。 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 海外直接投資のタイプと国際貿易パターンを説明できるようにすること
第 20 回	第 4 クール： 海外直接投資と多国籍企業の理解	多国籍企業の理論 ここからは企業の視点からみた企業の海外進出活動を考察します。従来国際経営において扱われていた論点をミクロ経済学により分析を進められ、経済学における多国籍企業理論が確立されてきました。今回はその理論的な系譜を解説します。 【準備学習】2 時間 参考書（ヘルプマン著第 5, 第 6 章）で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間

		企業特殊優位性と多国籍企業化の関連を説明できるようにすること
第 21 回	第 4 クール： 海外直接投資と多国籍企業の理解	多国籍企業の理論 企業が多国籍化する要因をミクロ経済学的視点から解説します。 【準備学習】2 時間 参考書（ヘルプマン著第 5,第 6 章）で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 企業特殊優位性と多国籍企業化の関連を説明できるようにすること
第 22 回	第 4 クール： 海外直接投資と多国籍企業の理解	新「新貿易理論」と多国籍企業の理論 企業の異質性が企業のグローバルな進出戦略に影響を及ぼすという新しい貿易理論を解説します。 【準備学習】2 時間 参考書（ヘルプマン著第 6 章）で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 企業の異質性と多国籍企業化の関連を説明できるようにすること
第 23 回	第 5 クール： 国際経済取引の実証分析	レオンティエフパラドックス再考 第 9 回講義で取り扱ったレオンティエフ・パラドックスを新たに実証分析をした研究報告に基づき、本当にパラドックスが生じているのかを解説する。 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 レオンティエフ・パラドックスの発生理由を説明できるようにすること
第 24 回	第 5 クール： 国際経済取引の実証分析	国際経済取引の障壁：国境効果、非関税障壁 GATT・WTO の長年の取り組みによって主要国の関税率が大幅に低下し、関税障壁が小さくなってきたと考えられるが、貿易障壁としての非関税障壁がどの程度存在しているのかを解説する。 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 貿易障壁をタイプ別に説明できるようにすること
第 25 回	第 5 クール： 国際経済取引の実証分析	WTO/TBT 協定と国際貿易促進効果 非関税障壁の一要因である技術的貿易障壁に関する協定が 1995 年に成立した。この協定が非関税障壁削減にどの程度寄与したかを実証分析結果を踏まえて解説する。 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 非関税障壁の定義を説明できるようにすること
第 26 回	第 5 クール： 国際経済取引の実証分析	FTA の国際貿易促進効果 世界各国で活発に結ばれてきた二国間、地域間自由貿易協定の現状とその経済効果を実証分析結果を踏まえて解説する。 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 FTA の経済効果を説明できるようにすること
第 27 回	第 5 クール： 国際経済取引の実証分析	海外直接投資の国際的な立地パターン 主に先進国から海外直接投資が発生して来たが、その直接投資の立地パターンを実証的に概観する。 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 多国籍企業の立地パターン構造を論理的に説明できるようにすること

第 28 回	第 5 クール： 国際経済取引の実証分析	海外直接投資の地域的な立地パターン 海外直接投資の特定地域（例えばアジア地域）内における立地パターンを実証的に概観する。 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 多国籍企業の立地パターン構造を論理的に説明できるようにすること
第 29 回	理解度の確認	1 6 回以降の要点のまとめ 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 16 回以降で議論した多国籍企業の経済学的効果を説明できるようにすること
第 30 回	まとめ	まとめ 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 国際貿易、多国籍企業の経済学的効果を説明できるようにすること

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0	20%	0	60%	20%	100%
評価の特記事項					
指定された箇所のプレゼンテーションを責任持って完了するようにしてください。					

テキスト
Feenstra, R. & A. Tayler, International Trade, 3rd Edition, Worth Publishers, NY.
参考文献
1.若杉隆平著『国際経済学(第3版)』岩波書店,2730 円. 2.ケイブス,フランケル, ジョーンズ著『国際経済学入門①国際貿易編』日本経済新聞社,3780 円. 3.浦田秀次郎『国際経済学入門』日経文庫,903 円. 4.ヘルプマン著『グローバル貿易の針路をよむ』文真堂, 2730 円
オフィスアワー
月曜 2 時限目 必ずメール等で事前に予約をとること
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールは、ただ聞いているだけでは退屈です。ですから、積極的に質問をするようにしてください。ゼミナールに「出席する」というのではなく、「参加する」という意識、姿勢を期待しています。ただし、私語は慎んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	08
担当教員	大内 雅浩	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3135	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミでは、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 資料・文献（専門書・新聞・論文・データ等）の本質を理解することができたり、批判的に考察したりすることができる ＜論理的読解力＞ 2. 他者の意見に対して論理的に把握でき、建設的な意見を言う事ができたり、真摯に意見を受け止めたりすることができる。＜論理的読解力・聴解力＞ 3. 社会に関心を持ち、根底に潜む原因への接近に興味を持って取り組むことができる。 4. 相手に自分の言葉で分かりやすく丁寧に、客観的な根拠を持って解決策や改善策を提言することができる。 対応 DP 及び CP:5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミでは、様々な「マクロ経済」問題・現象を研究の対象としていきます。 現実の世界には多くの問題が山積し、私たちの生活に大きな問題に発展しています。広い視野で物事を考えられることはとても重要な生きる力の一つです。マクロ経済現象の本質（共通点や教訓）を考え、議論を通じて「自分の言葉」で原因や解決策を自信をもって説明できるようになることです。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	論理的な思考方法・書き方・読み方	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法） 【事前学習】2 時間 事前に用意した関連する文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 2 回	論理的な思考方法・書き方・読み方	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法） 【事前学習】2 時間 事前に用意した関連する文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 3 回	論理的な思考方法・書き方・読み方	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法） 【事前学習】2 時間 事前に用意した関連する文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 4 回	論理的な思考方法・書き方・読み方	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法） 【事前学習】2 時間 事前に用意した関連する文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 5 回	論理的な思考方法・書き方・読み方	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法） 【事前学習】2 時間 事前に用意した関連する文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 6 回	論理的な思考方法・書き方・読み方	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、実際に考え、纏める） 【事前学習】2 時間 事前に用意した関連する文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 7 回	論理的な思考方法・書き方・読み方	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、実際に考え、纏める） 【事前学習】2 時間 事前に用意した関連する文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 8 回	論理的な思考方法・書き方・読み方	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、実際に考え、纏める） 【事前学習】2 時間 事前に用意した関連する文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 9 回	チーム報告・議論	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、実際に考え、纏める） 【事前学習】2 時間 資料を熟読し、事前に疑問点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 10 回	チーム報告・議論	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、実際に考え、纏める） 【事前学習】2 時間 資料を熟読し、事前に疑問点を整理しておく。 【事後学習】2 時間

		本日理解した内容について復習しておく。
第 11 回	チーム報告・議論	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、実際に考え、纏める） 【事前学習】2 時間 資料を熟読し、事前に疑問点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 12 回	チーム報告・議論	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、実際に考え、纏める） 【事前学習】2 時間 資料を熟読し、事前に疑問点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 13 回	チーム報告・議論	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、実際に考え、纏める） 【事前学習】2 時間 資料を熟読し、事前に疑問点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 14 回	小論文の作成	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、各自の小論文にする） 【事前学習】2 時間 事前に用意した関連する文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 15 回	小論文の作成	論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、各自の小論文にする） 【事前学習】2 時間 論理的思考へ（論理ピラミッド・弁証法を使って、小論文にする） 【事前学習】2 時間 事前に用意した関連する文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日理解した内容について復習しておく。
第 16 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 17 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 18 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 19 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 20 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間

		知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 21 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 22 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 23 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 24 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 25 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 26 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 27 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 28 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 29 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。
第 30 回	文献の輪読・発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上、内容を設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して、全体の内容について復習する。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
初回の授業時に指示する。					

テキスト
岩田規久男『景気って何だろう』ちくまプリマー新書 中谷巖・下井直毅・塚田裕昭『入門 マクロ経済学 第6版』日本評論社
参考文献
ジョン・ケネス・ガルブレイス『新版 バブルの物語』ダイヤモンド社 その他、論理的な思考方法についての文献など、授業内に指示する。
オフィスアワー
質問等には適宜対応する。事前にメールでアポイントを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
独学力・自己駆動力を発揮して、自己成長するよう望む。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	09
担当教員	大槻 明	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	7091	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 (1) ビッグデータを統計的に処理して経営学的な意思決定を行うために必要なデータ収集技術やデータサイエンス技術を自らのコンセプトに基づいて使うことができるようになる。 (2) 自然現象や社会問題などを解明・解決するための諸課題（研究テーマ）を設定し、係る研究を遂行することができるようになる。 (3) データサイエンスの考え方を理解し、データサイエンスとはどのような学問なのかを説明できるようになる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義は、データサイエンスや情報学を本格的に学修する準備段階として位置付けられるものであり、前期では線形代数学基礎を講義形式で学んだ後で、Web スクレイピングや Twitter API などのデータ収集技術について演習形式で学び、その後に Excel 統計について演習形式で学びます。後期では、R プログラミング基礎から始まり、R を用いたテキストマイニングの技術について演習形式で学びます。以上の講義・演習を通じて、データサイエンスや情報学の専門的な学修に向けた基礎を身につけてもらいます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ビッグデータサイエンスとはじめ	・ガイダンスとビッグデータの概要及び係る分析技術等の概要や変遷について、さらにはグループワークの概要について学ぶ。 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し、研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「ビッグデータの分析技術等の概要や変遷」と「サブゼミグループワークの概要」について予習する。 【事後学習】2 時間 教材レジメを見なくても、ビッグデータの概要や係る分析技術等の概要や変遷、さらにはグループワークの概要について説明できる
第 2 回	データ収集技術 1	・Excel による Web スクレイピング、スクレイピングしたデータのビジュアライズ（3D マップ）の演習 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し、研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「Excel による Web スクレイピング」と「3D マップ」について予習する。 【事後学習】2 時間 教材レジメを見なくても、自分が取得したいと思う Web ページの表データをスクレイピングできるようになるまで良く復習すること。
第 3 回	データ収集技術 2	・Twitter Developers への登録 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し、研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「Twitter Developers への登録方法」について予習する。 【事後学習】2 時間 Twitter Developers への登録方法について良く復習すること。
第 4 回	データ収集技術 3	・Twitter API の実践 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し、研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「Python 等の環境準備」と「Twitter API の実践」について予習する。 【事後学習】2 時間 Twitter API の実践までの流れや実践方法、さらに取得したツイートの概要について良く復習すること。
第 5 回	線形代数学基礎 1	・データ尺度、行列基礎、逆行列の演習 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し、研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「データ尺度」、「行列基礎」、「逆行列」について予習する。 【事後学習】2 時間 教材レジメを見なくても、行列や逆行列の概念について説明できるようになるまで良く復習すること。
第 6 回	Excel 統計 1	・最小二乗法、相関分析の演習 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し、研究の進め方等について学ぶ

		【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「相関分析」について予習する。 【事後学習】2 時間 自らのコンセプトで任意のデータを取得して相関分析が行えるようになるまで良く復習すること。
第 7 回	Excel 統計 2	・単回帰分析，重回帰分析の演習 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し，研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「単回帰分析」，「重回帰分析」について予習する。 【事後学習】2 時間 自らのコンセプトで任意のデータを取得して単回帰分析や重回帰分析が行えるようになるまで良く復習すること
第 8 回	Excel 統計 3	・残差，オペレーションズリサーチ（包絡分析）の演習 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し，研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「残差」，「包絡分析」について予習する。 【事後学習】2 時間 自らのコンセプトで任意のデータを取得及びサンプルデータを用いて残差分析や包絡分析が行えるようになるまで良く復習すること
第 9 回	Excel 統計 4	・オペレーションズリサーチ（数理計画法）の演習 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し，研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「数理計画法」について予習する。 【事後学習】2 時間 自らのコンセプトでダミーデータを作成して数理計画法が行えるようになるまで良く復習すること
第 10 回	線形代数学基礎 2	・固有値，固有ベクトルの講義 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し，研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「固有値・ベクトル」について予習する。 【事後学習】2 時間 教材レジメを見なくても，固有値・固有ベクトルの概念や算出方法について説明及び計算ができるようになるまで良く復習すること
第 11 回	Excel 統計 5	・主成分分析の演習 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し，研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「固有値・ベクトル」について予習する。 【事後学習】2 時間 自らのコンセプトで任意のデータを取得して主成分分析が行えるようになるまで良く復習すること
第 12 回	Excel 統計 6	・累積寄与率，主成分分析の結果のプロット，ユークリッド距離の演習 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し，研究の進め方等について学ぶ

		【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「ユークリッド距離」について予習する。 【事後学習】2 時間 自らのコンセプトで任意のデータを取得してユークリッド距離を求めることができるようになるまで良く復習すること
第 13 回	R プログラミング基礎 1	・ワークスペース, 変数, 論理演算子, ベクトルの演習 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し, 研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち, 「変数」, 「論理演算子」, 「ベクトル」について予習する。 【事後学習】2 時間 教材レジメとは別のデータで, 「変数」, 「論理演算子」, 「ベクトル」の操作等が行えるようになるまで良く復習すること
第 14 回	R プログラミング基礎 2	・ファイルの読み込み, 行列計算基礎, ファイルへの出力の演習 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し, 研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち, 「ファイルの読み込み」, 「行列計算基礎」, 「ファイルへの出力」について予習する。 【事後学習】2 時間 教材レジメとは別のデータで, R におけるファイルの入出力が行えるようになるまで良く復習すること
第 15 回	研究テーマ発表会	・ゼミ生が今後研究していくテーマについてプレゼン会を行う。 ・一部合同開催する専門研究二の研究プレゼン及びディスカッションに参加し, 研究の進め方等について学ぶ 【事前学習】2 時間 自身の研究テーマについて, 次の 3 点をプレゼンできるよう準備すること。 (1) 研究テーマ及びその概要 (2) その研究テーマの有効性 (誰にとってどのように有用なのか?) (3) その研究は自身の卒業後の人生にどのように役立つものなのか? 【事後学習】2 時間 プレゼン会で教員がコメントした内容に基づき, 自身の研究テーマについて掘
第 16 回	R プログラミング基礎 3 及び研究	・配列, リスト, データフレームの演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し, ゼミ生を含めたディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち, 「配列」, 「リスト」, 「データフレーム」について予習する。 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで, 「配列」, 「リスト」, 「データフレーム」の操作が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に, 自身の研究を主体的に進めること
第 17 回	R プログラミング基礎 4 及び研究	・演算子, 基本文法(if 文) の演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し, ゼミ生を含めたディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち, 「演算子」, 「基本文法(if 文)」について予習する。

		【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで演算子, if 文の操作が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に, 自身の研究を主体的に進めること
第 18 回	R プログラミング基礎 5 及び研究	・基本文法 (repeat 文, while 文, for 文), 独自関数の定義の演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し, ゼミ生を含めたディスカッションを行う. 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち, 「repeat 文」, 「while 文」, 「for 文」, 「独自関数の定義」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで, repeat 文, while 文, for 文の操作ができること. さらに, 自らのコンセプトに基づいて独自関数が作成できるようになるまで良く復習すること
第 19 回	R プログラミング基礎 6 及び研究	・独自関数の定義 2 の演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し, ゼミ生を含めたディスカッションを行う. 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち, 「独自関数の定義 2」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで応用的な独自関数が作成できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に, 自身の研究を主体的に進めること
第 20 回	テキストマイニング基礎及び研究	・UserLocal テキストマイニングツールの演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し, ゼミ生を含めたディスカッションを行う. 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち, 「UserLocal テキストマイニングツールの演習」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで, UserLocal テキストマイニングツールが操作できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に, 自身の研究を主体的に進めること
第 21 回	R テキストマイニング 1 及び研究	・頻度表の作成, 検索, n-gram 分析の演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し, ゼミ生を含めたディスカッションを行う. 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち, 「n-gram 分析」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで n-gram 分析が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に, 自身の研究を主体的に進めること
第 22 回	R テキストマイニング 2 及び研究	・複数ファイルの解析, 単語の重み付けの演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し, ゼミ生を含めたディスカッションを行う. 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち, 「複数ファイルの解析」, 「単語の重

		み付け」について予習する。 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで「複数ファイルの解析」や「単語の重み付け」が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に、自身の研究を主体的に進めること
第 23 回	R テキストマイニング 3 及び研究	・コロケーション分析の演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し、ゼミ生を含めたディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「コロケーション分析」について予習する。 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータでコロケーション分析が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に、自身の研究を主体的に進めること
第 24 回	R テキストマイニング 4 及び研究	・TF-IDF 分析の演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し、ゼミ生を含めたディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「TF-IDF 分析」について予習する。 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで TF-IDF 分析が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に、自身の研究を主体的に進めること
第 25 回	R テキストマイニング 5 及び研究	・「形態素解析 + 対応分析」の演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し、ゼミ生を含めたディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「形態素解析 + 対応分析」について予習する。 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで「形態素解析 + 対応分析」が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に、自身の研究を主体的に進めること
第 26 回	R グラフマイニング 1 及び研究	・x-means クラスティングの演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し、ゼミ生を含めたディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「x-means クラスティング」について予習する。 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで x-means クラスティングが行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に、自身の研究を主体的に進めること
第 27 回	R グラフマイニング 2 及び研究	・語彙 GraphNetwork 分析の演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し、ゼミ生を含めたディスカッションを行う。

		【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「語彙 GraphNetwork 分析」について予習する。 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで語彙 GraphNetwork 分析が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に、自身の研究を主体的に進めること
第 28 回	R グラフマイニング 3 及び研究	・tkplot を用いたグラフデータの可視化 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し、ゼミ生を含めたディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「tkplot を用いたグラフデータの可視化」について予習する。 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで tkplot を用いたグラフデータの可視化が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に、自身の研究を主体的に進めること
第 29 回	R グラフマイニング 4 及び研究	・モジュラリティ Q の演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し、ゼミ生を含めたディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「モジュラリティ Q」について予習する。 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータでモジュラリティ Q が計算できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に、自身の研究を主体的に進めること
第 30 回	R グラフマイニング 5 及び研究	・貪欲法によるコミュニティ抽出の演習 ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し、ゼミ生を含めたディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち、「貪欲法によるコミュニティ抽出」について予習する。 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで貪欲法によるコミュニティ抽出が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に、自身の研究を主体的に進めること

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
40%	40%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
・1 年間の研究成果を授業期間試験に換算して評価します ・毎回の授業課題をレポートとして提出いただきます ・無断欠席 2 回で退ゼミとします					

テキスト
毎回の授業の前日までに授業レジュメを Ecolink に掲載します.
参考文献
必要があれば授業の中で適宜紹介します.
オフィスアワー
・日時：水曜日の 3 時限 ・場所：日本大学経済学部 8 号館 3-24 ・注意事項：事前にアポイントを取り，指示された時間帯に上記の場所で相談を受けます.
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・授業計画は目安であり、受講者の習熟度や興味等により変更する場合があります. ・「研究は一日にして成らず」ですので，日々主体的に研究を進めてください.
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究（一）	クラス	
担当教員	大場 允晶	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、生産管理・経営情報論をベースとした知識を活用し、現代企業経営が抱えている諸問題を解決するための基本的な取り組み方、自主的解決方法についてグループの一員として取り組み、行動できるようになることを目標とする。また、組織の中で、自分のビジョンを持ち、自分で問題点を見つけ、自分で解決策を決められるリーダーとなれる人材として活躍できるようになる。 対応 D P 及び C P : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
生産管理・経営情報の基本（言葉）と現代の物販モデルを理解する。また、IoT サービス課金モデルを研究する。図書館、インターネットの活用し、調査の基本を理解できるようにする。ショートケーススタディによる課題の整理法・解決法を習得する。ビジネスケーススタディによる企業分析、ビジネスゲームを体験し、経営の意思決定方法を習得し、ひな形を使った企業分析法を体験により理解し、生産マネジメントの基礎を身に付けられるようにする。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション：生産管理・経営情報をベースとした特別専門ゼミ授業の概要、授業の進め方	授業開始に当って、特別専門ゼミ授業の概要、授業の進め方を理解する。【事前学習】2 時間 EcoLink 等から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行できるようにしておくこと。
第 2 回	ゼミ活動の年間予定、ゼミにおける役割分担（役員内容）の決定、アイスブレイキングとしてのアクティビティの実行	ゼミのグループ学習の役割分担、意思決定のルールを理解し、メンバー間の親睦を図る。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行できるようにしておくこと。
第 3 回	投資体験ゲームによりグループ学習体験	グループ活動中心のゼミの学習方法を学習ゲームによって体験する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 4 回	ショートケース・スタディ③（日大インパル社の事業環境分析と経営戦略策定）の解説と学習準備	グループ活動中心のゼミの学習方法を学習ゲームによって体験する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 5 回	ショートケース・スタディ③のグループ学習 1 課題 0 についてグループ発表 課題 1, 2, 3 についてグループ討議	ショートケース・スタディ③（日大インパル社の事業環境分析と経営戦略策定）の内容と課題について理解する。グループ分けを行い役割分担を決める。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 6 回	ショートケース・スタディ③のグループ学習 2 課題 1, 2, 3 についてグループ発表 課題 4, 5, 6 についてグループ討議	ショートケース・スタディ③の課題 1, 2, 3 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 7 回	ショートケース・スタディ③のグループ学習 3 課題 4, 5, 6 についてグループ発表 全体のまとめ討議	ショートケース・スタディ③の課題 4, 5, 6 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 8 回	ショートケース・スタディ③のグループ学習まとめ 全体のまとめの発表	ショートケース・スタディ③のグループまとめ内容を理解し、グループディスカッションを行って発表する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 9 回	企業研究の解説と学習準備	企業研究のやり方、財務諸表・財務分析について理解する。グループ分けを行い、各自の役割分担について理解する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業内容をよく復習し、必要な資料収集、企業研究テンプレートに担当部分を記述し、説明できるようにしておくこと。
第 10 回	企業研究の学習 1 研究対象候補企業の分析 資料説明と討議と決定	企業研究の対象選定作業、SWOT 分析を行い研究対象企業選定シートをグループで作成する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 11 回	企業研究の学習 2 研究対象企業選定シートによる選定結果の発表	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調

	事前学習レポートの検討 1	査分担した内容を実行しておくこと。
第 1 2 回	企業研究の学習 3 事前学習レポートの検討 1 のグループ発表 事前学習レポートの検討 2	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 1 3 回	企業研究の学習 4 事前学習レポートの検討 2 のグループ発表 事前学習レポートの検討 3	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 1 4 回	企業研究の学習 5 事前学習レポートの検討 3 のグループ発表 事前学習レポートの検討 4 と発表	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 1 5 回	企業研究のまとめ 完成した事前学習レポート の提出 事前学習レポートの検討 2 の グループ発表	企業研究でまとめた事前学習レポートの提出と内容を加味したパワーポイントを作成して発表し、講評を受ける。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に受けた講評内容を提出物に反映し修正版を作成する。
第 1 6 回	ショートケース・スタディ⑫ (日大食品社の経営革新) の解説と学習準備	ショートケース・スタディ⑫(日大食品社の経営革新)の内容と課題について理解する。グループ分けを行い役割分担を決める。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業内容をよく復習し、必要な資料収集、ショートケース・スタディ⑫の発表シートに担当部分を記述し、説明できるようにしておくこと。
第 1 7 回	ショートケース・スタディ⑫の グループ学習①	ショートケース・スタディ⑫の課題 0, 1 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 1 8 回	ショートケース・スタディ⑫の グループ学習②	ショートケース・スタディ⑫の課題 2, 3 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 1 9 回	ショートケース・スタディ⑫の グループ学習③	ショートケース・スタディ⑫の課題 4 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 2 0 回	ショートケース・スタディ⑫の グループ学習④	ショートケース・スタディ⑫の課題 5 について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 2 1 回	ショートケース・スタディ⑫の グループ学習まとめ	ショートケース・スタディ⑫の全課題のグループ回答をまとめ発表する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 2 2 回	ケース・スタディ B (ビジネス・シミュレーションゲーム) の解説と学習準備	ケース・スタディ B における経営環境、役員の役割、ケースの流れ、作成帳票の仕組みを理解する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 2 3 回	ケース・スタディ B の企業設	ケース・スタディ B のグループごとの企業設立、役員就任を決め、対象企業の

	立、役員就任と定款の制定	定款を決め、制定する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておく
第 2 4 回	ケース・スタディ B：経営練習用実施、長期経営計画の作成	ケース・スタディ B における経営意思決定の流れの練習期を実施し、お金の流れと帳票の作成方法を理解する。また、長期経営計画を企業単位で作成する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておく
第 2 5 回	ケース・スタディ B：経営 1～4 期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営 1～4 期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておく
第 2 6 回	ケース・スタディ B：経営 5～8 期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営 5～8 期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 2 7 回	ケース・スタディ B：経営 9～12 期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営 9～12 期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 2 8 回	ケース・スタディ B：経営 13～18 期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営 13～18 期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 2 9 回	ケース・スタディ B：経営 19～24 期実施、経営の意思決定表の作成	経営 19～24 期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。2 年分の経営結果をまとめ、経営成績の反省をレポートにまとめる。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第 3 0 回	ケース・スタディ B：各社経営成績の発表とまとめ、振り返り	2 年間の成績とグループのレポートを発表し、講評を受ける。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行う。 ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	20 %	0 %	80 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
・遅刻せずゼミ授業に出席することがゼミ単位取得の前提とする。 ・前後期で2回のReportを課す。					

テキスト
指定しない
参考文献
・大場允晶、藤川裕晃編著「生産マネジメント-戦略編」, 文眞堂, 2010年, 2,500円(税抜), ・大場允晶、藤川裕晃編著「生産マネジメント-技術編」, 文眞堂, 2009年, 2,500円(税抜), ・大場允晶、藤川裕晃編著, 『経営情報とビジネスプロセス管理』, 創成社, 2012年, 2,500円(税抜)
オフィスアワー
随時。事前にメールでアポを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
講義中の私語は最低限のモラルとして慎むこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門研究（一）	クラス	
担当教員	大森 信	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
学生が自分の担当する箇所についての報告資料を作成して、それを全員に配付し、報告・討議を重ねて理解を深めていきます。「専門研究(一)」【2 年】では、加護野忠男『1 からの経営学』碩学舎を、「専門研究(二)」【3 年】では、金井一頼ほか『経営戦略』有斐閣をテキストとして使用する予定です。テキストの輪読や報告、討議を通じて、経営学についての知識の獲得とともに読解力・文章力・プレゼンテーション力を高めていくことも目標としています。「卒業論文」【4 年】では、【2 年】【3 年】のゼミで習得した知識に基づきながら、調査対象企業の経営戦略とマネジメントについて調査・分析していきます。 対応 D P 及び C P : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
企業の戦略とマネジメントについて研究・調査するゼミナールです。「専門研究(一)」【2 年】と「専門研究(二)」【3 年】では、経営学および経営戦略論の基本的な理論や考え方を身に付けることを目標にします。「卒業論文」【4 年】では、調査対象企業を各自が選択して、その実態を調査・分析していきます。【2 年】【3 年】のゼミで習得した知識に基づきながら、分析をしていきます。3 年間のゼミを通じて、社会に対する関心を高めて、洞察力を深めていけるようになることをねらいとしています。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 前期の輪読のスケジュールと担当者の割り当てを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと
第 2 回	指定した文献の輪読①	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	グループワークの実践①	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 4 回	指定した文献の輪読②	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	グループワークの実践②	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 6 回	指定した文献の輪読③	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	グループワークの実践③	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 8 回	指定した文献の輪読④	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポ

		ート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	グループワークの実践④	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 10 回	指定した文献の輪読⑤	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	グループワークの実践⑤	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 12 回	指定した文献の輪読⑥	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	グループワークの実践⑥	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 14 回	指定した文献の輪読⑦	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	グループワークの実践⑦	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 16 回	指定した文献の輪読⑧	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	グループワークの実践⑧	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。【事後学習】2 時間

		グループワークで出た問題点を整理する。
第 1 8 回	指定した文献の輪読⑨	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 9 回	グループワークの実践⑨	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 2 0 回	指定した文献の輪読⑩	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 1 回	グループワークの実践⑩	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 2 2 回	指定した文献の輪読⑪	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 3 回	グループワークの実践⑪	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 2 4 回	指定した文献の輪読⑫	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 5 回	グループワークの実践⑫	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 2 6 回	指定した文献の輪読⑬	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 7 回	グループワークの実践⑬	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 2 8 回	指定した文献の輪読⑭	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 9 回	グループワークの実践⑭	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 3 0 回	全体のまとめ	全体のまとめ・1 年間の振り返り 【事前学習】4 時間 これまでの内容を振り返っておく。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行う。 ・質問等は EcoLink から受け付ける。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	0 %	0 %	100 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	10
担当教員	岡根 秀規	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 1	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
我が国の税制や税務行政に関する基本的知識を習得した上で，諸外国の租税制度の動向なども参考にしながら，租税政策全般についての理解を深め，今後の租税制度の在り方について研究を行い，提言を行うことができるようになる。 対応 C P 及び D P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
我が国の税制や税務行政に関する基本的知識について，学生自らテーマを選定し，調査研究を行い，プレゼンを通じたグループ討議の実施により，租税に関する理解や問題意識を深め，租税に精通し，広く社会で貢献できる人材を育成することを目的とします。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミナールの目的や進め方について周知徹底を図り次週からのゼミの準備を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミナールガイドを読んでおく。 【事後学習】2 時間 自分が担当するプレゼンの日を確認し、資料準備を行う。
第 2 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し、プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し、当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し、更に理解を深める。
第 3 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し、プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し、当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し、更に理解を深める。
第 4 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し、プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し、当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し、更に理解を深める。
第 5 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し、プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し、当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し、更に理解を深める。
第 6 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し、プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し、当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し、更に理解を深める。
第 7 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し、プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し、当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し、更に理解を深める。
第 8 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し、プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し、当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し、更に理解を深める。
第 9 回	税に関する個別のテーマにつ	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し、プレゼンの前日

[illegible]

[illegible]

		事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 27 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 28 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 29 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 30 回	まとめ	1 年間のゼミナールでの議論を総括するとともに，今後の研究テーマについての検討を行う。 【事前学習】2 時間 1 年間のゼミ生全体の資料を復習しておく。 【事後学習】2 時間 1 年間のゼミナールでの議論を踏まえ，今後の研究テーマの選定準備をする。

授業形式
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	100%
評価の特記事項					
各自が作成したプレゼン資料は、プレゼンの前日までに必ず他のゼミ生と教員に事前送付すること。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
租税に対する関心が高い学生を希望します。 租税に関するテーマについて自由闊達に議論を行い、今後の我が国の税制の在り方について多方面から研究を行いたいと思います。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	11
担当教員	小滝 一彦	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 5	単位区分	選
講義室	3112	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この科目では、経済政策の理解のため、経済政策及びその基礎となるミクロ経済、マクロ経済、ファイナンス、マーケティング、人的資本、I T 活用といった諸分野を実習によって学ぶ。受講生は、経済政策のために必要な知識や理解を、学外のインターンでの実習によって得る。金融、マーケティング、交通、インフラ、ブランド、商業、食品など、様々な世界に分かれてインターンを行い、持ち帰った知識をゼミで共有する。それらをもとに、情報の非対称性、外部効果、デファクトスタンダードなどの経済政策の重要な知識を理解していく。 対応 D P 及び C P 5 . 6 . 7 . 8
授業概要（教育目的）
教室では、主にグループワークによって、経済政策及びその基礎となるミクロ経済、マクロ経済、ファイナンス、マーケティング、人的資本、I T 活用といった諸分野のエッセンスを伝える。また長期、短期のインターンの選考や応募方法について説明する。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の進め方。ゼミの目標について。長期、短期のインターンについて。
第 2 回	長期インターンの説明	グループワークで、各受講生が関心あるインターン先を発表し議論する。 【事前学習】2 時間 関心あるインターン先候補を調査する 【事後学習】2 時間 議論を踏まえインターン先候補を選定する
第 3 回	コーポレートガバナンスについて①	コーポレートガバナンスについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 コーポレートガバナンスの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 4 回	コーポレートガバナンスについて②	コーポレートガバナンスについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 コーポレートガバナンスの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習 【事後学習】政府の失敗を防ぐ方法を考える。2 時間
第 5 回	食品マーケティングについて①	食品マーケティングについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 食品マーケティングの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 6 回	食品マーケティングについて②	食品マーケティングについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 食品マーケティングの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 7 回	ブランドマーケティングについて①	ブランドマーケティングについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 ブランドマーケティングの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 8 回	ブランドマーケティングについて②	ブランドマーケティングについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 ブランドマーケティングの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 9 回	商店街活性化について①	商店街活性化について受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 商店街活性化の実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 10 回	商店街活性化について②	商店街活性化について受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 商店街活性化の実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 11 回	新エネルギーについて①	新エネルギーについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 新エネルギーの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 12 回	新エネルギーについて②	新エネルギーについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 新エネルギーの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 13 回	仮想通貨について①	仮想通貨について受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 仮想通貨の実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習

第 14 回	仮想通貨について②	仮想通貨について受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 仮想通貨の実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 15 回	短期インターンの説明	グループワークで、各受講生が関心あるインターン先を発表し議論する。 【事前学習】2 時間 関心あるインターン先候補を調査する 【事後学習】2 時間 議論を踏まえインターン先候補を選定する
第 16 回	短期インターンの報告	各受講生が短期インターンの報告をする。 【事前学習】2 時間 関心あるインターン先候補を調査する 【事後学習】2 時間 議論を踏まえインターン先候補を選定する
第 17 回	スキルシェア産業について①	スキルシェアについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 スキルシェアの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 18 回	スキルシェア産業について②	スキルシェアについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 スキルシェアの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 19 回	公共空間でのマーケティングについて①	公共空間でのマーケティングについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 公共空間でのマーケティングの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 20 回	公共空間でのマーケティングについて②	公共空間でのマーケティングについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 公共空間でのマーケティングの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 21 回	企業金融について①	企業金融について受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 企業金融の実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 22 回	企業金融について②	企業金融について受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 企業金融の実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 23 回	M & Aについて①	M & Aについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 M & Aの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 24 回	M & Aについて②	M & Aについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 M & Aの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 25 回	フィンテックについて①	フィンテックについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 フィンテックの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 26 回	フィンテックについて②	フィンテックについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 フィンテックの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習

第 27 回	デジタルマーケティングについて①	デジタルマーケティングについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 デジタルマーケティングの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 28 回	デジタルマーケティングについて②	デジタルマーケティングについて受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 デジタルマーケティングの実情や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 29 回	中小企業金融について	中小企業金融について受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 中小企業金融の制度や実務についての調査 【事後学習】2 時間 インターン報告と G D を受けての復習
第 30 回	今年度のまとめ	春休みのインターン参加予定の発表を行う 【事前学習】2 時間 春休みのインターン参加報告の準備 【事後学習】2 時間 ゼミでの指摘を受けて春のインターン参加計画の策定

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

科目情報

科目名	専門研究（一）	クラス	
担当教員	小棚 治宣	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	7064	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
身近な社会保障に関する諸問題を理解し、少子高齢化の実態、年金、医療、介護等の財源について深く学び、社会保障の必要性と問題点について説明出来るようになる。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
高齢社会の発展とともに、社会保障は目下、制度的な転換点を迎えている。医療・年金・介護さらには障害者福祉問題など、抜本的な改革が急務とされている状況である。授業では現代日本及び先進諸国の抱える社会保障をめぐる諸問題について考察していく一方、社会保障の原点に立ち返り、現代の諸問題を解決する糸口を求めていく。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	社会保障とは何か	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 2 回	社会保障の給付と負担のあり方	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 3 回	医療保険制度①	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 4 回	医療保険制度②	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 5 回	医療保険制度③	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 6 回	高齢者医療制度	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 7 回	介護保険制度①	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 8 回	介護保険制度②	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 9 回	介護保険制度③	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 10 回	ドイツ介護保険	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 11 回	年金制度①	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 12 回	年金制度②	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 13 回	年金制度③	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 14 回	年金制度④	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 15 回	生活保護①	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 16 回	生活保護②	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 17 回	生活保護③	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 18 回	社会福祉制度①	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 19 回	社会福祉制度②	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 20 回	少子化対策①	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 21 回	少子化対策②	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 22 回	少子化対策③	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 23 回	雇用保険	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 24 回	介護休業制度	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 25 回	育児休業制度	"事前学習：2 時間

		指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 2 6 回	社会保障の歴史	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 2 7 回	社会保障の財政	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 2 8 回	海外の社会保障	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 2 9 回	社会保障の課題と展望	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"
第 3 0 回	まとめ	"事前学習：2 時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。"

授業形式
出席者は年に数度のレジюме作成及びレポートの提出が義務づけられます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	0 %	40 %	30 %	30 %	100 %
評価の特記事項					

テキスト
授業時に指示します
参考文献
伊藤周平『社会保障史・恩恵から権利へ』青木書店，1994. 足立正樹『各国の社会保障』（新版）法律文化社，1993. 小塩隆士『社会保障の経済学』日本評論社，1998. 小柳治宣『社会保障の源流』朝文社，2004. 小柳治宣『社会保障の潮流』朝文社，2007.
オフィスアワー
授業時に指示します
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受身の姿勢で授業に出ないこと。ただ座って聴いているだけでなく、積極的に授業に参加し、自分たちの問題として、社会保障がどうあるべきかを常に考えて欲しいと思います。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
ゼミのディスカッションへの貢献と、インターンの成果によって評価する。					

テキスト
特になし
参考文献
講義中に指示する。
オフィスアワー
火曜 3 限, 8 号館研究室（事前にアポイントをとること）。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
自らの発表でない週においても、グループディスカッションを有意義に行うため、事前に十分な調査をすること。 また事後学習においては、ゼミで示された問題意識を元に、W e b 等を活用して十分に理解を深めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	75
担当教員	オルシニ フィリップ	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	3133	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、国際経営学で使用されている概念と用語を理解し、企業の海外展開を説明できるようになることを目標とします。 また、私たちの身近な業界とそうでない業界がを経営学的な視点から捉えることで、新聞やニュースなどの社会・経済問題を理解できるようになることを目指します。 このような学習を通じて、経営学的な考え方を理解し、経営学とはどのような学問なのかを説明できるようになる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では、経営学を本格的に学修する準備として、本国市場、業界、企業、同業他社、外資系企業、海外展開、海外市場、海外子会社、海外生産、海外仕入、国際的人的資源管理など、海外展開している企業が使用している経営的概念・用語について研究します。これによって、国際経営学とはどのような学問なのかを理解してもらい、専門的な学修に向けた基礎を身につけてもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 身近な問題を経営学的な視点から捉えてみよう。 【事前学習】2 時間 EcoLink 又は Google Classroom から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 2 回	業界と企業	興味のある業界・企業によってグループ形成する。業界・企業の調べ方・出典を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 興味のある業界・企業を事前に考える。 【事後学習】2 時間 興味のある業界・企業の概要の下調べを始める。
第 3 回	業界と企業：発表	業界・企業の概要をグループで発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 興味のある業界・企業の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 4 回	同業他社（国内）	同業他社（国内）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 同業他社（国内）を事前に考える。 【事後学習】2 時間 同業他社（国内）の概要の下調べを始める。
第 5 回	同業他社（国内）：発表	同業他社（国内）について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 同業他社（国内）の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 6 回	国内市場	国内市場の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 国内市場を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内市場の概要の下調べを始める。
第 7 回	国内市場：発表	国内市場：発表について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 国内市場：発表の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 8 回	国内顧客	国内顧客の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間

		国内顧客を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 9 回	国内顧客：発表	国内顧客について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 10 回	海外展開のタイムライン	海外展開のタイムライン（進出した海外の国の順番）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外展開のタイムラインを事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外展開のタイムラインの下調べを始める。
第 11 回	海外展開のタイムライン：発表	海外展開のタイムラインについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外展開のタイムラインの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 12 回	海外売上率	海外売上率（国内売り上げとの比較）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外売上率を事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外売上率の下調べを始める。
第 13 回	海外売上率：発表	海外売上率について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外売上率の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 14 回	主な海外市場の規模	主な海外市場の規模（順位、比較）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 主な海外市場の規模を事前に考える。 【事後学習】2 時間 主な海外市場の規模の下調べを始める。
第 15 回	主な海外市場の規模：発表	主な海外市場の規模について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 主な海外市場の規模の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 16 回	海外市場の競争相手（ローカル）	海外市場でのローカルな競争相手の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外市場の競争相手（ローカル）を事前に考える。 【事後学習】2 時間

		海外市場の競争相手（ローカル）の下調べを始める。
第 17 回	海外市場の競争相手（ローカル）：発表	海外市場の競争相手（ローカル）について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外市場の競争相手（ローカル）の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 18 回	海外市場の競争相手（グローバル）	海外市場でグローバル展開している競争相手の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 国内顧客を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 19 回	海外市場の競争相手（グローバル）：発表	海外市場の競争相手（グローバル）について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外市場の競争相手（グローバル）の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 20 回	主な海外市場の顧客	主な海外市場の顧客（国内顧客、グローバル客層等との相違点）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 国内顧客を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 21 回	主な海外市場の顧客：発表	海外市場の顧客について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外市場の顧客の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 22 回	海外進出のモード	海外進出のモード（輸出、ライセンス、合併企業、子会社等）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外進出のモードを事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 23 回	海外進出のモード：発表	海外進出のモードについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外進出のモードの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 24 回	海外進出の現地パートナー	海外進出の現地パートナー（選び方、プロフィール等）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外進出の現地パートナーを事前に考える。 【事後学習】2 時間

		国内顧客の概要の下調べを始める。
第 25 回	海外進出の現地パートナー：発表	海外進出の現地パートナーについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外進出の現地パートナーの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 26 回	海外生産と仕入れ	海外生産と仕入れ（絵画販売に対して）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外生産と仕入れを事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外生産と仕入れの下調べを始める。
第 27 回	海外生産と仕入れ：発表	海外生産と仕入れについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外生産と仕入れの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 28 回	海外展開と人事	海外展開と人事（海外派遣者、ローカル人材の育成等）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外展開と人事事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外展開と人事の下調べを始める。
第 29 回	海外展開と人事：発表	海外展開と人事について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外展開と人事の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 30 回	まとめ：ファイナル発表	今までの発表（テーマ）をまとめて短い発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 今までの発表にもう一回目を通す。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
発表（＝レポート）, 参加（発言）, 率先。					

テキスト
なし
参考文献
国際ビジネス 3 チャールズ・W.L. ヒル（著） 楽工社 2014 年 ISBN-10 : 4903063615 ISBN-13 : 978-4903063614
オフィスアワー
授業時に指示する 連絡先 : ecfu80096@g.nihon-u.ac.jp
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
企業の海外展開に興味のある学生。特に、すでにある業界に興味を持っている学生。調べ物が好きな学生。自発的に研究を進む学生。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	12
担当教員	加藤 恭子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	42	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 組織において「どのように人が管理されているのか」、人事労務管理の諸制度を理解できる。 2. 人事労務管理の諸制度が「どのような背景から生まれてきたのか」、歴史、産業・組織心理学、労働経済学など学際的な視点から理解できる。 3. 人事労務管理の知識を付けることによって、「将来の自分がどのようなキャリアを歩みたいのか」について様々な視点から考えることができる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
企業や役所などで働くには、まず採用試験を受けます。採用されると、仕事を割り当てられ、それができるよう教育されます。その後、働きぶりを評価され、賃金が支払われます。このような管理が人事労務管理です。 【前期】は人事労務管理の諸制度を学ぶことを目的としております。具体的には、人事労務管理の様々な施策について、実際の企業例を挙げつつ研究します。 【後期】は人事労務管理のベースとなる産業・組織心理学について学ぶことを目的としています。各制度の学問的な背景として、産業・組織心理学の理論について学びます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	人事労務管理とは何か	Lecture1 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture1 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 2 回	日本の現代人事労務管理	Lecture2 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture2 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 3 回	トップ・マネジメントの人事労務管理	Lecture3 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture3 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 4 回	人事労務管理制度の設計と運用の基礎	Lecture4 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture4 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 5 回	雇用管理	Lecture5 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture5 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 6 回	教育訓練・能力開発管理	Lecture6 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture6 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 7 回	作業条件管理	Lecture7 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture7 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 8 回	賃金管理	Lecture8 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture8 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 9 回	福利厚生管理	Lecture9 について発表し、討論する。

		【事前学習】2 時間 Lecture9 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 10 回	労使関係管理	Lecture10 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture10 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 11 回	ライン管理者の人事労務管理	Lecture11 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture11 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 12 回	従業員満足志向の人事労務管理	Lecture12 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture12 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 13 回	従業員満足と人的リスクマネジメント	補論について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 補論を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 14 回	インナー大会中間発表	インナー大会の論文に関して研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容についてレジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。
第 15 回	前期振り返り	前期に学んだ内容、得たスキルについて振り返りをする。 【事前学習】2 時間 学習内容や他者からのフィードバックを参考に目標管理シートに記入する。 【事後学習】2 時間 他者の発表を聞き、目標管理シートを修正する。
第 16 回	組織行動の社会心理学的課題	第 1 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 1 章を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 17 回	組織管理論の系譜	第 2 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 2 章を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 18 回	組織と人間	第 3 章について発表し、討論する。

		【事前学習】2 時間 第 3 章を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 19 回	最近の組織論	第 4 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 4 章を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 20 回	コミットメント	第 5 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 5 章を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 21 回	キャリア	第 6 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 6 章を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 22 回	満足感	第 7 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 7 章を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 23 回	インナー大会	インナー大会の論文に関して研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容について論文を作成する。 【事後学習】2 時間 発表に対する他大学からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。
第 24 回	モチベーション	第 8 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 8 章を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 25 回	対人関係	第 9 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 9 章を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 26 回	バーンアウト	第 10 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 10 章を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者か

		らのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 27 回	集団の問題解決と意思決定	第 11 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 11 章を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 28 回	物理環境	第 12 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 12 章を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 29 回	人間環境	第 13 章について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 第 13 章を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 30 回	後期振り返り	後期に学んだ内容、得たスキルについて振り返りをする。 【事前学習】2 時間 学習内容や他者からのフィードバックを参考に目標管理シートに記入する。 【事後学習】2 時間 他者の発表を聞き、目標管理シートを修正する。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	10%	60%	30%	100%
評価の特記事項					
・成績評価は、授業への参画度（本ゼミの発表、質問など）、小テスト、その他（インナー大会への参画度、係の仕事の働きぶり、など）					

テキスト
・【前期】岩出博著『LECTURE 人事労務管理』泉文堂，4410 円。 ・【後期】田尾雅夫（編）『組織行動の社会心理学』北大路書房，2750 円。
参考文献
・日本経団連労働政策本部編『人事労務用語辞典』日本経団連出版，2520 円。 ・岩出博（編）『従業員満足のための人的資源管理』中央経済社，2970 円。
オフィスパワー
・金曜日の 15：00～16：00 をオフィスパワーとします。 ・事前にアポを取っていただくと助かります。 ・アポやその他質問についてはメール（kato.kyoko@nihon-u.ac.jp）でご連絡ください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
本ゼミの発表準備、卒業論文の執筆など、研究は個人でやるものです。しかし、組織内に「あの人がみたいになりたい」とか、「あの人には負けたくない」という人がいるだけで、自分が思っていた以上に成長することがあります。このゼミはこれまでも、そしてこれからも、そういう人たちが集まるゼミであって欲しいと思います。ゼミ活動は忙しいですが、みなアルバイトやサークルと両立させながらやっています。3 年間、一緒に頑張っていきましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究（一）	クラス	
担当教員	金谷 貞男	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	7061	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、人類の超長期の経済発展の現実を知るものとして、ジャレット・ダイヤモンドの「銃・病原菌・鉄」上巻を輪読する。なお、「銃・病原菌・鉄」下巻は専門研究（二）で輪読予定である。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
近年、従来の枠組みを超えた超長期の分析が経済成長論の対象として進んでいる。経験科学の常として、超長期の経済分析をなすためには、その実態としての家計の経済行動が、過去にどのようなものであったのかを知る必要がある。そこで、ジャレット・ダイヤモンドの「銃・病原菌・鉄」上巻を読んで、その実態を知る。具体的には、（１）狩猟採集経済、（２）部族社会、（３）首長社会、（４）国家という発展過程で、人類がどのような生産関数に面していたのかを理解したい。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	序論	講義の内容、講義の形式、評価方法、履修上の注意点について説明する。 ゼミ運営上の時間・場所・その他について説明する。「銃・病原菌・鉄」上巻を入手する。 【事後学習】2 時間。講義内容の説明のメモをとって、よく理解しておく。
第 2 回	プロローグ：ヤリの素朴な疑問	ヤリの疑問は重大である。問題の提起をよく読み、理解する。 【事前学習】2 時間。教科書の 2 1－2 4 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 3 回	プロローグ：現代世界の不均衡を生み出したもの	現代社会は大陸ごとに非常に不均衡である。この原因は何か。 【事前学習】2 時間。教科書の 2 4－3 1 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 4 回	プロローグ：人種による優劣という幻想	人種に関する考察である。 【事前学習】2 時間。教科書の 3 2－5 7 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 5 回	1 章：人類の大躍進 (1)	2 0 万年前に現生人類が生誕して以来の発展と移動を述べる。 【事前学習】2 時間。教科書の 6 0－6 8 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 6 回	1 章：人類の大躍進 (2)	5 万年前に人類は大躍進を始める。 【事前学習】2 時間。教科書の 6 8－7 1 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 7 回	1 章：大型動物の絶滅	オーストラリア・ニューギニアなどでは人類の進出と時を同じくして、大型動物が絶滅した。 【事前学習】2 時間。教科書の 7 1－7 7 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 8 回	1 章：南北アメリカでの展開	最後に人類は南北アメリカへ進出した。 【事前学習】2 時間。教科書の 7 7－9 4 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 9 回	3 章：ピサロと皇帝アタワルパ	1 5 3 2 年、スペインの傭兵隊長ピサロはインカ帝国皇帝アタワルパにカハマルカ盆地で面会した。 【事前学習】2 時間。教科書の 1 2 1－1 2 4 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 10 回	3 章：カハマルカの惨劇	ピサロは 1 6 6 名の兵を率いて、アタワルパの 2 万人の軍勢に不意打ちを食わせ、アタワルパを捕虜にした。 【事前学習】2 時間。教科書の 1 2 4－1 3 3 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 11 回	3 章：ピサロはなぜ勝利できたか (1)	この勝利の直接の原因として、(1) 鉄製の武器、(2) 銃、(3) 馬、(4) 病原菌が挙げられる。 【事前学習】2 時間。教科書の 1 3 4－1 4 2 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 12 回	3 章：ピサロはなぜ勝利できたか (2)	さらに、(5) 航海術、(6) 政治、(7) 文字などが挙げられる。 【事前学習】2 時間。教科書の 1 4 2－1 4 8 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 13 回	4 章：食料生産と植民 (1)	直接の原因を生み出す究極の原因を考えると、栽培植物と動物の存在に行き着く。 【事前学習】2 時間。教科書の 1 5 0－1 5 6 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
第 14 回	4 章：食料生産と植民 (2)	栽培植物と動物の存在は稠密な人口を生む。 【事前学習】2 時間。教科書の 1 5 6－1 5 9 ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。

第15回	4章：馬の家畜化と征服戦争	家畜化された馬は征服戦争に使われた。 【事前学習】2時間。教科書の159－163ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第16回	5章：食料生産の地域差	地球上では、食料生産に地域差があった。 【事前学習】2時間。教科書の164－167ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第17回	5章：食料生産の年代を推定する	食料生産の年代の推定法はいくつかある。 【事前学習】2時間。教科書の167－173ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第18回	5章：野生種と飼育栽培種（1）	世界では、肥沃三日月地帯・他数カ所で動植物が独立に栽培された。 【事前学習】2時間。教科書の173－180ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第19回	5章：野生種と飼育栽培種（2）	そこから、周辺に動植物は伝播していった。 【事前学習】2時間。教科書の180－184ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第20回	10章：各大陸の地理的な広がり	ユーラシア大陸は東西に広いのに対し、南北アメリカ大陸・アフリカ大陸は南北に延びている。 【事前学習】2時間。教科書の326－328ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第21回	10章：食料生産の伝播の速度（1）	食料生産は、東西に伝播するのは速い。 【事前学習】2時間。教科書の328－332ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第22回	10章：食料生産の伝播の速度（2）	食料生産は、南北に伝播するのは遅い。 【事前学習】2時間。教科書の332－335ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第23回	10章：西南アジアからの食料生産の広がり	西南アジアで栽培された動植物は他地域に急速に伝播した。 【事前学習】2時間。教科書の336－341ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第24回	10章：東西方向への伝播はなぜ速かったか	東西方向へ栽培された動植物の伝播が速かったのは、同緯度で日照・温度等気候が同じであったからである。 【事前学習】2時間。教科書の341－346ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第25回	10章：南北方向への伝播はなぜ遅かったか	南北方向へ栽培された動植物の伝播が遅かったのは、緯度が異なると、日照・温度等気候が異なるからである。 【事前学習】2時間。教科書の346－348ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第26回	10章：アメリカ大陸における農作物の伝播	アメリカ大陸は南北に延びているので、例えばとうもろこしが南北に伝わるのは難しかった。 【事前学習】2時間。教科書の348－352ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第27回	10章：技術・発明の伝播	食料生産を介して、間接的に技術・発明も東西方向へは速く、南北方向には遅く伝播した。 【事前学習】2時間。教科書の352－356ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第28回	11章：動物由来の感染症	人類は動物との接触で感染症に晒された。 【事前学習】2時間。教科書の358－363ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第29回	11章：進化の産物としての病原菌	病原菌はその進化の過程で、人間に移る。 【事前学習】2時間。教科書の363－367ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容を復習する。
第30回	総括的討論	以上が、カハマルカの勝利の究極の原因であることを確認する。

		【事前学習】2 時間。教科書の 1 5 0 – 1 5 6 ページを読んてくる。 【事後学習】2 時間。授業内容を復習する。
--	--	---

授業形式
輪読したのち、討論によって授業を進める。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	0 %	0 %	100 %	0 %	1 0 0 %
評価の特記事項					
討論に参加することを重視する。					

テキスト
ジャレッド・ダイヤモンド、「銃・病原菌・鉄」、草思社。
参考文献
オフィスアワー
この授業の前の時限。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	13
担当教員	上村 能弘	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本授業では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 自己の学問的な興味を再発見し、それを研究テーマに昇華させて、その学問的な意義を説明できる。 2. 自己の研究テーマにしたがって研究資料を探索し、それを利用して真理を探究し、その内容を研究レポートにまとめることができる。 3. 自己のまとめた研究レポートを基礎に、その内容を発表し議論することができる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
ゼミにおける研究の最終目標は、卒業論文の作成です。この目標に向け、今年度においては、まずは自己の研究テーマの確立を目指してください。最終目標である卒業論文のテーマは、もちろん広範なものでも差し支えありませんが、さしあたっての研究テーマは具体的であれば具体的であるほど、その扱う対象は狭ければ狭いほど、研究を進めやすいでしょう。しばらくの間は、試行錯誤が続くでしょうが、上級生の研究発表なども大いに参考にして、自分の研究スタイルを見いだしてください。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミ生相互の自己紹介。ゼミの内容、進め方、形式、評価方法、履修上の注意点などについて説明する。 次回以降に講義する「研究の手引き」の概要紹介。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 2 回	研究の手引き〔Ⅰ〕	研究テーマの設定方法について説明し、上級生の研究テーマを具体的な事例として紹介する。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 3 回	研究の手引き〔Ⅱ〕	研究の進め方について説明する。図書館やインターネット等の利用方法についても紹介する。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 4 回	当面の研究テーマの発表〔Ⅰ〕	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）当面の研究テーマを発表し、それに関する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 当面の研究テーマと研究方法等を決定し、その発表に備えて資料（レジュメ）を作成する。 【事後学習】2 時間 質疑・討論を通じて発見された問題点を整理し、それにもとづいて、先に作成した資料（レジュメ）の修正をおこなう。
第 5 回	当面の研究テーマの発表〔Ⅱ〕	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）当面の研究テーマを発表し、それに関する質疑応答・討論をおこなう（前回の続き）。 【事前学習】2 時間 当面の研究テーマと研究方法等を決定し、その発表に備えて資料（レジュメ）を作成する。 【事後学習】2 時間 質疑・討論を通じて発見された問題点を整理し、それにもとづいて、先に作成した資料（レジュメ）の修正をおこなう。
第 6 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 7 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 8 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 9 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 10 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 11 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 12 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 13 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 14 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。

第 15 回	振り返りと、今後の研究の展望〔Ⅰ〕	これまでの研究発表をふまえ、ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマや方法を再検討し、今後の研究を展望する。 【事前学習】2 時間 これまでに配付した資料（レジュメ）を整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 16 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 17 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 18 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 19 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 20 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 21 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 22 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間

		あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 23 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 24 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 25 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 26 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 27 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 28 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 29 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって、報告者が研究の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。

		おくこと。
第 30 回	振り返りと、今後の研究の展望〔Ⅱ〕	これまでの研究発表をふまえ、ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマや方法等を再検討し、今後の研究を展望する。 【事前学習】2 時間 これまでに配付した資料（レジメ）を整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
自分の研究発表はもちろん、他のゼミ生の研究発表に対して質問やコメントをおこなうこともあわせて重視する。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・研究発表に当たっては、必ず資料（レジュメ）を作成して、事前に各ゼミ生に配布できるように準備しておくこと。 ・自分の研究発表に対して他のゼミ生から寄せられた質問やコメントを、それ以降の研究に反映できるように研究メモに整理しておくこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	14
担当教員	河越 正明	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	3115	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 ・様々な日本経済の課題について、他の学生と協力しながら調べて、現状と課題を理解し、自分で説明できる。 ・これらの認識に基づき、解決策を経済学的に考察し発表できる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では、グループ学習により、課題とする本の発表や、自分たちで選んだテーマに関して調査を行い、その結果発表を行う。また他のグループの発表を聴いて論評を加える。これにより、授業終了時には、身近な日本経済の事象を経済学的に考察する態度を身につけてもらいたい。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容、評価の形式、履修上の注意点について解説。 【事前学習】2 時間 EconLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 よく復習し、キーワードを使えるようにすること。
第 2 回	グループワーク（議論 1）	サンデル『それをお金で買いますか』の主張について、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について、その根拠や妥当性を検討し、自分の当初の主張を再考してみる。
第 3 回	グループワーク（議論 2）	サンデル『それをお金で買いますか』の主張について、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について、その根拠や妥当性を検討し、自分の当初の主張を再考してみる。
第 4 回	グループワーク（議論 3）	サンデル『それをお金で買いますか』の主張について、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について、その根拠や妥当性を検討し、自分の当初の主張を再考してみる。
第 5 回	グループワーク（議論 4）	サンデル『それをお金で買いますか』の主張について、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について、その根拠や妥当性を検討し、自分の当初の主張を再考してみる。
第 6 回	グループワーク（議論 5）	スロウィツキー『「みんなの意見」は案外正しい』の主張について、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について、その根拠や妥当性を検討し、自分の当初の主張を再考してみる。
第 7 回	グループワーク（発表準備）	次回の発表会に向けて、グループで資料の作成などの準備を行う 【事前学習】2 時間 これまで取り上げた教材の復習。 【事後学習】2 時間 グループワークで決めた方針にそって資料を完成させる。
第 8 回	グループ別発表	これまで学んだ内容を他の人にわかるようにまとめて、グループ別に発表する。 【事前学習】2 時間 作成した資料を用いて、発表の準備をする。 【事後学習】2 時間 自分のグループの発表のよかった点、今後の改善点について検討する。
第 9 回	エクセル演習	website からデータをダウンロードし、エクセルを用いてそれを分析するという一連の作業に慣れる。 【事前学習】2 時間

		資料をダウンロードして予習する。 【事後学習】2 時間 もう一度授業で学んだ手順に従い、内閣府・財務省・日本銀行などからデータをダウンロードして、グラフを描いて復習する。
第 10 回	グループワーク	特定の産業や企業に注目し、今後の課題について、グループで議論や分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして予習する。 【事後学習】2 時間 自分のグループの議論を振り返り、次回以降の課題は何かを考える。
第 11 回	グループワーク	特定の産業や企業に注目し、今後の課題について、グループで議論や分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして予習する。 【事後学習】2 時間 自分のグループの議論を振り返り、次回以降の課題は何かを考える。
第 12 回	グループワーク	特定の産業や企業に注目し、今後の課題について、グループで議論や分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして予習する。 【事後学習】2 時間 自分のグループの議論を振り返り、次回以降の課題は何かを考える。
第 13 回	グループワーク	特定の産業や企業に注目し、今後の課題について、グループで議論や分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして予習する。 【事後学習】2 時間 自分のグループの議論を振り返り、次回以降の課題は何かを考える。
第 14 回	グループワーク	前回の中間報告会を踏まえ、次回の最終報告会にむけた資料作成をグループで進める。 【事前学習】2 時間 自分の考える改善点を 3 つまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業中の作業を踏まえ、最終報告会用の資料をまとめる。
第 15 回	グループ別発表	これまで 5 回のグループワークで作成した資料に基づき、発表を行う。 【事前学習】2 時間 作成した資料を用いて、発表の準備をする。 【事後学習】2 時間 自分のグループの発表のよかった点、今後の改善点について検討する。
第 16 回	ガイダンス 2	後期の講義の内容等について解説。最初に取り上げる本を検討し決定する。 【事前学習】2 時間 EconLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 取り上げる本の中身を大まかにみて、どこを分担するかを考える。
第 17 回	グループワーク（輪読 1）	選ばれた本を分担して輪読し、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ、理解を確かなものにする。
第 18 回	グループワーク（輪読 2）	選ばれた本を分担して輪読し、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間

		資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ、理解を確かなものにする。
第 19 回	グループワーク（輪読 3）	選ばれた本を分担して輪読し、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ、理解を確かなものにする。
第 20 回	グループワーク（輪読 4）	選ばれた本を分担して輪読し、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ、理解を確かなものにする。
第 21 回	グループワーク（議論 5）	選ばれた本を分担して輪読し、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ、理解を確かなものにする。
第 22 回	グループワーク（発表準備）	次の発表会に向けて、グループで資料の作成などの準備を行う 【事前学習】2 時間 これまで輪読した内容の復習。 【事後学習】2 時間 グループワークで決めた方針にそって資料を完成させる。
第 23 回	グループ別発表	これまで学んだ内容を他の人にわかるようにまとめて、グループ別に発表する。 【事前学習】2 時間 作成した資料を用いて、発表の準備をする。 【事後学習】2 時間 自分のグループの発表のよかった点、今後の改善点について検討する。
第 24 回	グループワーク（個人エッセイ準備 1）	期末に作成する個人エッセイのため、似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマについて検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーの意見も参考に、自分のテーマを再考する。
第 25 回	グループワーク（個人エッセイ準備 2）	期末に作成する個人エッセイのため、似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマの具体的な内容を検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーの意見も参考に、自分のテーマの具体的な内容を再考する。
第 26 回	グループワーク（個人エッセイ準備 3）	期末に作成する個人エッセイのため、似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマに関する具体的な作業内容を検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーと行う共同の作業を検討する。
第 27 回	グループワーク（個人エッセイ準備 4）	期末に作成する個人エッセイのため、似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 グループの他のメンバーと行う共同の作業を検討する。 【事後学習】2 時間

		グループの他のメンバーと行う共同の作業で、残された作業を点検する。
第 28 回	グループワーク（個人エッセイ準備 5）	期末に作成する個人エッセイのため、似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 グループの共同作業としてどこまで行うかを検討する。 【事後学習】2 時間 次回の共同作業内容の報告会に向けた準備を行う。
第 29 回	グループ別発表	各グループから共同作業内容について発表。 【事前学習】2 時間 作成資料に基づき発表の準備。 【事後学習】2 時間 発表会を振り返って改善点を検討し、個人エッセイとして深める内容を検討する。
第 30 回	振り返り	年間を通じた授業の振り返りを行い、これからまとめる個人エッセイについての個別の相談に応じる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	40%	0%	100%
評価の特記事項					
期末に提出してもらう個人エッセイの評価が主ですが、そのほかにグループワークの発表も評価に加えます。					

テキスト
以下の教材の一部を使いますが、必要な部分は Google Classroom に掲載します。 ・マイケル・サンデル（鬼澤忍訳）『それをお金で買いますか：市場主義の限界』, 早川書房, 2014 年, 880 円（税込） ・ジェームズ・スロウィッキー（小高尚子訳）『「みんなの意見」は案外正しい』, 角川書店, 2009 年, 1600 円（税別）
参考文献
授業の時に指示します。
オフィスアワー
水曜日 15～16 時に相談・質問を受けますので、メールで事前にアポを取ってください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
現実の日本経済が抱える問題解決の糸口を探る学問としての経済学を追究します。 毎日、新聞・雑誌の経済記事を一つでよいので精読してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門研究（一）	クラス	
担当教員	川崎 茂	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	月2	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この科目では、学生が次の知識・能力を修得することを目標とします。 ① 多様なグローバルな社会経済課題の中から影響度の大きい重要なものを調べ、情報を整理して発表できること。 ② グローバルな課題の背景にある多面的な側面を理解し、可能な限り客観的な事実に基づいて解釈・説明できること。 ③ 資料の取りまとめ・ディスカッションを通じて、自らの考えを適切に発表し、議論に活かすこと。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
このゼミでは、私たちが日々のニュースで見聞するグローバルな社会・経済の課題を中心に、自分の関心を持ったテーマについて自らの力で調べ、統計データを用いながら経済学的視点で研究します。学生は、新聞、外国のニュースサイト、国際機関の情報サイト等を通じてグローバルな課題を自ら探し、それについて調べてプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションに基づいて、学生同士で議論を行い、理解を深めます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	導入	ゼミの内容及び進め方について説明する。ゼミ生同士で自己紹介を行い、お互いを知る。ゼミでは自由に議論できる雰囲気を作成することが必要なので、気軽に話せる人間関係を作るよう努める。 事前学習：特になし 事後学習：次回に向けて出す課題に対応すること
第 2 回	ニュース発表 (1)	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：2 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：2 時間。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 3 回	ニュース発表 (2)	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：2 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：2 時間。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 4 回	ニュース発表 (3)	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：2 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：2 時間。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 5 回	ニュース発表 (4)	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：2 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：2 時間。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 6 回	ニュース発表 (5)	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：2 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：2 時間。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 7 回	ニュース発表 (6)	発表の当番に当たった学生は、ニュース発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：2 時間。予め選んだニュースのテーマについて予習する。 事後学習：2 時間。本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第 8 回	グループ研究 (1)	ニュース発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：2 時間。過去 7 回のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：2 時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第 9 回	グループ研究 (2)	ニュース発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：2 時間。過去 7 回のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：2 時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第 10 回	グループ研究 (3)	ニュース発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：2 時間。過去 7 回のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：2 時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第 11 回	グループ研究 (4)	ニュース発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：2 時間。過去 7 回のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：2 時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。

第12回	グループ研究（5）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：2時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：2時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第13回	グループ研究（6）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：2時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：2時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第14回	グループ研究（7）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：2時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：2時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第15回	前期のまとめ	前期のグループ研究の議論を振り返り、ディスカッションの際に出た疑問点について解明し、取りまとめる。 事前学習：2時間。これまでの発表内容を振り返り、疑問点を整理する。 事後学習：2時間。本日の議論を整理し、理解を深める。
第16回	導入	夏季休暇中における読書・活動等についてお互いに報告する。後期のゼミの進め方について説明する。 事前学習：2時間。ゼミでの発表に備える。 事後学習：2時間。次回以降の発表に備え、課題資料を概観する。
第17回	資料発表（1）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：2時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：2時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第18回	資料発表（2）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：2時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：2時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第19回	資料発表（3）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：2時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：2時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第20回	資料発表（4）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：2時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：2時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第21回	資料発表（5）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：2時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：2時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第22回	資料発表（6）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：2時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：2時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第23回	資料発表（7）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。

		事前学習：2 時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：2 時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第 2 4 回	グループ研究（1）	資料発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：2 時間。後期のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：2 時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第 2 5 回	グループ研究（2）	決められたグループに分かれて、グループごとに設定したテーマに関し研究を行う。 事前学習：2 時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。 事後学習：2 時間。グループでの議論に応じて、さらに情報を調べる。
第 2 6 回	グループ研究（3）	グループでの研究を進める。 事前学習：2 時間。グループのテーマについて不足する情報はないか、検討する。 事後学習：2 時間。グループでの議論に応じて、さらに情報を調べる。
第 2 7 回	グループ研究（4）	グループでの研究を進める。 事前学習：2 時間。グループのテーマについて不足する情報はないか、検討する。 事後学習：2 時間。グループでの議論に応じて、さらに情報を調べる。
第 2 8 回	グループ研究（5）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：2 時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：2 時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第 2 9 回	グループ研究（6）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：2 時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：2 時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第 3 0 回	ゼミナールの振り返り	前期・後期を通じて行った研究を振り返り、学んだことを整理する。 事前学習：2 時間。前期・後期の研究について疑問点を整理する 事後学習：2 時間。疑問点について分かったこと、さらに研究・考察が必要なことを整理する。

授業形式	
各回のゼミでは、予め発表する当番を決めておき、その当番からの発表に対してディスカッションを行います。履修者は、疑問点を提起したり、他の履修者の疑問点に答えるなど、議論に積極的に参加してください。教員から研究テーマの候補を提示しますが、必ずしもそれにとらわれず、自分で何かのテーマに興味のある人は、それを選んで研究してください。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
各自の研究発表及びグループごとの研究発表をレポートとみなし、その成果を評価の対象とします。また、授業への積極的な参加、ディスカッションの内容の発展・深化への貢献の高さに応じて評価します。					

テキスト
授業内で随時紹介します。
参考文献
オフィスアワー
火曜日 16:30～18:00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールでは、能動的かつ積極的に取り組む姿勢が必要です。自分で課題を探し、それについて自分で調べ、それをまとめて発表することが必須です。また、ゼミ生同士での議論を通じて自分の理解の妥当性をチェックし、それを通じてお互いに学びあうことが必要です。ゼミナールを通じて幅広い視野、対話・討論の能力を培うとともに、よい学友を見つけてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	15
担当教員	川出 真清	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	A12	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 身の回りの社会現象を経済的側面から調査・分析できる。 2. 社会が抱える問題を経済学，財政学，公共経済学の観点から分析し，解決策を考えられる。 3. 現実の問題にグループで問題解決を試みる中で，固有の能力を確認し，発揮することができる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では，ゼミナール科目として，受講生自身ならびにゼミ全体で設定した社会課題について，調査や研究を通じて解決策を模索し，報告や討論を通じて，それらの研鑽を図ります。他者からの批判を伴う討論や複雑な要因により解決が困難な地域支援活動に従事することで，資料調査だけでは実現できない様々な観点からの要請について考慮を深め，多くの観点到に配慮した総合判断力を養成することを目的としています。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ゼミ運営の説明	初回はゼミの運営ルールの説明と班分け，自己紹介を行う。 【事前学習】入室試験時の資料や自分のエントリーシートを読み込む；2 時間 【事後学習】ゼミの運営ルールを繰り返し読み理解する；2 時間
第 2 回	ゼミ発表の準備について	ゼミの報告資料の作成について，指導を行う。 【事前学習】各班の報告資料を準備してくる；2 時間 【事後学習】各班の報告資料の改善点について考える；2 時間
第 3 回	発表・討論 1 回目（1）	第 1 班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；2 時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；2 時間
第 4 回	発表・討論 1 回目（2）	第 2 班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；2 時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；2 時間
第 5 回	発表・討論 1 回目（3）	第 3 班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；2 時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；2 時間
第 6 回	地域支援活動調査報告会（1）	現地で行う地域支援活動のために必要な調査研究の発表を行う 【事前学習】各自で研究や提案の準備をする；2 時間 【事後学習】報告会を受けて，調査や提案について改善する；2 時間
第 7 回	発表・討論 2 回目（1）	第 1 班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；2 時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；2 時間
第 8 回	発表・討論 2 回目（2）	第 2 班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；2 時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；2 時間
第 9 回	発表・討論 2 回目（3）	第 3 班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；2 時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；2 時間
第 10 回	見学研究	見学委員会が提示した見学先に行き，見聞を深める。 【事前学習】見学先の情報を収集し，見学を通じて学ぶべきことを考察する；2 時間 【事後学習】実際の見学を踏まえて，見学を通じて学んだことを振り返る；2 時間
第 11 回	発表・討論 3 回目（1）	第 1 班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；2 時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；2 時間
第 12 回	発表・討論 3 回目（2）	第 2 班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；2 時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；2 時間
第 13 回	発表・討論 3 回目（3）	第 3 班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；2 時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；2 時間
第 14 回	地域支援活動調査報告会（2）	現地で行う地域支援活動のために必要な調査研究の発表を行う 【事前学習】各自で研究や提案の準備をする；2 時間 【事後学習】報告会を受けて，調査や提案について改善する；2 時間
第 15 回	前半講義のまとめ	前期の講義を全体的に概観し，ゼミナールにおける学修とは何かについて問い直す。 【事前学習】各自の発表は討論を踏まえ，今後の取り組み方について考察する；2 時間

		【事後学習】他の学生の振り返りや学生間議論を通じて、今後の取組について方向性を確認する；2時間
第16回	個別研究テーマの選択と班再編成	各自の個別研究テーマを設定し、類似課題で班を再編成する。 【事前学習】今後の個別研究テーマについて、関連する資料などを調査して、考察する；2時間 【事後学習】個別研究テーマに従って、各自の研究を開始する；2時間
第17回	地域支援活動調査報告会（3）	現地で行う地域支援活動のために必要な調査研究の発表を行う 【事前学習】各自で研究や提案の準備をする；2時間 【事後学習】報告会を受けて、調査や提案について改善する；2時間
第18回	発表・討論 4回目（1）	第1班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し、討論の準備をする；2時間 【事後学習】報告資料を踏まえて、自己の討論について振り返る；2時間
第19回	発表・討論 4回目（2）	第2班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し、討論の準備をする；2時間 【事後学習】報告資料を踏まえて、自己の討論について振り返る；2時間
第20回	発表・討論 4回目（3）	第3班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し、討論の準備をする；2時間 【事後学習】報告資料を踏まえて、自己の討論について振り返る；2時間
第21回	地域支援活動調査報告会（4）	現地で行う地域支援活動のために必要な調査研究の発表を行う 【事前学習】各自で研究や提案の準備をする；2時間 【事後学習】報告会を受けて、調査や提案について改善する；2時間
第22回	発表・討論 5回目（1）	第1班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し、討論の準備をする；2時間 【事後学習】報告資料を踏まえて、自己の討論について振り返る；2時間
第23回	発表・討論 5回目（2）	第2班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し、討論の準備をする；2時間 【事後学習】報告資料を踏まえて、自己の討論について振り返る；2時間
第24回	発表・討論 5回目（3）	第3班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し、討論の準備をする；2時間 【事後学習】報告資料を踏まえて、自己の討論について振り返る；2時間
第25回	見学研究	見学委員会が提示した見学先に行き、見聞を深める。 【事前学習】見学先の情報を収集し、見学を通じて学ぶべきことを考察する；2時間 【事後学習】実際の見学を踏まえて、見学を通じて学んだことを振り返る；2時間
第26回	発表・討論 6回目（1）	第1班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し、討論の準備をする；2時間 【事後学習】報告資料を踏まえて、自己の討論について振り返る；2時間
第27回	発表・討論 6回目（2）	第2班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し、討論の準備をする；2時間 【事後学習】報告資料を踏まえて、自己の討論について振り返る；2時間
第28回	発表・討論 6回目（3）	第3班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し、討論の準備をする；2時間 【事後学習】報告資料を踏まえて、自己の討論について振り返る；2時間
第29回	地域支援活動調査報告会（5）	現地で行う地域支援活動のために必要な調査研究の発表を行う 【事前学習】各自で研究や提案の準備をする；2時間 【事後学習】報告会を受けて、調査や提案について改善する；2時間
第30回	後半講義のまとめ	講義を全体的に概観し、ゼミナールにおける学修とは何かについて問い直す。 【事前学習】各自の発表は討論を踏まえ、今後の取り組み方について考察する；2時間 【事後学習】他の学生の振り返りや学生間議論を通じて、今後の取組につ

		いて方向性を確認する；2 時間
--	--	-----------------

授業形式
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					
報告討論などの参加態度と地域支援活動の参加態度で評価する。					

テキスト
持田信樹（2009）「財政学」，東京大学出版会，3080 円（税込）．
参考文献
井堀利宏（2013）「財政学（第 4 版）」，新世社，2300 円（税別）． 上村敏之(2007)「コンパクト 財政学」，新世社． ジョセフ・スティグリッツ（2003）「公共経済学 上・下（第 2 版・藪下史郎翻訳）」，東洋経済新報社． 井堀利宏(2009)「日本の財政・税制（3 訂版）」，税務経理協会． 土居丈朗（2002）「入門公共経済学」，日本評論社．
オフィスアワー
火曜日 5 限（16：20～17：50）で，希望者は電子メールで事前に予約すること。方法や場所は学生面談室または研究室とする。電子メールアドレスは講義初回に伝える。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
前期はテキストの発表を通じた討論の練習，後期は個別研究の発表を通じた討論の練習を行います。地域支援活動を通じて，ゼミ全体での共同作業を行い，現実社会の課題解決の困難を体感し，各自の学修成果を社会に還元します。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	16
担当教員	岸田 真	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3114	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この授業では、ゼミナール活動を通じて以下の能力を身につけることを目指す。 1. 文献調査を通して様々な課題を認識し、それらを整理する能力 2. 課題について資料やデータをもとに分析し、その結果を考察する能力 3. プレゼンテーションを通して自分の考えを他者に分かりやすく伝える能力 4. 討論を通して相手の考えを理解し、自分の考えと照らし合わせて深く考察する能力 対応 DP および CP : 5・6・7・8
授業概要（教育目的）
この授業では、日本経済史に関する基本的な知識を学ぶとともに、過去から現代の日本のマクロ経済・企業・政策などのテーマについて深く探究する。また、プレゼンテーションや競技ディベートの実践を通じて、学習目標に掲げた能力を身に着けることを目指す。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	オリエンテーション	自己紹介・ゼミナル活動の説明など 【事前学習】1 時間 自己紹介およびゼミでの学習目標を考える。
第 2 回	テキスト輪読 (1)	日本経済史に関する基本的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 3 回	テキスト輪読 (2)	日本経済史に関する基本的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 4 回	テキスト輪読 (3)	日本経済史に関する基本的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 5 回	テキスト輪読 (4)	日本経済史に関する基本的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 6 回	テキスト輪読 (5)	日本経済史に関する基本的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 7 回	情報検索の方法についての実践	図書館の資料やデータへのアクセスの方法、新聞・雑誌などの検索の方法、基本的なオンラインデータベースの利用方法などについて実習を行う。 【事前学習】1 時間 配布したプリントを事前に精読する。 【事後学習】2 時間 情報検索に関する課題に取り組む
第 8 回	ゼミ内討論会についての報告 (1)	ゼミ内討論会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間 報告資料の準備

		【事後学習】2 時間 討論・指導のフィードバックを行う。
第 9 回	ゼミ内討論会についての報告（2）	ゼミ内討論会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間 報告資料の準備 【事後学習】2 時間 討論・指導のフィードバックを行う。
第 10 回	ゼミ内討論会についての報告（3）	ゼミ内討論会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間 報告資料の準備 【事後学習】2 時間 討論・指導のフィードバックを行う。
第 11 回	ゼミ内討論会についての報告（4）	ゼミ内討論会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間 報告資料の準備 【事後学習】2 時間 討論・指導のフィードバックを行う。
第 12 回	ゼミ内討論会の実施	第 8 回～第 11 回までの成果をもとに、ディベート形式によるゼミ内討論会を実施する。 【事前学習】4 時間 討論会の準備 【事後学習】2 時間 討論会の内容について振り返る。
第 13 回	ゼミ内討論会の振り返り	前回のゼミ内討論会の振り返りと反省会を行う。 【事前学習】2 時間 討論会の内容に関する自己評価シートを作成。 【事後学習】1 時間 振り返りをもとに自己評価シートを加筆する。
第 14 回	インゼミ大会についての説明および事前学習	秋に行われるインゼミ大会についての説明および大会テーマに関する事前学習を行う。 【事前学習】なし 【事後学習】5 時間 大会テーマに関する文献調査を行う。
第 15 回	前期のまとめ	前期の内容を振り返り、夏季休暇中の課題や活動予定について確認する。 【事前学習】なし 【事後学習】2 時間 夏休みの学習計画を作成する。
第 16 回	インゼミ大会についての報告（1）	インゼミ大会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間 報告資料の準備 【事後学習】2 時間 討論・指導のフィードバックを行う。
第 17 回	インゼミ大会についての報告（2）	インゼミ大会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間 報告資料の準備 【事後学習】2 時間 討論・指導のフィードバックを行う。
第 18 回	インゼミ大会についての報告（3）	インゼミ大会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間 報告資料の準備 【事後学習】2 時間 討論・指導のフィードバックを行う。
第 19 回	インゼミ大会の準備	インゼミ大会について、討論にむけた準備を行う。 【事前学習】3 時間 討論の準備 【事後学習】2 時間 指導のフィードバックを行う。
第 20 回	インゼミ大会（1）	他大学とのインゼミ大会（ディベート大会）に参加し成果を発表する。 【事前学習】4 時間 討論の意準備 【事後学習】2 時間 討論のフィードバック
第 21 回	インゼミ大会（2）	他大学とのインゼミ大会（ディベート大会）に参加し成果を発表する。 【事前学習】4 時間 討論の意準備 【事後学習】2 時間 討論のフィードバック
第 22 回	インゼミ大会の振り返り	インゼミ大会の振り返りと反省会を行う。 【事前学習】2 時間 討論会の内容に関する自己評価シートを作成。 【事後学習】1 時間 振り返りをもとに自己評価シートを加筆する。
第 23 回	資料館・博物館見学会	経済史・経営史に係る博物館や資料館の見学を行う。

		【事前学習】なし 【事後学習】2 時間 見学レポートを作成する。
第 24 回	テキスト輪読（6）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 25 回	テキスト輪読（7）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 26 回	テキスト輪読（8）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 27 回	テキスト輪読（9）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 28 回	テキスト輪読（10）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 29 回	テキスト輪読（11）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 30 回	後期の振り返り	後期の授業を振り返るとともに、教員と個人面談を実施する。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30	0%	70	0%	100%
評価の特記事項					
・成績評価は、報告・資料など提出物の内容、授業への参画度、討論やインゼミ大会への貢献度などをもとに総合的に評価する。					

テキスト
・テキストは初回授業時に指示する。
参考文献
オフィスアワー
・オフィスアワーは水曜日とする。事前にメール等でアポを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・ゼミナール科目は、出席だけでなく、サブゼミなども含むゼミ活動全体への参加と貢献が求められる。
・無断欠席やゼミ活動に対する十分な貢献がないと判断された場合は、学期の途中であっても退会となる場合がある。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	17
担当教員	権 赫旭	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
ゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 現実経済社会問題を経済学の考え方と方法論に基づいて分析できる。 2. 自ら分析した結果に基づいて問題解決策を提示できる。 3. 自ら提示した問題解決策と他の解決策を比較し、議論できる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
ゼミナールでは、企業と深く関連したミクロ経済学、産業組織論、技術経済学、労働経済学、国際経済学などの経済理論の基礎知識を習得するのみならず、その経済理論の視点に立って、実際の企業行動、企業戦略や意思決定などを研究します。また、多少の失敗があったとしても自ら考え、皆と議論するプロセスを大切にしています。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミナールの基本的な運営方式について説明する。 ミクロ経済学の生産者理論について説明する。 【事前学習】2 時間 ミクロ経済学の生産者理論部分を復習する 【事後学習】2 時間 宿題として与えられた生産者理論に関する問題を解く。
第 2 回	ケーススタディーとは	ケーススタディーの意味や目的、進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 Google クラウドから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 3 回	利潤最大化とカルビービジネス ケース	カルビービジネスケースを用いて利潤最大化についてプレゼンとディスカッション を通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはカルビービジネスケースをよく読んで、プレゼン資 料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、企業の利潤最大化について理 解する。
第 4 回	費用最小化とトリンプ・インタ ーナショナルビジネスケース	トリンプ・インターナショナルビジネスケースを用いて費用最小化についてプレゼ ンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはトリンプ・インターナショナルビジネスケースをよく読 んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備 する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、企業の費用最小化について理 解する。
第 5 回	規模の経済とマブチモーター ビジネスケース	マブチモータービジネスケースを用いて規模の経済についてプレゼンとディスカッ ションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはマブチモータービジネスケースをよく読んで、プレゼ ン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、規模の経済について理解す る。
第 6 回	製品差別化①とスターバックス ビジネスケース	スターバックスビジネスケースを用いて製品差別化（場所の雰囲気）について プレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはスターバックスビジネスケースをよく読んで、プレゼ ン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、製品差別化（場所の雰囲気） について理解する。
第 7 回	製品差別化②とワコールビ ジネスケース	ワコールビジネスケースを用いて製品差別化（品質）についてプレゼンとディス カッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはワコールビジネスケースをよく読んで、プレゼン資 料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。

		【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、製品差別化（品質）について理解する。
第 8 回	学習効果と JFE スチールビジネスケース	JFE スチールビジネスケースを用いて学習効果についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループは JFE スチールビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、学習効果について理解する。
第 9 回	共食いとドートルビジネスケース	ドートルビジネスケースを用いて共食いについてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはドートルビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、共食いについて理解する。
第 10 回	多角化と富士フイルムビジネスケース	富士フイルムビジネスケースを用いて多角化についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループは富士フイルムビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、多角化について理解する。
第 11 回	垂直的企業関係と積水化学工業ビジネスケース	積水化学工業ビジネスケースを用いて垂直的企業関係についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループは積水化学工業ビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、垂直的企業関係について理解する。
第 12 回	価格競争とサウスウエスト航空ビジネスケース	サウスウエスト航空ビジネスケースを用いて価格競争についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはサウスウエスト航空ビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、価格競争について理解する。
第 13 回	ベネフィットリーダーシップとキーエンスビジネスケース	キーエンスビジネスケースを用いてベネフィットリーダーシップについてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはキーエンスビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、ベネフィットリーダーシップについて理解する。
第 14 回	製品イノベーションとシチズン時計ビジネスケース	シチズン時計ビジネスケースを用いて製品イノベーションについてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはシチズン時計ビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。

		【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、製品イノベーションについて理解する。
第 15 回	前期の学習内容を総括する。	経済学の内容が企業経営にどのように適用されているのかについて学習内容を確認し、議論する。
第 16 回	FDI 戦略と 8 番ラーメンビジネスケース	8 番ラーメンビジネスケースを用いて FDI 戦略についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループは 8 番ラーメンビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、FDI 戦略について理解する。
第 17 回	参入競争とヤマハビジネスケース	ヤマハビジネスケースを用いて参入競争についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはヤマハビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、参入競争について理解する。
第 18 回	Management Practice とヤマト運輸ビジネスケース	ヤマトビジネスケースを用いて Management Practice についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはヤマト運輸ビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、Management Practice について理解する。
第 19 回	企業の経営資源と JSR ビジネスケース	JSR ビジネスケースを用いて企業の経営資源についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループは JSR ビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、企業の経営資源について理解する。
第 20 回	グローバルバリューチェーンとアップルビジネスケース	アップルビジネスケースを用いてグローバルバリューチェーンについてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはアップルビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、グローバルバリューチェーンについて理解する。
第 21 回	戦略的提携と日亜化学工業ビジネスケース	日亜化学工業ビジネスケースを用いて戦略的提携についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループは日亜化学工業ビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、戦略的提携について理解する。
第 22 回	イノベーションジレンマとパナ	パナソニックビジネスケースを用いてイノベーションジレンマについてプレゼンとディ

	ソニックビジネスケース	スカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはパナソニックビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、イノベーションジレンマについて理解する。
第 23 回	企業文化とアサヒビールビジネスケース	アサヒビールビジネスケースを用いて企業文化についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはアサヒビールビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、企業文化について理解する。
第 24 回	明治大学商学部、学習院大学経済学部とのインターゼミナールプレゼン準備	グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察したものを他大学とのインターゼミナールにてプレゼンする内容を披露し、ディスカッションする 【事前学習】20 時間 グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察した内容を取りまとめる。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの内容を整理して、プレゼン内容を理解すること。
第 25 回	ゼミナール入室試験実施	面接試験を実施
第 26 回	専修大学経済学部、武蔵大学経済学部とのインターゼミナールプレゼン準備	グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察したものを他大学とのインターゼミナールにてプレゼンする内容を披露し、ディスカッションする 【事前学習】20 時間 グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察した内容を取りまとめる。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの内容を整理して、プレゼン内容を理解すること。
第 27 回	オープンイノベーションとソニービジネスケース	ソニービジネスケースを用いてオープンイノベーションについてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはソニービジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、オープンイノベーションについて理解する。
第 28 回	組織構造調整とローソンビジネスケース	ローソンビジネスケースを用いて組織構造調整についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはローソンビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、組織構造調整について理解する。
第 29 回	ブランドと資生堂ビジネスケース	資生堂ビジネスケースを用いてブランドについてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループは資生堂ビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、ブランドについて理解する。
第 30 回	後期の学習内容を総括する。	経済学の内容が企業経営にどのように適用されているのかについて学習内容を確認し、議論する。また、インターゼミナールを通じて学んだ内容について議

		論し、整理する。
--	--	----------

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	60%	10%	100%
評価の特記事項					

テキスト
特になし
参考文献
ゼミナールの時間中に紹介する。
オフィスアワー
木曜日 12 時から 13 時まで。ゼミナールラインでアポをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールで配布する企業のビジネスケースをよく読んで、ディスカッションできるように準備すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	18
担当教員	呉 逸良	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3102	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. ミクロ経済学の基本知識を理解し、説明できる。 2. 私たちの身近にあるさまざまな問題を経済学的な視点から捉えることで、新聞やニュースなどの社会・経済問題、特に地域経済問題や企業立地問題を理解できる。 3. 経済学的な考え方を理解し、経済主体の行動パターンを説明できる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミでは、地域経済学や空間経済学を本格的に学修する準備として、ミクロ経済学の基礎知識を強化学習します。また、私たちの身近な問題を経済学的な視点から分析します。これによって、経済学とはどのような学問なのかを理解してもらい、専門的な学修に向けた基礎を身につけてもらいます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 身近な問題を経済学的な視点から捉えてみよう。 【事前学習】2 時間 EcoLink のこの授業の掲示板の指示に従い, 事前学習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 2 回	「経済学」とは何か	「経済学とは何か」について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で, 授業時に提示した課題に取り組み, 期限までに必ず提出すること
第 3 回	「需要と供給」について	「需要と供給」について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 4 回	「家計の消費行動①」 予算, 効用, 最適消費	「家計の消費行動①」の予算, 効用, 最適消費について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 5 回	「家計の消費行動②」 所得と消費, 価格と消費	「家計の消費行動②」所得と消費, 価格と消費について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 6 回	「企業の供給行動①」 生産関数, 生産要素の最適投入, 短期費用と長期費用	「企業の供給行動①」生産関数, 生産要素の最適投入, 短期費用と長期費用について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 7 回	「企業の供給行動②」 利潤最大化と最適生産, 短期供給曲線と長期供給曲線	「企業の供給行動②」利潤最大化と最適生産, 短期供給曲線と長期供給曲線について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 8 回	「完全競争市場と効率性①」	「完全競争市場と効率性①」市場均衡と均衡の安定性, 部分均衡分析について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。

	市場均衡と均衡の安定性、部分均衡分析	【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 9 回	「完全競争市場と効率性②」 一般均衡分析	「完全競争市場と効率性②」一般均衡分析について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 10 回	「生産要素市場と所得分配①」 企業の労働需要、家計の労働供給	「生産要素市場と所得分配①」企業の労働需要、家計の労働供給について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 11 回	「生産要素市場と所得分配②」 労働市場の均衡と賃金率、固定的生産要素の価格、市場経済と所得分配	「生産要素市場と所得分配②」労働市場の均衡と賃金率、固定的生産要素の価格、市場経済と所得分配について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 12 回	「独占・寡占・独占的競争①」 独占、独占的競争	「独占・寡占・独占的競争①」独占、独占的競争について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 13 回	「独占・寡占・独占的競争②」 寡占、産業規制	「独占・寡占・独占的競争②」寡占、産業規制について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 14 回	「外部性と公共財」	「外部性と公共財」について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 15 回	「ゲーム理論」	「ゲーム理論」について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 16 回	「情報とリスクの経済学①」 不確実性と意思決定、保険市場	「情報とリスクの経済学①」不確実性と意思決定、保険市場について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間

		資料等により理解を深める。
第 17 回	「情報とリスクの経済学②」 情報の非対称性問題	「情報とリスクの経済学②」情報の非対称性問題について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 18 回	ミクロ経済学の基礎知識の まとめ	ミクロ経済学の基礎知識をまとめ、全体を復習する。身近な経済問題に対して各自考え方を示し討論する。 次回の学習内容とテキストを指示する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 19 回	「なぜゲーム理論の考え方が 重要か」	「なぜゲーム理論の考え方が重要か」について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 20 回	「非協力ゲーム理論①」 個人の意思決定、戦略型 ゲーム	「非協力ゲーム理論①」個人の意思決定、戦略型ゲームについて指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 21 回	「非協力ゲーム理論②」 展開型ゲーム、不完備情 報ゲーム	「非協力ゲーム理論②」展開型ゲーム、不完備情報ゲームについて指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 22 回	「協力ゲーム理論①」 協力ゲーム理論、提携型 ゲーム	「協力ゲーム理論①」協力ゲーム理論、提携型ゲームについて指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 23 回	「協力ゲーム理論②」 コア、シャプレイ値	「協力ゲーム理論②」コア、シャプレイ値について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 24 回	「二部マッチング市場①」 二部マッチング市場の分 類、1 対 1 マッチング市場	「二部マッチング市場①」二部マッチング市場の分類、1 対 1 マッチング市場について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 25 回	「二部マッチング市場②」	「二部マッチング市場②」多対 1 マッチング市場、実際の市場について指定し

	多対 1 マッチング市場, 実際の市場	た文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 26 回	「分配マッチング市場①」 分配マッチング市場とは, 1 対 1 分配マッチング市場	「分配マッチング市場①」分配マッチング市場とは, 1 対 1 分配マッチング市場について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 27 回	「分配マッチング市場②」 多対 1 分配マッチング市場	「分配マッチング市場②」多対 1 分配マッチング市場について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 28 回	「分配マッチング市場③」 優先順位付き多対 1 分配マッチング市場	「分配マッチング市場③」優先順位付き多対 1 分配マッチング市場について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 29 回	「分配マッチング市場④」 実際のマッチング市場	「分配マッチング市場④」実際のマッチング市場について指定した文献の内容を順番に報告する。議論を通じて理解を深める。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 30 回	ゲーム理論とマッチングについてのまとめ	ゲーム理論とマッチングについての基礎知識をまとめ, 全体を復習する。身近な経済問題に対して各自考え方を示し討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し, 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

授業形式	
・質問等のフィードバックは, 講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
授業内で提示した課題はすべて提出すること。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
火曜日 9 : 0 0 ~ 1 0 : 0 0。事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
十分な予習・復習に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	19
担当教員	児玉 直美	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	A35a	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
中小企業、ベンチャー企業のビジネス・ケースや論文を使って討論する能力、事業計画を作るために必要なプレゼン能力、分析能力、質問・議論する能力を養う。 対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
この授業では、グループで討論、調査、データ分析、発表資料作成、プレゼンテーションを行う。後期には、合同ゼミで発表をする。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方の説明 自己紹介 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 2 回	簡単なプレゼンテーション	自己紹介 【事前学習】4 時間 プレゼン資料の準備
第 3 回	簡単なプレゼンテーション グループ決め	係、グループを作る 【事前学習】4 時間 プレゼン資料の準備
第 4 回	ディベートについて	ディベートの方法説明、ディベートのテーマ決め 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 5 回	参考文献の引用方法	参考文献の引用方法について学ぶ 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 6 回	グループワーク	グループに分かれてディベートの準備 【事前学習】4 時間 テーマについて下調べ
第 7 回	ディベート（テーマ 1）	ディベート（テーマ 1） 【事前学習】4 時間 ディベートの準備
第 8 回	ディベート（テーマ 2）	ディベート（テーマ 2） 【事前学習】4 時間 ディベートの準備
第 9 回	合同ゼミ発表について	研究テーマの選び方について説明 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 10 回	グループワーク	グループに分かれてディベートの準備 【事前学習】4 時間 テーマについて下調べ
第 11 回	ディベート（テーマ 3）	ディベート（テーマ 3） 【事前学習】4 時間 ディベートの準備
第 12 回	ディベート（テーマ 4）	ディベート（テーマ 4） 【事前学習】4 時間 ディベートの準備
第 13 回	合同ゼミテーマ案発表	研究計画の作り方、プレゼンの方法について学ぶ 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 14 回	合同ゼミテーマ案発表	研究計画の作り方、プレゼンの方法について学ぶ 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 15 回	合同ゼミテーマ案発表	研究計画の作り方、プレゼンの方法について学ぶ 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 16 回	合同ゼミテーマ決定	合同ゼミテーマ、グループ決定 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す

第 17 回	就活報告会	4 年生による就活報告会 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 18 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 19 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 20 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 21 回	中間報告会	ここまでの成果を報告し、議論する 【事前学習】4 時間 発表準備
第 22 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 23 回	中間報告会	ここまでの成果を報告し、議論する 【事前学習】4 時間 発表準備
第 24 回	予行練習	週末に予定されている合同ゼミの練習 【事前学習】4 時間 発表準備
第 25 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 26 回	予行練習	週末に予定されている合同ゼミの練習 【事前学習】4 時間 発表準備
第 27 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 28 回	予行練習	週末に予定されている合同ゼミの練習 【事前学習】4 時間 発表準備
第 29 回	発表の反省会	グループ毎に議論 【事前学習】4 時間 グループワークの下準備
第 30 回	まとめ	春休みの宿題、来年度の予定など 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					
授業での発言、発表を重視します。					

テキスト
なし
参考文献
なし
オフィスアワー
火曜日 12:00-12:55。事前にアポを取ってください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
必ず毎回、発言をしましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	20
担当教員	小林 信治	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
経済学の学習に必要な数学の基礎およびミクロ経済理論の基礎を修得する。 1.微分積分学および線形代数における基本概念について理解できる。 2.制約条件付最適化問題の定式化および解の導出を行うことができる。 3.ミクロ経済理論における数学的方法について理解し，説明できる。 4.多数の例題を解くことを通じて，経済学の学習に必要な数学の基礎を理解し，経済学における各分野への応用に必要となるスタンダードな分析ツールを修得することができる。 対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義は，経済分析に必要な基礎的数学およびミクロ経済理論の基礎について解説することにより，経済分析のための数学の有用性およびミクロ経済学に関する理解を深めることを目的とする。 1.微分積分学と線形代数の基礎並びに経済学への応用について解説する。 2.制約条件付最適化問題に関する定式化と解の導出並びに比較静学について詳細に解説する。 3.ミクロ経済理論の基礎について解説する。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義内容、講義形式、および評価方法等の概略について説明する。 【事前学習】2 時間 教科書第 1 章をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 2 回	集合・論理	集合に関する基礎概念および論理について解説する。 集合, 要素, 部分集合等 集合に関する演算 命題, 真と偽 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 3 回	1 変数関数 1	関数の連続性について解説する。 指数関数 対数関数 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 4 回	1 変数関数 2	関数の微分可能性について解説する。 導関数, 高階導関数 チェイン・ルール 級数 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 5 回	1 変数関数 3	極値, 1 階の条件, 2 階の条件について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 6 回	多変数関数 1	多変数関数について解説する。 連続性 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 7 回	多変数関数 2	関数の微分可能性について解説する。 全微分、偏微分 チェイン・ルール 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 8 回	多変数関数 3	極値, 1 階の条件, 2 階の条件について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 9 回	理解度の確認	報告とディスカッション 多変数関数の極値に関する報告とディスカッション 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 10 回	線形代数 1	線形空間について解説する。 部分空間、内積、ノルム 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 11 回	線形代数 2	行列および行列式について解説する。 逆行列 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 12 回	制約条件付最適化問題 1	ラグランジュ乗数法について解説する。 Kuhn=Tucker 条件等 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 13 回	制約条件付最適化問題 2	ラグランジュ乗数法について解説する。 2 階の条件 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 14 回	比較静学 1	陰関数定理について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 15 回	比較静学 2	包絡面定理について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 16 回	消費者行動 1	選好、効用について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 17 回	消費者行動 2	効用最大化について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。

第 18 回	消費者行動 3	需要について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 19 回	生産者行動 1	生産集合について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 20 回	生産者行動 2	利潤最大化について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 21 回	理解度の確認	報告とディスカッション 消費者理論と企業理論に関する報告とディスカッション 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 22 回	市場均衡 1	部分均衡について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 23 回	市場均衡 2	一般均衡について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 24 回	経済厚生 1	パレート効率性について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 25 回	経済厚生 2	経済余剰について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 26 回	寡占 1	Cournot 競争について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 27 回	寡占 2	Bertrand 競争について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 28 回	ゲーム理論 1	戦略形ゲームについて解説する。

		【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 29 回	ゲーム理論 2	展開形ゲームについて解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 30 回	理解度の確認	報告とディスカッション 不完備情報下のゲームに関する報告とディスカッション 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	20%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
W. ノヴシエク『経済数学』多賀出版, 2001, 価格（出版社のHPを参照）。
参考文献
特になし。
オフィスアワー
木曜日 16 : 15 ~ 16 : 35, 本館 2 F 講師室。 アポイントメントが必要である。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
教科書(必須) および配布資料を利用して, 自主的に復習することが必要である。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	21
担当教員	齋藤 哲哉	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3122	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
専門研究(一)(2 年) 数学とミクロ経済学の基礎を造るためのテキストの輪読を主体に進めていきます 専門研究(二)(3 年) 専門研究(一)で習得した知識を様々な社会活動の分析に応用するため、幾つかのテーマに分けて調査・報告を行なっていきます 卒業論文(4 年) 専門研究(一)と専門研究(二)で得た知見をもとに各自のテーマを選び、そのテーマについての調査・研究と研究報告を中心に進めていきます 対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
経済学的な分析手法は、一般に考えられている経済活動以外にも、社会現象のほぼすべての分析に適用することができます。ゼミではミクロ経済学を用いてどのようにして社会現象を分析できるのか、実際の事例を紹介しながら、その分析手法を身につけてもらいたいと思っています。自身の専門は国際貿易や犯罪の経済学、貨幣理論（暗号資産を含む）ですが、ゼミで取り扱う内容は対応できる範囲で出来るだけ広くと考えています

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 前期の輪読のスケジュールと担当者の割り当てを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと
第 2 回	指定した文献の輪読①	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	グループワークの実践①	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 4 回	指定した文献の輪読②	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	グループワークの実践②	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 6 回	指定した文献の輪読③	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	グループワークの実践③	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 8 回	指定した文献の輪読④	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	グループワークの実践④	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間

		前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 10 回	指定した文献の輪読⑤	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	グループワークの実践⑤	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 12 回	指定した文献の輪読⑥	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	グループワークの実践⑥	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 14 回	指定した文献の輪読⑦	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	グループワークの実践⑦	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 16 回	指定した文献の輪読⑧	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	グループワークの実践⑧	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 18 回	指定した文献の輪読⑨	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ

		ート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	グループワークの実践⑨	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 20 回	指定した文献の輪読⑩	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	グループワークの実践⑩	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 22 回	指定した文献の輪読⑪	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	グループワークの実践⑪	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 24 回	指定した文献の輪読⑫	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	グループワークの実⑫	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 26 回	指定した文献の輪読⑬	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	グループワークの実践⑬	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 28 回	指定した文献の輪読⑭	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	グループワークの実践⑭	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 30 回	全体のまとめ	全体のまとめ・1 年間の振り返り 【事前学習】4 時間 これまでの内容を振り返っておく。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	22
担当教員	齋藤 宏之	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3114	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、アメリカ制度学派の思想的枠組みや分析方法が、いわゆる「主流派経済学」とはどのように異なるのか理解できるようになることを目指します。主流派経済学を絶対視するのではなく、相対的にみることができるようになり、延いては経済学の考え方だけではなく経済社会を理解する思考習慣を身に付けることができます。 対応 DP 及び CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
輪読を通して、アメリカ制度学派の主要な考えを解説します。さらに、制度学派による正統派経済学批判についても言及していきます。その際、重視しているのは、研究資料を「論理的に」読解してもらうことです。このようにして、知的志向性を考慮しながら、制度学派の特質を正統派経済学と関連させて把握する力を修得してもらいます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	はじめに	ゼミの進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 シラバスを読んで、疑問点等があればメモしておくこと。 【事後学習】2 時間 ガイダンスを踏まえて、専門研究（一）の進め方を確認しておくこと。
第 2 回	制度学派の主要な考え (1)	制度学派の全体論的研究方法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 3 回	制度学派の主要な考え (2)	全体論的研究方法が正統派の研究方法与どのように異なるか、全体と部分との関連から討議する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 4 回	制度学派の主要な考え (3)	制度学派において、制度とはどのように理解されているのか、具体例を話し合いながら理解を深める。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 5 回	制度学派の主要な考え (4)	第 4 回のゼミに基づいて、制度学派の偉人たちは、制度をどのように定義しているか考える。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 6 回	制度学派の主要な考え (5)	ダーウィン主義的な変化の概念は、制度学派の考えにどのように取り入れられているのか理解を深める。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 7 回	制度学派の主要な考え (6)	ダーウィン主義的な変化の概念は、ニュートン主義のそれと比べると、どのような特徴があるのか理解を深める。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 8 回	制度学派の主要な考え (7)	制度学派は、正常均衡概念を拒絶し、循環性の因果関係あるいは累積的変化の原理を重視している点を学ぶ。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 9 回	制度学派の主要な考え (8)	制度学派は、経済生活における不調整をどのように捉えているか、実例を使いながら理解を深める。 【事前学習】2 時間

		輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 10 回	制度学派の主要な考え (9)	制度学派は、利害は調和しているのではなく、対立していると捉えている点を討議する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 11 回	制度学派の主要な考え (10)	利害が対立している点を、現代社会の実例を挙げながら、理解を深める。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 12 回	制度学派の主要な考え (11)	制度学派は、利害の対立をどのようにして解決したのか考える。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 13 回	制度学派の主要な考え (12)	利害の対立を解決するうえで、政府の果たす役割を制度学派はどう考えたのか検討する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 14 回	制度学派の主要な考え (13)	制度学派は、演繹的な研究方法ではなく、むしろ帰納的な接近法を取ったことを確認する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 15 回	制度学派の主要な考え (14)	経済学においては、演繹法と帰納法をどのように考えるべきか、「論理学」を用いて具体的に掘り下げる。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 16 回	制度学派の主要な考え (15)	制度学派が、快楽・苦痛の心理学を拒絶した理由を考える。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 17 回	制度学派の主要な考え (16)	制度学派は、快楽・苦痛の心理学に代わるものとして、どのような心理学を志向していったのか議論する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し、整理し直しておくこと。
第 18 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判 (1)	制度学派の創始者であるソースタイン・ヴェブレンの流れをくむウェズレー・ミッチェルが、経済学の父と呼ばれているアダム・スミスの経済思想を取り上げる意義について考える。 【事前学習】2 時間

		輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 19 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（2）	ヴェブレンの伝統とミッチェルの経済思想について議論する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 20 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（3）	ミッチェルの著『経済理論の諸類型』のなかでのアダム・スミス経済思想の位置づけを論じる。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 21 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（4）	経済理論を差別化する 2 つの要因について，ミッチェルの考えに従って理解を深める。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 22 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（5）	経済学者の中心問題である第 1 要因を，『経済理論の諸類型』を参照しながら確認する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 23 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（6）	第 2 要因は，経済学者が抱く人間性の概念であることを確認する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 24 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（7）	ミッチェルが，2 つの要因のうち取り分け人間性の概念を重視した理由を探る。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 25 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（8）	アダム・スミスの中心問題について，ミッチェルの考えに沿って検討する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 26 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（9）	ミッチェルは，アダム・スミスの人間性の概念をどのように説明しているのか理解を深める。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 27 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（10）	アダム・スミスが，人間性の概念をめぐる三段論法によって自由放任の卓越性を導き出したことを論じる。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。

		【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 28 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（11）	アダム・スミスが自由放任の卓越性を導き出した手続きの妥当性を，ミッチェルはどのように評価しているのか議論する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 29 回	W. C. ミッチェルの A. スミス 批判（12）	アダム・スミスの経済思想の出現が，「個人の進取の精神」という新しい習慣（制度）と緊密に関連していることを論じる。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 30 回	制度学派の特質	制度学派の特質とミッチェルのアダム・スミス批判を全体としてまとめる。 【事前学習】2 時間 これまでの輪読用ノートを見返しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
Stanley L. Brue, Randy R. Grant, The Evolution of Economic Thought, South-Western, 2013. ウエズレー・C・ミッチェル著, 春日井薫訳『経済理論の諸形態』第 1 分冊, 文雅堂銀行研究社, 1971 年, 2,500 円 (税抜) .
参考文献
ソースタイン・ヴェブレン著, 村井章子訳『有閑階級の理論』筑摩書房, 2016 年, 1,200 円 (税抜) . その他の文献は, 必要に応じて随時紹介する。
オフィスアワー
Web 会議サービスを利用して対応する。適宜メールでも対応する。
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
事前学習および事後学習を十分に行い, 能動的にゼミナールに臨むこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	23
担当教員	酒巻 俊之	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 5	単位区分	選
講義室	3122	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身に付けることを目指します。 1. 業界・社会現象・特定の現象・時事問題について興味を持ち、常に最新の情報を得る姿勢を身に付けることができる。 2. 協働作業における役割・他者との調整能力・期限までに作業を終える為のスケジュール管理等のコミュニケーション能力が向上する。 3. プレゼンテーションの為のパワーポイント等のソフトの使用能力が向上する。 4. WEB 等で連絡をとるためのソフト等の使用能力及びマナーが向上する。 5. 年長の人とのコミュニケーション能力やマナーを身に付けることができる。 6. WEB における発表や対面における発表の能力・経験値が向上する。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では、企業・業界・社会現象・特定の現象・時事問題について、経済・経営・規制・会計・効能・不公平・差別・不具合等の観点から、グループで研究し、WEB 又は対面でグループによるプレゼンテーションを行います。これにより、協働作業における役割・期限までに作業を終える為の采配・他者との調整などのコミュニケーション能力の向上の他、就職活動や業務に対する基礎能力や卒論作成の際の構成力を養います。授業の終盤には、個人発表の準備や社会人の講演を予定しており、この際に他学年や社会人・識者の方々との交流を図ります。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	授業ガイダンス・自己紹介・交流	授業ガイダンス及び自己紹介並びに交流 【事前学習】自己紹介の内容を考えておく。 【事後学習】グループ発表のテーマを複数考えておく。
第 2 回	グループ発表のグループ分け	グループ発表のグループ分け及びリーダー決め並びに発表順決め 【事前学習】グループ発表のテーマを複数考えておく。 【事後学習】グループ発表のテーマを決める。
第 3 回	発表準備(作業・デモ)	グループ発表準備 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上
第 4 回	発表準備(作業・デモ)	グループ発表準備 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上
第 5 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 6 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 7 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 8 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 9 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 10 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 11 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 12 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 13 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 14 回	グループ発表	グループ発表

		【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 15 回	グループ発表のグループ分け (統一テーマ)	グループ発表のグループ分け及びリーダー決め並びに発表順決め 【事前学習】グループ発表のテーマを複数考えておく。 【事後学習】グループ発表のテーマを決める。
第 16 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 17 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 18 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 19 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 20 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 21 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 22 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 23 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 24 回	グループ発表	グループ発表 【事前学習】グループ発表準備。2 時間以上 【事後学習】グループ発表準備。2 時間以上。既発表グループは他者のコメントによる発表修正。
第 25 回	個人発表準備(図書館見学は日程調整の可能性あり)	資料検索ソフト指導・資料検索体験・図書館見学・先輩によるデモ等(図書館見学は日程調整の可能性あり) 【事後学習】個人発表準備。2 時間以上。
第 26 回	個人発表準備	資料検索ソフト指導・資料検索体験・図書館見学・先輩によるデモ等(図書館見学は日程調整の可能性あり) 【事前学習】個人発表準備。2 時間以上 【事後学習】個人発表準備。2 時間以上
第 27 回	個人発表準備	資料検索ソフト指導・資料検索体験・図書館見学・先輩によるデモ等(図書館見学は日程調整の可能性あり) 【事前学習】個人発表準備。2 時間以上

		【事後学習】個人発表準備。2 時間以上
第 28 回	個人発表準備	資料検索ソフト指導・資料検索体験・図書館見学・先輩によるデモ等(図書館見学は日程調整の可能性あり) 【事前学習】個人発表準備。2 時間以上 【事後学習】個人発表準備。2 時間以上
第 29 回	体験談・講演(日程調整による順変動あり)	先輩・OB・識者による体験談・講演等(日程調整の可能性あり) 【事後学習】振り返り学習。2 時間以上
第 30 回	体験談・講演(日程調整による順変動あり)	先輩・OB・識者による体験談・講演等(日程調整の可能性あり) 【事後学習】振り返り学習。2 時間以上

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
その他は、グループ発表の内容・出来・他者との調整・采配などの評価です。					

テキスト
グループ発表に関してはなし。
参考文献
日本大学図書館経済学部分館の酒巻俊之の棚に開架。
オフィシアワー
授業の前後及び連絡により随時対応。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
他者への思いやりをもって楽しく参画してください。また、目上の方には敬語やマナーを守って接してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	24
担当教員	佐久間 隆	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 2	単位区分	選
講義室	3112	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
3 年制ゼミの初年度として、次年度に行う本格的なグループワークによる研究に向けて、次のような基礎的な分析力とプレゼンスキルを身に付けることができます。 ①地域や産業などについて統計データや文献資料を自分で探し出して入手できる。 ②入手した統計データや文献資料を用いて分かりやすい図表を作成できる。 ③伝えたい内容をパワーポイントにし、良く知る人たちの前で説明できる。 ④疑問に思うことを質問したり、不十分だと思うことに改善を提案することができる。 対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
ゼミでは、各人、または、3～4 名のグループで次のようなテーマで学修し、その成果を報告します。 ①各人が分担して日本の主要な経済統計について学修します。 ②日本経済に関するテーマについてチームに分かれてディベートを行います。 ③グループで地域経済分析システムを利用して地域経済に関する比較研究を行います。 ④日本経済に関する時事的なテーマについてグループで調査します。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	ゼミでの学修の進め方、ゼミ長以下ゼミでの役割分担、教員への連絡方法、上級生との連絡方法、ゼミ生同士の連絡方法などについて説明します。 [事前学習]シラバスに目を通してください。事前に配布するゼミ生名簿でメンバーの氏名や写真を確認してください。：2 時間 [事後学習]再度シラバスに目を通すとともに、スマホなどに連絡方法の設定し、間違いなく連絡できることを確認してください。やりたいゼミでの役割について考えておいてください。：2 時間
第 2 回	他己紹介 I (準備)	ペア、奇数の場合は残り 3 名に分けるので、次回に相手を紹介する準備のため、相互にインタビューするとともに、それに基づいてパワーポイントを作成します。 [事前学習]Microsoft365 をスマホにインストールして、パワーポイントが使えるようにしてください。パワーポイントへの文字の入力と写真などの画像の貼り付けができるように準備してください。：2 時間 [事後学習]パワーポイントを仕上げ、紹介する相手のチェックを受けてください。：2 時間
第 3 回	他己紹介 II (実行)	パワーポイントを表示しながら、ペア、または、3 人一組の相手をゼミの他のメンバーに紹介します。最後に、ゼミでの役割分担を決めます。 [事前学習]PC、または、スマホの画面にパワーポイントを表示しながら、相手を紹介する練習を声に出して練習してください。：2 時間 [事後学習]パワーポイント Google Classroom のクラスで共有するので紹介時を思い出しながら全員分見返してください。：2 時間
第 4 回	主な経済統計の学修 I (解説と分担)	この回から 11 回まで富山県庁の統計部局が提供するサイト「とやま統計ワールド」の資料に基づいて経済用語と主要経済指標について学修します。初回は、サイトの内容と報告の仕方についての解説し、分担を決めます。 [事前学習]「とやま統計ワールド」にアクセスし、内容に目を通してください。：2 時間 [事後学習]担当部分だけでなく全体の資料をダウンロードし、ノートを作成してください。：2 時間
第 5 回	主な経済統計の学修 II (統計用語 1. 2.)	担当者がパワーポイントを用いて説明を行ったあと、質問を受け付け補足の説明をします。最後に、担当者を中心に質疑応答を行い、理解度を確認します。 [事前学習]担当者は資料や補足の図表を用いてパワーポイントを作成してください。担当者以外は資料に目を通し、ノートに質問を書き留めてください。：2 時間 [事後学習]資料、パワーポイントとノートを読み返して、ノートの足りないところを補ってください。：2 時間
第 6 回	主な経済統計の学修 III (統計用語 3. 4. 5.)	第 5 回と同じです。 [事前学習]第 5 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 5 回と同じです。：2 時間
第 7 回	主な経済統計の学修 IV (統計用語 6. 7.)	第 5 回と同じです。 [事前学習]第 5 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 5 回と同じです。：2 時間
第 8 回	主な経済統計の学修 V (主要統計指標 1. 2. 3.)	第 5 回と同じです。 [事前学習]第 5 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 5 回と同じです。：2 時間
第 9 回	主な経済統計の学修 VI (主要統計指標 4. 5. 6.)	第 5 回と同じです。 [事前学習]第 5 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 5 回と同じです。：2 時間
第 10 回	主な経済統計の学 VII	第 5 回と同じです。

	(主要統計指標 7. 8. 9.)	[事前学習]第 5 回と同じです。: 2 時間 [事後学習]第 5 回と同じです。: 2 時間
第 11 回	主な経済統計の学修Ⅷ (主要統計指標 10. 11. 12.)	第 5 回と同じです。 [事前学習]第 5 回と同じです。: 2 時間 [事後学習]第 5 回と同じです。: 2 時間
第 12 回	ディベートⅠ (ディベートのやり方の解説)	夏の合宿でのディベートに向け 3 回にわたってディベートの練習を行います。初回はディベートのやり方について解説した上で、対戦するチームを 2 組、計 4 チーム構成します。各チームがファイルを共有して共同作業することができるのを確認します。 [事前学習]ディベートのやり方についての資料を配付するので目を通してください。: 2 時間 [事後学習]ディベートの進行や評価の観点について確認してください。: 2 時間
第 13 回	ディベートⅡ (練習用のテーマ選定と準備)	テーマを 2 つ選び、対戦するチームを指定し、賛成、反対どちらかの立場から主張を簡潔に提示するパワーポイント、相手チームに対する質問、予想される相手からの質問、批判に対する反論を準備します。 [事前学習]ディベートに典型的なテーマのなかから何を取り上げるか考えてください。: 2 時間 [事後学習]用意した主張などの資料をを練り上げてください。: 2 時間
第 14 回	ディベートⅢと夏合宿の打ち合わせ (実行)	2 つのテーマについてディベートを行います。対戦チーム以外のメンバーは良チームの評価を行います。 各人の合宿での役割を確認し、上級生から準備の指示があることを伝えます。 [事前学習]チーム内で役割分担を決め、リハーサルを行ってください。: 2 時間 [事後学習]観戦者による評価を参照して改善すべき点について考えてください。: 2 時間
第 15 回	前期のまとめと夏合宿の打ち合わせ	前期の学修成果について講評を行います。 夏合宿の際に行うディベートで取り上げる現代日本経済の課題に関するテーマを 2 つ選びます。 [事前学習]ディベートで取り上げるのにふさわしい現代日本経済の課題に関するテーマを考えてください。: 2 時間 [事後学習] 2 つのテーマの賛成・反対のどちらの立場になっても良いように論点を整理し、参考になる資料を集めてください。: 2 時間
第 16 回	地域経済の比較研究Ⅰ	この回から第 21 回まで 3 ～ 4 名のグループに分けて市区町村、都道府県の比較研究を行います。地域経済分析システム (RESAS) を用いるので使い方を説明します。 [事前学習]日本の地方制度である都道府県、市区町村の組織と役割について調べてください。: 2 時間 [事後学習]RESAS にアクセスして試してみてください。: 2 時間
第 17 回	地域経済の比較研究Ⅱ	グループに分かれ、担当する都道府県、市区町村について RESAS でデータを収集します。 [事前学習]担当する都道府県、市区町村の公式サイトにアクセスして特徴的な点を探してください。: 2 時間 [事後学習]グループ内で共有して対象地域の比較表を作成してください。: 2 時間
第 18 回	地域経済の比較研究Ⅲとゼミ説明会の打ち合わせ	グループに分かれ、対象地域の共通点と相違点を整理します。 [事前学習]比較表から共通点と相違点を探してください。: 2 時間 [事後学習]共通点と相違点を分かりやすく示す方法 (グラフ化、対比表、イラストなど) を選んでください。: 2 時間
第 19 回	地域経済の比較研究Ⅳ	グループに分かれ、比較研究の結果を分かりやすく説明するためのパワーポイントを作成します。

		[事前学習]パワーポイントの素材となるグラフ、表、イラストなどを用意してください。：2 時間 [事後学習]パワーポイントのノート（スライドと同時に発表者に対し読み上げる解説が表示されます。）に読み上げる解説を入力してください。：2 時間
第 20 回	地域経済の比較研究の発表会 I	半分のグループが発表し、質疑応答を行います。 [事前学習]パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行ってください。発表しないグループの人は発表対象の地域について REASAS で調べてください。：2 時間 [事後学習]発表の際に説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえてパワーポイントをブラッシュアップして提出してください。：2 時間
第 21 回	地域経済の比較研究の発表会 II	残りの半分のグループが発表し、質疑応答を行います。 [事前学習]パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行ってください。発表しないグループの人は発表対象の地域について REASAS で調べてください。：2 時間 [事後学習]発表の際に説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえてパワーポイントをブラッシュアップして提出してください。：2 時間
第 22 回	現代日本経済の研究 I	この回から第 29 回まで 3 ～ 4 名のグループに分けて現代日本経済について自由な研究を行います。初回は研究テーマについてグループに分かれた議論し、グループ間で重複しないように調整した上でグループごとにテーマを決めます。 [事前学習]現代日本経済の課題としてどんなものがあるかリストアップしてください。：2 時間 [事後学習]他のグループが取り上げたテーマについて概要を調べてください。：2 時間
第 23 回	現代日本経済の研究 II	各グループから探した文献や統計データについて報告します。足りない点はアドバイスします。 [事前学習]自グループのテーマについて文献や統計データを探してグループ内で情報共有してください。：2 時間 [事後学習]不足している文献や統計データを補ってください。：2 時間
第 24 回	現代日本経済の研究 III と入室試験（一次）の準備	グループに分かれ、発表のアウトラインとパワーポイントの大まかな構成を設定し、分担を決めます。 入室試験（一次）の準備のための打ち合わせを行います。 [事前学習]発表のアウトラインとパワーポイントの大まかな構成について考えてください。：2 時間 [事後学習]パワーポイントの担当部分のテキスト、図表、イラスト、写真などを用意してください。：2 時間
第 25 回	現代日本経済の研究 IV と入室試験（一次）準備の最終確認	グループに分かれ、各自作成したスライドをパワーポイント一つにまとめ、説明に重複がないか、順序の入れ間違いがないかチェックします。 入室試験（一次）準備状況の最終確認を行います。 [事前学習]担当部分のスライドを作成してください。：2 時間 [事後学習]必要に応じてパワーポイントを修正してください。：2 時間
第 26 回	現代日本経済の研究 V と入室試験（二次）の準備	ノートの文案を読み上げ、読みにくいところ、聞き取りにくいところがあったら修正し、時間がかかりすぎの場合はカットを検討してください。 入室試験（二次）の準備のための打ち合わせを行います。 [事前学習]スライドのノートの文案を作成してください。：2 時間 [事後学習]修正した文案をノートに入力してください。：2 時間
第 27 回	現代日本経済の研究 VI と入室試験（二次）準備の最終確認	グループに分かれ、パワーポイントに表紙、目次、参考文献を追加し、デザインの統一やフォントの大きさ調整などを行います。 入室試験（二次）準備状況の最終確認を行います。 [事前学習]担当部分のスライドを完成させてください。：2 時間 [事後学習]パワーポイントを完成させてください。：2 時間
第 28 回	現代日本経済の研究の発表会	半分のグループが発表し、質疑応答を行います。

	表会 I	[事前学習]パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行ってください。発表しないグループの人は発表するグループのテーマについて調べてください。：2 時間 [事後学習]発表の際に説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえてパワーポイントをブラッシュアップしてください。：2 時間
第 29 回	現代日本経済の研究の発表会 II	残りの半分のグループが発表し、質疑応答を行います。 [事前学習]パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行ってください。発表しないグループの人は発表するグループのテーマについて調べてください。：2 時間 [事後学習]発表の際に説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえてパワーポイントをブラッシュアップしてください。：2 時間
第 30 回	全体のまとめと翌年度に向けての説明	通年での学修について講評を行います。 授業開始前に行う個別面談と翌年度のゼミの予定について説明します。 [事前学習]発表に使用したパワーポイントやノートを使って振り返ってください。：2 時間 [事後学習]翌年度、ゼミで重点的に学びたい点や面談で相談したいことについて考えてください。：2 時間

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	70%	30%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
オフィスアワーはゼミのある月曜日の 5 限です。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業計画表は夏合宿を行うことを想定したのですが、中止の場合は順序や内容を変更する場合があります。 グループワークはメンバーが分担して行うので、他のグループメンバーと連絡を密にし、特に、体調不良や家の用事による欠席はできるだけ早く知らせてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	25
担当教員	櫻井 研司	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 5	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 産業・組織心理学で扱われる主要な理論の内容を理解し、説明できる。 2. 社会科学研究の方法、および研究倫理の基礎について理解する。 3. 産業・組織心理学的に関わる尺度設計、測定、およびデータ解析の基礎について理解し、実践できる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
このゼミでは、労働者が生産的かつ健全に働くための諸条件を探っていきます。この目的を中心に、産業・組織心理学が扱う人的資源管理（例：職務適正審査）、働く人々の心理（例：職務モチベーションや仕事のやりがい）、行動（例：組織市民行動）、労働安全衛生（例：ストレス）など様々なテーマについて理解を深めていきます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	前期イントロダクション	"ゼミの学習内容、形式、評価方法、注意点について説明する。 [事前学習] 2 時間 『エンサイクロペディア心理学研究方法論 1 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 2 回	従業員のウェルビーイング ①	"「ウェルビーイング」の概念、および仕事との関りについて学ぶ。 [事前学習] 2 時間 『ポジティブ心理学の挑戦 1 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 3 回	従業員のウェルビーイング ②	"ポジティブ心理学について学習する。 [事前学習] 2 時間 『ポジティブ心理学の挑戦 9 & 10 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 4 回	従業員のウェルビーイング ③	"社員満足の経営について議論する。 [事前学習] 2 時間 『社員満足の経営 1 & 2 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 5 回	従業員のウェルビーイング ④	"社員満足経営の実務と課題について議論する。 [事前学習] 2 時間 『社員満足の経営 3 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 6 回	産業・組織心理学研究の すすめ方 ①	"心理尺度、測定、および統計ソフトについて学ぶ。 インタビュー調査の実践方法について学ぶ。 [事前学習] 2 時間 『よくわかる心理統計 1 章』と『エンサイクロペディア心理学研究方法論 14 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 7 回	産業・組織心理学研究の すすめ方 ②	"データの視覚化について学ぶ。 [事前学習] 2 時間 『よくわかる心理統計 2 章』をと『エンサイクロペディア心理学研究方法論 5 章』ダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 8 回	産業・組織心理学研究の すすめ方 ①	"記述統計について学ぶ。 [事前学習] 2 時間 『よくわかる心理統計 3 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 9 回	産業・組織心理学研究の すすめ方 ②	"研究計画、仮説設計、インタビューについて学ぶ。 [事前学習] 2 時間 『サーベイフィードバック 3&4 章』をと『エンサイクロペディア心理学研究方法論 3 章』ダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."

第 10 回	産業・組織心理学研究の すすめ方 ③	"ワーク: インタビューをもとに仮説を練り上げる。 [事前学習] 2 時間 『サーバイフィードバック 6 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 11 回	産業・組織心理学研究の すすめ方 ④	"サーベイの作成方法について学ぶ。 [事前学習] 2 時間 『サーバイフィードバック 5 章』と『エンサイクロペディア心理学研究方法論 4 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 12 回	産業・組織心理学研究の すすめ方 ⑤	"ペアワーク: データを分析し, 結果を図表化する。 [事前学習] 2 時間 『よくわかる心理統計 4 章 pp.68-89』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 13 回	産業・組織心理学研究の すすめ方 ⑥	"ペアワーク: 分析結果を発表資料にまとめる。 [事前学習] 2 時間 『よくわかる心理統計 4 章 pp.90-104』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 14 回	産業・組織心理学研究の すすめ方 ⑦	"プレゼンテーションの最終打ち合わせと予行演習。 [事前学習] 2 時間 『よくわかる心理統計 5 章 pp.108-121』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 15 回	学習内容の確認と解説	"プレゼンテーションの実践と評価, および前期授業の振り返り。 [事前学習] 2 時間 『よくわかる心理統計 5 章 pp.122-143』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 16 回	後期イントロダクション	"前期の振り返り, 後期の学習計画について説明する。 [事前学習] 2 時間 と『エンサイクロペディア心理学研究方法論 2 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 17 回	集団の平均差: t-検定	"t-検定について学ぶ [事前学習] 2 時間 と『心理学統計入門 p.6-45』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 18 回	集団の平均差: 分散分析	"分散分析について学ぶ [事前学習] 2 時間 『心理学統計入門 p.46-64』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 19 回	ワークモチベーション ①	"自己決定理論について学ぶ [事前学習] 2 時間 『モチベーションを学ぶ 12 の理論 2 章』と『エンサイクロペディア心理学研究方法論 6 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間

		授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 20 回	ワークモチベーション ②	"他者志向動機論について学ぶ [事前学習] 2 時間 『モチベーションを学ぶ 12 の理論 4 章』と『エンサイクロペディア心理学研究 方法論 7 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 21 回	ワークモチベーション ③	"学習性無力感について学ぶ [事前学習] 2 時間 『モチベーションを学ぶ 12 の理論 11 章』と『エンサイクロペディア心理学研究 方法論 8 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 22 回	ワークモチベーション ④	"モチベーションに関わる環境と個人の相互座用を学ぶ [事前学習] 2 時間 『エンサイクロペディア心理学研究方法論 9 章』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 23 回	ワークモチベーション ⑤	"モチベーションの実験研究データをもとに分散分析を学ぶ (学生の希望が あれば、リーダーシップなど別データに変更可) [事前学習] 2 時間 『心理学統計入門 p.46-64』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 24 回	ワークモチベーションの実験 研究 ①	"ペアワーク: 演習をととして分散分析を学ぶ [事前学習] 2 時間 『心理学統計入門 p.74-97』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 25 回	ワークモチベーションの実験 研究 ②	"ペアワーク: 分散分析の結果をまとめる [事前学習] 2 時間 『心理学統計入門 p.115-150』をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 26 回	ワークモチベーションの実験 研究 ③	"ペアワーク: 分散分析の結果について資料を仕上げ、発表の予行演習を 行う [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 27 回	ワークモチベーションの実験 研究 ④	"プレゼンテーション [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 28 回	グループ研究 ①	"次年度のグループ課題について説明する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでおく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 29 回	グループ研究 ②	"次年度のグループ課題に向けてグループを分け、研究テーマについて議論す る."

		[事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでおく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 30 回	後期の振り返りと解説	"研究テーマについての確認と後期の振り返り. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでおく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."

授業形式	
・質問等のフィードバックは, 講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	40%	60%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし					

テキスト
特になし
参考文献
授業時に指示する.
オフィスアワー
水曜 11~12 時. 事前にメールで連絡して下さい。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	26
担当教員	澤田 充	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3133	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身に着けることを目指します。 1. 基本的の金融理論や金融システム論を理解し、経済学的な視点から金融にかかわる現象について説明できる。 2. 日本経済や企業のイノベーション活動の現状を理解し、概要を説明できる。 3. 日本経済や金融システムにかかわるデータから経済主体の行動を理解し、解釈することができる。 4. グループワークを通じて、チームの中で役割を理解し、主体的に調査・報告活動を行うことができる。 対応 DP および CP : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミでは金融に関するテキストの輪読を通じて金融理論や金融システム論の基礎を身に着けてもらったうえで、日本の金融システムや日本経済の様々な課題を取り上げ、学生自ら経済学的な視点から考察を行い、学生間および教員との議論を通じ、問題を本質を理解をより深く理解してもらいます。 対応 DP および CP : 5, 6, 7, 8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	スタートアップ	本講義の目標および教育目的を明確にし、今後の講義流れを理解する。 【事前学習】2 時間 授業のレジュメを読み、授業の目標や目的の概要を理解する。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、本講義の特色や今後の流れについて整理しておくこと。
第 2 回	輪読に関するプレゼンテーションの仕方	第 3 回以降でパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行うため、必要な知識やポイントを説明する。 【事前学習】2 時間 授業のレジュメを読み、プレゼンテーションの仕方の概要を把握しておく。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、プレゼンテーションの仕方について整理しておくこと。
第 3 回	グラフィック金融論についての輪読 1（第 1 章）	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 第 1 章担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は第 1 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 4 回	グラフィック金融論についての輪読 2（第 2 章）	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 第 2 章担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は第 2 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 5 回	グラフィック金融論についての輪読 3（第 3 章）	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は第 3 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 6 回	グラフィック金融論についての輪読 4（第 4 章）	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は第 4 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 7 回	グラフィック金融論についての輪読 5（第 5 章）	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は第 5 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 8 回	グラフィック金融論についての輪読 6（第 6 章）	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は第 6 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 9 回	グラフィック金融論についての	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。

	輪読 7 (第 7 章)	【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は第 7 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 10 回	グラフィック金融論についての 輪読 8 (第 8 章)	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は第 8 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 11 回	グラフィック金融論についての 輪読 9 (第 9 章)	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は第 9 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 12 回	グラフィック金融論についての 輪読 10 (第 10 章)	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は第 10 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 13 回	グラフィック金融論についてま とめ	本講義のをまとめ 【事前学習】2 時間 これまでの報告者のレジュメを読み全体の内容を整理する。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、今後の調査活動にどのように生かしていくか整理して おくこと。
第 14 回	グループワークの調査・報告 活動の説明	秋学期に行うグループワークの説明を行う 事前学習】2 時間 授業のレジュメを読み、グループワークの概要を把握しておく。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、グループワークの進め方整理しておくこと。
第 15 回	春学期授業のまとめ	春学期の授業の振り返りと今後の授業についての概要を説明 【事前学習】2 時間 春学期の授業のレジュメを読み、春学期授業の概要を把握しておく。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、春学期に習得した知識をどのような生かしていくか整 理しておくこと。
第 16 回	グループワークの実践 1	Fintech についてのグループワークをする 【事前学習】2 時間 Fintech とは何かについて調べておく。 【事後学習】2 時間 Fintech について問題点を整理する。 報告用のパワーポイントを用意する
第 17 回	報告と討論の実践 1	Fintech についてグループで報告し討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽 出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 18 回	グループワークの実践 2	仮想通貨についてのグループワークをする

		【事前学習】2 時間 当該課題とは何かについて調べておく。 【事後学習】2 時間 当該課題について問題点を整理する。 報告用のパワーポイントを用意する
第 19 回	報告と討論の実践 2	仮想通貨についてグループで報告し討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、 疑問点を抽 出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 20 回	グループワークの実践 3	ESG 投資についてのグループワークをする 【事前学習】2 時間 当該課題とは何かについて調べておく。 【事後学習】2 時間 当該課題について問題点を整理する。 報告用のパワーポイントを用意する
第 21 回	報告と討論の実践 3	ESG 投資についてグループで報告し討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、 疑問点を抽 出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 22 回	グループワークの実践 4	スタートアップ企業についてのグループワークをする 【事前学習】2 時間 当該課題とは何かについて調べておく。 【事後学習】2 時間 当該課題について問題点を整理する。 報告用のパワーポイントを用意する
第 23 回	報告と討論の実践 4	スタートアップ企業についてグループで報告し討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、 疑問点を抽 出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 24 回	グループワークの実践 5	日本の金融リテラシーについてのグループワークをする 【事前学習】2 時間 当該課題とは何かについて調べておく。 【事後学習】2 時間 当該課題について問題点を整理する。 報告用のパワーポイントを用意する
第 25 回	報告と討論の実践 6	日本の金融リテラシーについてグループで報告し討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、 疑問点を抽 出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 26 回	グループワークの実践 7	日本のシェアリングエコノミーについてのグループワークをする 【事前学習】2 時間 当該課題とは何かについて調べておく。 【事後学習】2 時間 当該課題について問題点を整理する。 報告用のパワーポイントを用意する
第 27 回	報告と討論の実践 7	日本のシェアリングエコノミーについてグループで報告し討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、 疑問点を抽 出しておく。

		【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 28 回	グループワークの実践 8	日本経済についてのグループワークをする 【事前学習】2 時間 当該課題とは何かについて調べておく。 【事後学習】2 時間 当該課題について問題点を整理する。 報告用のパワーポイントを用意する
第 29 回	報告と討論の実践 8	日本経済についてグループで報告し討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、 疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 30 回	秋学期講義のまとめ	秋学期の授業の振り返りと要点をまとめる 【事前学習】2 時間 秋学期の授業のレジュメを読み、秋学期授業の概要を把握しておく。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、秋学期に習得した知識をどのような生かしていくか整理しておくこと。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
評価方法の「その他」は春学期は個人報告、秋学期はグループワークの報告内容を評価したものである。					

テキスト
授業時に指示する.
参考文献
特になし
オフィスアワー
月曜日 4 時限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
自分の報告だけでなく、ほかの学生やグループの報告の際にも積極的に議論に参加し、ゼミ全体の知識向上や技能の習得につながるよう貢献してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	27
担当教員	新海 宏美	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 2	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、食料、食料の流通そして食料の生産を担う農業、農村に関わる問題について、実態を踏まえたうえで経済学的な視点から考え、自分の意見を主張できるようになることが目標です。また、ゼミを通じてレポートやレジュメの書き方、報告や討論の仕方などを習得することを目指します。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では、フードシステムにおける課題を経済学的な視点から分析します。食料が消費者に提供されるまで、つまり生産や流通などの過程におけるすべての経済主体の働きを総合的なシステムとして考え、経済学を応用してそれらの課題を捉えられるようにしていきます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点などについて説明する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，フードシステムの課題について考えておく。
第 2 回	フードシステムの課題を考える	フードシステムにはどんな課題があるのか考える。 【事前学習】2 時間 フードシステムについて調べ，課題を考える。 【事後報告】2 時間 授業を振り返り，意見や気づきをまとめる。
第 3 回	グループワーク①	グループでテーマを決め，情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 4 回	テーマについて報告①	第 1 回で提示したテーマについて，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて，調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 5 回	テーマについて報告②	第 1 回で提示したテーマについて，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて，調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 6 回	テーマについて報告③	第 1 回で提示したテーマについて，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて，調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 7 回	テーマについて報告④	第 1 回で提示したテーマについて，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて，調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 8 回	グループワーク②	グループで決めたテーマについて，情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 9 回	新聞発表とテキスト報告①	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。

第 10 回	新聞発表とテキスト報告②	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 11 回	新聞発表とテキスト報告③	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 12 回	新聞発表とテキスト報告④	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 13 回	新聞発表とテキスト報告⑤	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 14 回	グループワーク③	グループで決めたテーマについて、情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 15 回	振り返り	これまでの授業の学修の成果を振り返る。 【事前学習】2 時間 これまでの授業を振り返り、内容をまとめておく。 【事後学習】2 時間 今後の学修に還元できる点を考えてみる。
第 16 回	グループワーク④	グループで決めたテーマについて、情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 17 回	グループワーク⑤	グループで決めたテーマについて、情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。

第 18 回	新聞発表とテキスト報告⑥	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 19 回	新聞発表とテキスト報告⑦	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 20 回	新聞発表とテキスト報告⑧	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 21 回	新聞発表とテキスト報告⑨	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 22 回	新聞発表とテキスト報告⑩	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気づきをまとめる。
第 23 回	グループワーク⑥	グループで決めたテーマについて、情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 24 回	新聞発表とテキスト報告⑪	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間

		報告時の意見や気付きをまとめる。
第 25 回	新聞発表とテキスト報告⑫	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 26 回	新聞発表とテキスト報告⑬	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 27 回	新聞発表とテキスト報告⑭	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 28 回	新聞発表とテキスト報告⑮	前半は、フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は、テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、発表者は報告準備をし、発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 29 回	グループワーク⑦	グループで決めたテーマについて、報告する。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 30 回	総括	授業全体の学修の成果を振り返る。 【事前学習】2 時間 これまでの授業を振り返り、内容をまとめておく。 【事後学習】2 時間 今後の学修に還元できる点を考えてみる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					
・授業内で提示した課題は全て提出してください。 ・報告，授業内での意見，グループワークでの寄与度，課題，レポートなどを総合的に評価します。					

テキスト
授業時に指示する.
参考文献
授業時に提示します。
オフィスアワー
授業時に提示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・遅刻や私語など，ほかの学生に迷惑のかかる行為は厳禁とします。 ・無断欠席には厳しく対処します。特に，報告の担当となっている場合はなおさらです。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	28
担当教員	曾根 康雄	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
日本の経済成長や我々の生活にとって重要性の高まる東アジア地域を研究対象として，経済学に基礎を置きつつ学際的なアプローチを用いて，この地域の経済と社会の実像を深く理解します。そして，日本と東アジア諸国・地域との間にある問題の本質を探究し，国際的な教養を備えた人材の育成を目指します。 成長できる分野＝豊かな教養・知識に 基づく高い倫理観；世界の現状を理解し説明する力；論理的・批判的思考力；問題発見・解決力；挑戦力；コミュニケーション力；リーダーシップ・協働力；省察力 対応 DP および CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
このゼミナールは，日本を含む東アジアを対象地域とした地域研究（Area Studies）のゼミナールです。地域研究とは，現代の生きたグローバル社会を分析の対象とし，既成の学問領域（ディシプリン＝discipline）の枠を超えた外国研究ないしは異文化研究のことを指します。国家や地域の成り立ちや発展プロセスの本質を理解するためには，それらの歴史的背景や固有の社会的・文化的要因を知ることが不可欠です。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	春休みのレポート課題の提出	【事前学習】10 時間 課題文献を精読して、春休み中にレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 前期の学習計画、発表の順番、ゼミナールでの連絡方法などを確認する。
第 2 回	長谷川宏「自分と向き合う」 （『高校生のための哲学入門』）の読後ディスカッション	【事前学習】2 時間 春休みのレポート内容の報告およびディスカッションの準備を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	『東アジアの開発経済学』 第 1 章（東アジアのダイナミズム）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	『東アジアの開発経済学』 第 1 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 5 回	補足についての発表と討議 （1）	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め、パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	『東アジアの開発経済学』 第 2 章（直接投資と貿易構造の変化）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	『東アジアの開発経済学』 第 2 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 8 回	補足についての発表と討議 （2）	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め、パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	『東アジアの開発経済学』 第 4 章（地域主義と貿易・資本の自由化）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	『東アジアの開発経済学』 第 4 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 11 回	補足についての発表と討議 （3）	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め、パワーポイントを作成する。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	『アジア経済とは何か』第 3 章（グローバル・バリューチェーンの時代）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	『アジア経済とは何か』第 3 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 14 回	グループワークの実践（1）準備	【事前学習】2 時間 グループワークのテーマ案を検討し、報告を準備する 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、グループワークにおいて注意すべきことをまとめる。
第 15 回	グループワークの実践（2）準備	【事前学習】2 時間 グループ毎に報告内容を検討し、準備過程の役割分担を決定する。 【事後学習】10 時間 グループ毎に報告のためのパワーポイントを作成する。
第 16 回	グループワークの実践（3）発表	【事前学習】5 時間 グループ毎に報告内容を検討し、最終的な準備を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	前期レポートの提出と後期の授業計画	【事前学習】2 時間 レポート内容について報告を準備する。 【事後学習】2 時間 後期の学習計画、発表の順番、ゼミナールでの連絡方法などを確認する。
第 18 回	『現代アジア経済論』第 5 章（資本がめぐるアジア：成長と資本フロー）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、パワーポイントを作成する 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	『現代アジア経済論』第 5 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 20 回	補足についての発表と討議（4）	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め、パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	『現代アジア経済論』第 7 章（革新するアジア：所得国化と成長パターンの転換）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、パワーポイントを作成する 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	『現代アジア経済論』第 7 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間

		資料等によって理解を深める。
第 23 回	補足についての発表と討議 (5)	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め、パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	『現代アジア経済論』第 1 0 章（老いていくアジア： 人口ボーナスから人口オーナ スへ）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、パワーポイントを作成する 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	『現代アジア経済論』第 1 0 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 26 回	補足についての発表と討議 (6)	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め、パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	『現代アジア経済論』第 1 2 章（環境問題に向き合 うアジア：後発性と多様性 のなかで）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、パワーポイントを作成する 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	『現代アジア経済論』第 1 2 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 29 回	補足についての発表と討議 (7)	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め、パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	後期のまとめとレポート課題 の説明	【事前学習】2 時間 後期の学習内容を振り返り、レポートの論点を整理する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	30%	20%	100%
評価の特記事項					
授業の課題（発表，グループ・ワーク等），レポート（ゼミ論文・年 2 回）を総合的に評価します。 ゼミ活動に対する姿勢，社会人としての基本動作（礼儀・マナー等）も評価に含めます。					

テキスト
大野健一・桜井宏二郎（1997）『東アジアの開発経済学』，有斐閣
参考文献
遠藤環他（2018）『現代アジア経済論：「アジアの世紀」を学ぶ』，有斐閣ブックス
オフィスアワー
原則として金曜 5 限。必要に応じメールで日時を調整します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
学生には経常的に「新聞」（紙媒体のもの）を読むことを求めます。 海外留学希望者（短期・長期を問わず）については，できる限り支援したいと考えています。 当ゼミナールでは無断欠席は厳禁です。無断欠席 3 回または同連続 2 回の場合，ゼミナールを辞めたものとみなします。 また，ゼミナールのあらゆる活動（授業や各行事，およびゼミ内でのコミュニケーション）において社会人としての基本動作が実践できない学生には，退ゼミを命じます（いずれの場合も，単位取得資格を喪失します）。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	29
担当教員	孫 徳峰	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3124	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この講義では、①企業経営を考える上で基礎となる概念，視点，枠組みなどを理解すること，②具体的な事例を取り上げ，本講義で学習した基本的なツールや分析視点をを用いて企業に纏わる経営現象を実際に分析する能力を身につけることを目指します。 対応DP及びCP：5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
この講義では，企業の経営を理解するための，経営学の基礎知識を理解することからスタートし，経営戦略，アントレプレナーシップ，イノベーション，国際経営などの専門領域で企業経営を理解する様々な枠組みについて学習していきます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 2 回	「はじめての国際経営」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 3 回	「はじめての国際経営」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 4 回	「はじめての国際経営」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 5 回	「はじめての国際経営」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 6 回	「はじめての国際経営」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 7 回	「新興国市場戦略論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 8 回	「新興国市場戦略論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 9 回	「新興国市場戦略論」につ	指定した文献の内容を順番に報告する。

	いて輪読	【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 10 回	「新興国市場戦略論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 11 回	「新興国市場戦略論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 12 回	「新興国市場戦略論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 13 回	「新興国市場戦略論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 14 回	企業のケーススタディの中間発表	企業のケーススタディについて報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 分析対象となる企業を取り上げ、PPT 資料を準備する。 【事後学習】2 時間 この発表はあくまでも中間発表なので、この段階で、皆さんと議論しコメントなどを受けて、修正を行う。
第 15 回	企業のケーススタディの中間発表	企業のケーススタディについて報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 分析対象となる企業を取り上げ、PPT 資料を準備する。 【事後学習】2 時間 この発表はあくまでも中間発表なので、この段階で、皆さんと議論しコメントなどを受けて、修正を行う。
第 16 回	企業のケーススタディの最終発表	企業のケーススタディについて報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 分析対象となる企業を取り上げ、PPT 資料を準備する。夏休みを利用して、高い完成度を目指す。 【事後学習】2 時間 皆さんと議論しコメントなどを受けて、最終バージョンに仕上げて提出する。
第 17 回	企業のケーススタディの最終発表	企業のケーススタディについて報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 分析対象となる企業を取り上げ、PPT 資料を準備する。夏休みを利用して、高い完成度を目指す。 【事後学習】2 時間

		皆さんと議論しコメントなどを受けて、最終バージョンに仕上げて提出する。
第 18 回	「世界標準の経営理論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 19 回	「世界標準の経営理論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 20 回	「世界標準の経営理論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 21 回	「世界標準の経営理論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 22 回	「世界標準の経営理論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 23 回	「世界標準の経営理論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 24 回	「世界標準の経営理論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 25 回	「世界標準の経営理論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 26 回	「世界標準の経営理論」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章

		を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 27 回	「プラットフォーム」について 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 28 回	「プラットフォーム」について 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 29 回	「プラットフォーム」について 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 30 回	「プラットフォーム」について 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスパワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ディスカッションにおける積極的な発言が求められる。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	30
担当教員	竹中 康治	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3133	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミでは、常微分を習得し、それを基本的な経済現象に応用し、経済政策を考える能力を身につけることを目指します。経済問題を考えるということは、その問題の原因と結果を数量的にとらえることに他なりません。数量的にとらえるためには最低限の数学知識が必要となります。こうした数量的把握ができて初めて経済政策を考えることができます。本ゼミでは 3 年次に「競争と独占」、それに「経済的規制」を初等数学を使ってきちんと表現できることを目指します。そのためには 2 年次ゼミでは、まず基本的な経済学の基本を数量的に理解できるように、常微分に理解を目指します。 対応 D P 及び C P : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
経済学は数学なしには理解できないはずです。上で述べたように、本ゼミは経済の基本的問題に常微分を使って分析できることを目指します。常微分と言っても本ゼミで扱うのは、x の 2 乗とか 3 乗というような変数（これをべき乗と呼ぶ）の微分です。その前に、まず非常に基本的な数学を強めます。ギリシャ文字による変数、ローマ数字から始まり、数の種類、べき乗、指数、定数、1 次関数、2 次関数、連続、極限を勉強します。その後常微分を勉強します。ゼミでは、練習問題を中心に理解を進めていきます。同時に、こうした数学が経済学がどのように使

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	今後の学習のための準備 1	基本的用語を学ぶ。実数、整数、自然数、有理数、無理数、虚数、右辺、左辺、移項、変数、方程式、不等式、定数。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 実数、整数、自然数、有理数、無理数について、説明できるようにすること。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 2 回	今後の学習のための準備 2	前回の課題の解答。計算の基本的ルールを学ぶ。(1)ゼロで割ることができないこと、(2)ゼロ乗、(3)移項すると、なぜ符号が変わるか。(4)不等式において、両辺にマイナスをかけると、なぜ不等号が変わるか。(2)~(4)は自ら結論を導けることができるようにする。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に課題の練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 3 回	今後の学習のための準備 3	前回の課題の解答。べき乗（累乗）を取り上げる。(1)底、(2)指数、(3)累（べき）乗、(4)累乗根（べき根）、累乗根の表し方、分数のべき乗表現。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 4 回	これまでの復習	前回の課題の解答。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 5 回	べき乗の四則演算	指数とべき乗の計算ルール、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。。
第 6 回	べき乗についての復習	練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 7 回	1 次関数	座標、定数関数、多項式、1 次（線形）関数、切片、傾き、減少関数と増加関数、1 次関数の特徴、1 次関数がなぜ重要か。応用例：(1)総費用、(2)限界費用。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 8 回	2 次関数（2 次方程式）	最高次数、2 次曲線の特徴、1 次関数との比較、減少関数と増加関数、

	1	練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 9 回	2 次関数（2 次方程式） 2	2 次方程式の因数分解と展開、因数分解の法則、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 10 回	2 次関数（2 次方程式） 3	2 次方程式の根の定理を脱図から導けることができるようにする。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 11 回	2 次関数（2 次方程式） 4	2 次方程式が実数解を持つ条件、判別式、2 次曲線図。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 12 回	2 次関数の復習	練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 13 回	その他の多項式（べき乗関数）	3 次関数、4 次関数、3 次方程式の根の探し方。。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 14 回	極限のための準備 1	収束、発散、漸近線、双曲線。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 15 回	極限のための準備 2	漸近線、双曲線。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 16 回	極限 1	極限の表し方。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む

第 17 回	極限 2	ネピア数。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 18 回	極限 3	経済学におけるネピア数の応用。単利と複利、成長率、割引率と現在価値。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 学習前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 19 回	極限 4	無限等比級数、経済学における応用、株価、乗数効果、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 20 回	極限の復習	練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 21 回	関数の連続性となめらか	関数の連続、左極限值、右極限值、なめらか。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 22 回	微分 1	曲線の傾き（接線の傾き）、微分の種類、常微分、常微分の定義、常微分と何か、微分の表し方。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 23 回	微分 2	常微分とは何か、1 階微分、微分係数、微分係数の符号と関数の変化導関数、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 24 回	微分 1,2 の復習	練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 25 回	微分 3	べき乗変数の微分、多項式の微分、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。

		【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 26 回	微分 4	べき乗変数の微分、多項式の微分、べき乗根の微分、 $1/x$ タイプの微分、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 27 回	微分 3,4 の復習	練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 28 回	微分 5	極大、極小、経済学での応用：限界費用。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 29 回	微分 6	微分を使って曲線を描く。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 30 回	微分 7	微分の経済学での応用、利潤最大化条件、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
授業内で提示した課題や練習問題にはゼミ時に順次答えること。					

テキスト
授業後に指示
参考文献
高校の教科書（ただし、常微分について記述があるもの）、経済数学のテキスト（ただし、常微分について記述があるもので、安価で、薄い冊子を選ぶこと）
オフィスアワー
金曜日 10:40～11:40。事前に授業後またはメールでアポイントメントをとること。なお、メールは入室時に知らせてある。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
全国的に見ても、経済学部学生には入学前の段階において、数学の学習が全く不十分である。数学に若干の知識なくして、経済学の習得はあり得ないことを肝に銘じること。毎日、継続的に学習すること以外に習得の手段はない。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	31
担当教員	橘 光伸	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
社会人として仕事をしていく上で、税金の問題にふれずにすまずことはできません。本ゼミでは、テキストの輪読や個人研究を通じて、次のような能力の修得を目指します。 1. 主な税目の特徴等について理解できる。 2. 税と企業（個人・法人を問わず）の経済活動や社会との関わりについて問題意識をもって考察し、自分の意見を述べることができる。 対応 DP 及び CP : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
本ゼミは、広い意味で税に関わる仕事（税務職員、税理士、公務員、企業の財務部門等）を目指す学生や税の観点から経済・社会を研究する意欲のある学生を対象として、主な税目の特徴等を学びながら、税が企業（個人・法人を問わず）の経済活動や社会に対してどのように関わっているかを、事例も考察しながら研究していきます。専門研究（一）（2 年）では、主な税目や税務行政の仕組みを学びながら関連するテーマや事例について議論していきます。 対応 DP 及び CP : 5,6,7,8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	自己紹介, 導入	ゼミのメンバーの自己紹介。 ゼミの進め方等について説明する。
第 2 回	所得税①	三木先生のテキストの指定した部分について担当者が概要を説明し, 意見交換を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を読み, 担当者は概要について発表用レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 学んだ内容を復習し, 出された意見を踏まえ自分の考えを深める。
第 3 回	所得税②	同上
第 4 回	所得税③	同上
第 5 回	法人税①	同上
第 6 回	法人税②	同上
第 7 回	消費税①	同上
第 8 回	消費税②	同上
第 9 回	消費税③	同上
第 10 回	相続税①	同上
第 11 回	相続税②	同上
第 12 回	間接税等①	同上
第 13 回	間接税等②	同上
第 14 回	個人研究テーマ案の発表 ①	各自の個人研究のテーマ案について発表し, 意見交換を行う。 【事前学習】2 時間 自分が取り組む個人研究のテーマ案を考えてメモにまとめる。 【事後学習】2 時間 授業での議論を基にテーマ案の内容について検討を加える。
第 15 回	個人研究テーマ案の発表 ②	第 14 回と同じ
第 16 回	地方税①	第 2 回と同じ
第 17 回	地方税②	同上
第 18 回	国際課税①	同上
第 19 回	国際課税②	同上
第 20 回	諸外国の税制改革①	森信先生の本の指定した部分について担当者が概要を説明し, 意見交換を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を読み, 担当者は概要について発表用レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 学んだ内容を復習し, 出された意見を踏まえ自分の考えを深める。
第 21 回	中間報告（論点等）①	個人研究の進捗状況（論点等）について中間報告を行い, 意見交換を行う。 【事前学習】2 時間 個人研究の進捗状況について発表用のメモを準備する。 【事後学習】2 時間 授業での議論を基に個人研究の内容について検討を加える。
第 22 回	中間報告（論点等）②	第 21 回と同じ
第 23 回	諸外国の税制改革②	第 20 回と同じ
第 24 回	法人税の論点①	同上
第 25 回	法人税の論点②	同上
第 26 回	法人税の論点③	同上

第 27 回	租税回避への対応①	同上
第 28 回	研究発表①	個人研究の成果について順に発表を行い、質疑・意見交換を行う。 【事前学習】2 時間以上 各自の個人研究の内容を取りまとめ、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間以上 授業での議論を踏まえ個人研究のレポートを完成させる。
第 29 回	研究発表②	同上
第 30 回	研究発表③	同上

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					
ゼミへの参画状況（討議への参加，クラス発表）及び課題レポート等により総合的に評価する。					

テキスト
三木義一著「日本の税金 第3版」,岩波書店, 2018 年 森信茂樹著「税で日本はよみがえる」,日本経済新聞出版社, 2015 年
参考文献
授業で必要に応じて紹介します。
オフィスアワー
事前にメール等でアポをとった上で対応します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミは出席して議論に参加することが大事ですので，他メンバーの意見を傾聴し，積極的に自分の考えを述べることを期待します。意見・知見の交換を通じて，共に成長していく場にしたいと考えています。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究（一）	クラス	
担当教員	塚本 隆夫	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
2 年次履修の「専門研究(一)」は、3 年次の「専門研究(二)2」を継続受講し、4 年次において「卒業論文」を受講し、卒業論文の作成を目標とする。2 年次では、「アメリカ制度派経済学」の概要を研究する。すなわち、19 世紀末から 20 世紀前半のアメリカで展開された「アメリカ制度派経済学」がどのような背景から産み出され、どのような主張を展開したかを考察する。アメリカ資本主義経済体制は、19 世紀末から 20 世紀にかけて、「独占段階」に突入した。この発展段階に到達するや、アメリカ国民経済の状況は、大企業の動向によって左右されるに至った。景気循環・失業・所得分配・資源配分等をめぐる問題は誰が見ても明らかであった。しかるに「小規模企業」を基礎に置き、「競争市場」を前提にする伝統的経済学では、今や大企業体制に基づくアメリカ資本主義経済を十分に分析することも、有効な解決策の提示もできなかった。ここに至り、ヴェブレン、コモンズ、ミッチェルらの手によって「経済学の再建運動」が提唱されるに至った。この運動は「アメリカ制度派経済学」として結集されていった。こうしたアメリカ制度派経済学を、A.G.Gruchyn の著書 Modern Economic Thought(1964)に基づいて、考察を進める。この授業を通じて受講生は、アメリカ制度派経済学の枠組みを理解し、その現代的価値と意義を認識できるようになるばかりでなく、主体的に学習・研究を進めることができるようになる。 対応 DP 及び CP : 5 , 6 , 7 , 8
授業概要（教育目的）
上述の「学習目標」でも説明したように、本授業は、4 年次において「卒業論文」を作成できるようにすることを目的とする。受講生が「専門研究(一)」の履修を通じ、アメリカ制度派経済学の基本的特質とその経済理論の基本的枠組を理解できるようになることを目指す。主要なテキストとして英文原書を用いる。英語文献を精読することで、日本語に翻訳された表現では分からなかった内容を、より厳密に理解できることを目指す。アメリカ制度派経済学の特質は、アダム・スミス以降に展開された「伝統的経済学」（古典派・新古典派経済学）と比較することで、より明確に浮かび上がる。このため、古典派経済学・新古典派経済学の時代背景となる 19 世紀の経済社会や当時の「科学思想」についても、考察を広げていく。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	オリエンテーション：ゼミの進め方、参考文献、報告の仕方等を指示します。	「経済学史」「経済思想史」の入門書を読了しておくこと。 【事前学習 2 時間】「経済学史」「経済思想史」の入門書入手し、通読し、アダム・スミス以降、経済学がどのように展開されてきたのかを学習する。 【事後学習 2 時間】ゼミで配布された研究論文を通読すること。
第 2 回	制度派経済学についての先行研究論文：アメリカ制度派経済学の概要理解のために、先行研究を学習する。	指定された邦文論文を題材にして、「アメリカ制度派経済学」の特質を考察する。 【事前学習 2 時間】先行研究論文を通読し、分からない用語をネット検索で知る。 【事後学習 2 時間】ゼミでの議論に基づいて、再度、指定された論文を講読・研究する。次回のための論文資料をダウンロードし、これを通読する。
第 3 回	ヴェブレンをめぐる先行研究論文：アメリカ制度派経済学の創設者であるヴェブレンを取り上げ、その経済学説・思想を考察する。	ヴェブレンについての、邦文論文を研究する。 【事前学習 2 時間】指定された先行研究の邦文論文を精読する。不明な用語等をネットで調べる。 【事後学習 2 時間】ゼミでの議論に基づいて、再度、佐々野論文を講読・研究する。次回のための論文資料をダウンロードし、これを通読する。
第 4 回	コモンズ、ミチエルの経済学説・思想についての先行論文の研究：ヴェブレン以降の「制度学派」の流れを理解する。学派の創始者であるヴェブレンとの学説・思想の継承と展開を検討する。	邦文文献を使い、ヴェブレン以降の制度派経済学の展開を考察する。 【事前学習 2 時間】指定された論文を精読する。不明な用語等をネットで調べる。 【事後学習 2 時間】ゼミでの議論に基づいて、再度、佐々野論文を講読・研究する。次回のための論文資料をダウンロードし、これを通読する。
第 5 回	制度派経済学の展開：ヴェブレンとその後の制度主義者たちの学説・思想の比較検討。	邦文文献を使い、ヴェブレン以降の制度派経済学の展開を考察する。 【事前学習 2 時間】Eco-Link 指定された論文を精読する。不明な用語等をネットで調べる。 【事後学習 2 時間】ゼミでの議論に基づいて、再度、佐々野論文を講読・研究する。次回のためのテキスト資料をダウンロードし、これを通読する。
第 6 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Preface," その 1: 「6 人の制度派経済学者」	6 人の制度派経済学者 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 7 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Preface," その 2: 「制度派経済学者たちは何をしようとしていたのか」	制度派経済学者たちは何をしようとしていたのか：20 世紀のアメリカ経済と経済学の状況 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 8 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> ,	制度派経済学たちと経済学の再建 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予

	"Prfacee,"その 3:「制度派経済学者たちと経済学の再建」	習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 9 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Prfacee,"その 4:「制度派経済学の 2 つの特質」	制度派経済学の 2 つの特質 進化概念と全体論的アプローチ 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 10 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Introduction : Economics in Transition,"その 1:「異端の経済学とは」①	異端の経済学とは① 20 世紀のアメリカでは、新古典派経済学とは異なる「異端の経済学」が展開されている。 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 11 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Introduction : Economics in Transition,"その 2:「異端の経済学」②	異端の経済学とは② 「異端の経済学」とは「制度派経済学」である。 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 12 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Introduction : Economics in Transition,"その 2:「制度派経済学の時代背景」①	制度派経済学の時代背景① 1929 年恐慌と大企業体制の出現 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 13 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Introduction : Economics in Transition,"その 3:「制度派経済学の時代背景」②	制度派経済学の時代背景② 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 14 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Introduction : Economics in Transition,"その 4:「19 世紀の経済学とその時代背景」	19 世紀の正統派経済学（新古典派経済学）とその時代背景 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。

第 1 5 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Introduction : Economics in Transition,"その 5 : 「経済学者の世界観 知的指向性とは」	経済学者が抱える「知的指向性」が「経済学の型」を決めるに極めて重要である。 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 1 6 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Introduction : Economics in Transition,"その 6 : 「経済学者の知的指向性 : 2 つの世界観」	経済学者の知的指向性は、2 つの世界観に大別できる。 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 1 7 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Introduction : Economics in Transition,"その 7 : 「ダーウィン以前」と「ダーウィン以後」	「ダーウィン以前」と「ダーウィン以後」 科学方法論の革命 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 1 8 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Great Depressiipon and the Growth of Economic Heterodoxy,,,"その 1 : 「全体論」に基づく"Holistic Economics"とは何か	「全体論」に基づく""Holistic Economics"とは何か 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 1 9 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Great Depressiipon and the Growth of Economic Heterodoxy,,,"その 2 : 1929 年以降のアメリカ資本主義体制の変容	1929 年以降のアメリカ資本主義経済体制の変容 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 2 0 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Great Depressiipon	1929 年以降のアメリカ資本主義経済体制の変容と経済学者たちの対応 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。

	and the Growth of Economic Heterodoxy,"その 3 : 1929 年以降のアメリカ資本主義体制の変容と経済学者たちの対応	【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 2 1 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Great Depressiipon and the Growth of Economic Heterodoxy,"その 4 : 正統派経済学者たちの対応①	正統派経済学者たちの対応① 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 2 2 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "Great Depressiipon and the Growth of Economic Heterodoxy,"その 5 : 正統派経済学者たちの対応②	正統派経済学者たちの対応② 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 2 3 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "The Philosophical Basis of Economic Orthodoxy,"その 1:正統派経済学者たちの思考の枠組み①	正統派経済学者たちの思考の枠組み① 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 2 4 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "The Philosophical Basis of Economic Orthodoxy,"その 2:正統派経済学者たちの思考の枠組み②	正統派経済学者たちの思考の枠組み② 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第 2 5 回	Gruchy, <i>Modern Economic Thought</i> , "The Philosophical Basis of Heterodoxy,"そ	異端派経済学者たちの思考の枠組み① 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。

	の1：異端派経済学者たちの思考の枠組み①	
第26回	Gruchy, Modern Economic Thought, "The Philosophical Basis of Heterodoxy,"その2：異端派経済学者たちの思考の枠組み②	異端派経済学者たちの思考の枠組み② 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第27回	Gruchy, Modern Economic Thought, "The Philosophical Basis of Heterodoxy,"その3：異端派経済学者たちの思考の枠組み③	異端派経済学者たちの思考の枠組み③ 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を予習する。 【事後学習 2 時間】授業の復習と英文論文の論旨の整理。次回の予習。
第28回	Gruchy、Modern Economic Thought の「制度派経済学」の整理：その1、これまで検討してきたグルーチャーの所説を整理し、検討する。	グルーチャーの所説の整理・検討 その1 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を復習し、グルーチャーの所説を整理し、報告・議論できるように準備する。 【事後学習 2 時間】授業での検討点を整理し、グルーチャーの所説の理解を深める。次回の予習。
第29回	Gruchy、Modern Economic Thought の「制度派経済学」の整理：その2、これまで検討してきたグルーチャーの所説を整理し、検討する。	グルーチャーの所説の整理・検討 その2 【事前学習 2 時間】Eco-Link で指示された英文テキストの授業範囲を復習し、グルーチャーの所説を整理し、報告・議論できるように準備する。 【事後学習 2 時間】授業での検討点を整理し、グルーチャーの所説の理解を深める。次回の予習。
第30回	グルーチャーの所説と、先行研究の比較検討；「ゼミ論」の説明	グルーチャーの「制度派経済学」の整理と、先行研究の比較：「ゼミ論」執筆要項について 【事前学習 2 時間】グルーチャーと先行研究を比較検討できるように、これまでの議論を整理する 【事後学習 3 時間】授業の復習と「ゼミ論」の準備。

授業形式	
毎回の授業ごとに、受講生は Gruchy の所説を報告する。この報告に基づいて、問題点の提示とそれをめぐる討議・検討を行い、Gruchy の所説の理解を深める。この時の討議・検討をもって、授業のフィードバックを図る。授業の進行に応じて、テーマに沿った日本語文献の検討も行う。受講生の理解の程度に応じて、授業の進行を調整する。学年末には、単位認定のための「ゼミ論」を提出する。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	40 %	0 %	60 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
受講生による授業時の研究報告を重視する。研究報告のための準備がどれくらいなされたのかを判断するために、報告内容について、出席者全員と討議する。この討議の内容と併せて、「講義態度」としての成績評価の基礎となる。また、学年末には、これまでの学習成果に基づいて「ゼミ論」を提出し、これが「レポート」評価になる。					

テキスト
Gruchy, Allan G., Modern Economic Thought: The American Contribution, Augustus M. Kelley・Publishers, New York, 1967.
参考文献
ベルナル・シャバンス著、宇仁宏幸他訳『入門 制度経済学』ナカニシヤ出版、2007 年。 ヴェブレン著、村井章子訳『有閑階級の理論』ちくま学芸文庫、2016 年。 コモンズ著、中原孝幸訳制度経済学 上巻』ナカニシヤ出版、2015 年。 その他、必要な参考文献は、授業時に随時指示する。
オフィスアワー
月曜、5 時限目。事前にメールで連絡してください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受講生が、これまで大学で学習してきた成果を踏まえて、専門論文、英文原書を講読・研究します。予習・復習が必要です。自発的に学習しましょう。「ミクロ経済学」・「マクロ経済学」、それに「経済史」の基本的な知見を必要とします。2 年次以降、「経済学史」・「経済思想史」・「制度派経済学」の科目を履修してください。学年末には、「ゼミ論」を提出してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	32
担当教員	鶴田 大輔	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本科目では、企業金融論の基本的な考え方を理解したうえで、日本や海外の企業金融や関連する問題について自ら考える能力を身に着けることを目標とする。本科目を受講することで、学生が理論的な考え方に基づいて、国内外の企業の金融活動の動きや関連する問題の本質を理解できるようになる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では企業の資金調達方法と企業活動や企業価値の関係など、企業金融に関する理論を学んだ上で、日本の金融に関する問題を考える。新聞紙上では企業の投資・融資計画、企業の業績、株式の公開、敵対的買収、企業の倒産など、企業金融に関する記事が多く掲載されている。また、中小・ベンチャー企業の金融支援の問題、社債市場の整備、証券化の促進など、企業金融に関する政策的な問題も大きな話題になっている。これらの企業活動や政策的な課題を我々はどのように考えればよいのだろうか？教員や受講生同士の議論や研究を通じて、どのような問

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	前期イントロダクション、分担決め	授業の進め方について説明したうえで、輪読箇所の担当決めを行う。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う文献のイントロダクションを読む。 【事後学習】2 時間 自分の担当箇所を確認し、内容を理解する。
第 2 回	新聞・雑誌・ネット記事等についての発表	興味を持った経済や金融に関する問題についてについて報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 3 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 4 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 5 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 6 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 7 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 8 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 9 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 10 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 11 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 12 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 13 回	経済や金融に関する問題についての報告	興味を持った経済や金融に関する問題についてについて報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 14 回	経済や金融に関する問題についての報告	興味を持った経済や金融に関する問題についてについて報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 15 回	経済や金融に関する問題についてグループの報告	前回の興味に基づき編成されたグループで経済や金融に関する問題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 16 回	後期イントロダクション、分担決め	授業の進め方について説明したうえで、輪読箇所の担当決めを行う。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う文献のイントロダクションを読む。 【事後学習】2 時間 自分の担当箇所を確認し、内容を理解する。
第 17 回	企業金融に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 18 回	企業金融に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 19 回	企業金融に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 20 回	企業金融に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 21 回	企業金融に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 22 回	企業金融に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 23 回	経済や金融に関する問題についてグループの報告	グループで経済や金融に関する問題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 24 回	経済や金融に関する問題についてグループの報告	グループで経済や金融に関する問題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 25 回	他大学のゼミとの討論	他大学とグループで経済や金融に関する問題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 26 回	他大学のゼミとの討論	他大学とグループで経済や金融に関する問題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 27 回	企業金融に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。

第 28 回	企業金融に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 29 回	企業金融に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 30 回	三年生に向けた論文の相談	前回までのグループの報告を踏まえ，今後の課題や進め方について相談する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参加者と相談の上決定する。
参考文献
参加者と相談の上決定する。
オフィスアワー
火曜日 15 : 00-16 : 00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	33
担当教員	手塚 広一郎	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 5	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 文献調査を通して、様々な課題を認識し、それらを整理する能力 2. プレゼンテーションを通して、自分の考えを人に伝える能力 3. 質疑応答を通して、相手の考えを理解する能力 対応 DP および CP : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では、ゼミナール初年度生を対象として、ゼミナールにおける調査、プレゼンテーション、および質疑を通して、自らの考えを整理し、それらを伝え、互いに共有することができるようになることを目標とします。とくに、専門研究（一）では、①文献の輪読を通して、産業組織論の概要を理解したうえで、②産業の分析ができるようになるとともに、③これらの分析を受講生に対して適切に伝えること、の3つができるようになることを目指します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	通年にわたる講義のガイダンスを行う。 【事前学習】2 時間 輪読のためのテキストを入手し，簡単に確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 ガイダンスの内容をよく復習しておくこと。
第 2 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は，該当箇所を熟読し，質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし，新たに気づいた点等を整理する。
第 3 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は，該当箇所を熟読し，質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし，新たに気づいた点等を整理する。
第 4 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は，該当箇所を熟読し，質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし，新たに気づいた点等を整理する。
第 5 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は，該当箇所を熟読し，質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし，新たに気づいた点等を整理する。
第 6 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は，該当箇所を熟読し，質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし，新たに気づいた点等を整理する。
第 7 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は，該当箇所を熟読し，質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし，新たに気づいた点等を整理する。
第 8 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み、プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は、該当箇所を熟読し、質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし、新たに気づいた点等を整理する。
第 9 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は、該当箇所を熟読し、質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし、新たに気づいた点等を整理する。
第 10 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は、該当箇所を熟読し、質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし、新たに気づいた点等を整理する。
第 11 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は、該当箇所を熟読し、質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし、新たに気づいた点等を整理する。
第 12 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は、該当箇所を熟読し、質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし、新たに気づいた点等を整理する。
第 13 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は、該当箇所を熟読し、質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし、新たに気づいた点等を整理する。
第 14 回	「競争政策論」についての輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、プレゼンテーションの資料を作成する。 自分の担当でない場合は、該当箇所を熟読し、質問内容を考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションや質疑の中のなかで指摘された項目を見なおし、新たに気づいた点等を整理する。
第 15 回	これまでの小括	これまでの内容を小括する。 【事前学習】2 時間 テキストを一通り見直し、疑問点などを再度見つけておく。 【事後学習】2 時間 ゼミナール参加者の質疑をもとにして、テキストの内容を再度見直し、この内

		容を理解する。
第 16 回	グループワークおよび報告と 討論	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 17 回	グループワークおよび報告と 討論	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 18 回	グループワークおよび報告と 討論	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 19 回	グループワークおよび報告と 討論	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 20 回	卒業論文中間報告会への 参画	4 年生の卒業論文中間報告会に参画し、質疑を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの卒業論文のテーマを確認し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 4 年生の卒業論文の報告から、自らの卒業論文のテーマを検討する。 プレゼンテーションや資料等により報告内容の理解を深める。
第 21 回	卒業論文中間報告会への 参画	4 年生の卒業論文中間報告会に参画し、質疑を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの卒業論文のテーマを確認し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 4 年生の卒業論文の報告から、自らの卒業論文のテーマを検討する。 プレゼンテーションや資料等により報告内容の理解を深める。
第 22 回	卒業論文報告会への参画	4 年生の卒業論文中間報告会に参画し、質疑を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの卒業論文のテーマを確認し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 4 年生の卒業論文の報告から、自らの卒業論文のテーマを検討する。 プレゼンテーションや資料等により報告内容の理解を深める。
第 23 回	グループワークおよび報告と	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告

	討論	し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 24 回	グループワークおよび報告と 討論	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 25 回	グループワークおよび報告と 討論	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 26 回	グループワークおよび報告と 討論	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 27 回	グループワークおよび報告と 討論	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 28 回	グループワークおよび報告と 討論	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 29 回	グループワークおよび報告と 討論	産業や企業をピックアップしたうえで、グループで調査し、その内容を報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 プレゼンテーションの資料を作成する。

		【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し、今後の課題を検討する。 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める。
第 30 回	授業の総括と振り返り	これまでのプレゼンテーションを振り返る。 【事前学習】2 時間 これまでの自らのグループで行ったプレゼンテーションの内容を見直す。 【事後学習】2 時間 自らのプレゼンテーションだけでなく、他のグループのプレゼンテーションの内容を見直し、卒業論文に向けた研究テーマを考える。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					
特になし.					

テキスト
小田切宏之『競争政策論（第2版）』, 2017年, 日本評論社.
参考文献
適宜指定します.
オフィスアワー
月曜日 13:00～14:30 必ず事前にメールなどでアポを取るようになしてください.
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻は厳禁です。遅刻や欠席は必ず事前に連絡するようになしてください. ゼミでは報告者以外は、必ず少なくとも1度は質問してください.
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	34
担当教員	寺沢 幹雄	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 1	単位区分	選
講義室	7091	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 人工知能手法の基礎的な概念とアルゴリズムを理解できる。 2. 人工知能の研究について説明できる。 3. プログラミングのスキルを修得できる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
コンピューターを利用して、限られた資金，時間，人材の制約における最適解を得るための手法を追求します。応用分野は，市場分析，経営戦略立案，景気予測をはじめとして多岐にわたります。機械学習や深層学習などの人工知能分野での代表的な手法を学び，人工知能関係の最新の研究成果に触れるとともに，プログラミングスキルや基本的アルゴリズムを身につけてもらいます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	Python プログラミング学習	教科書第 1 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 1 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 1 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 2 回	Python プログラミング学習	教科書第 1 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 1 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 1 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 3 回	Python プログラミング学習	教科書第 2 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 2 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 2 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 4 回	Python プログラミング学習	教科書第 2 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 2 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 2 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 5 回	Python プログラミング学習	教科書第 3 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 3 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 3 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 6 回	Python プログラミング学習	教科書第 3 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 3 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 3 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 7 回	Python プログラミング学習	教科書第 4 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 4 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 4 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 8 回	Python プログラミング学習	教科書第 4 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 4 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 4 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 9 回	Python プログラミング学習	Python プログラミング学習 教科書第 5 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 5 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 5 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 10 回	Python プログラミング学習	教科書第 5 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 5 章後半をあらかじめ読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 教科書第 5 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 11 回	Python プログラミング学習	教科書第 6 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 6 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 6 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 12 回	Python プログラミング学習	教科書第 6 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 6 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 6 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 13 回	Python プログラミング学習	教科書第 7 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 7 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 7 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 14 回	Python プログラミング学習	教科書第 7 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 7 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 7 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 15 回	Python プログラミングの応用	Python プログラミングを利用した応用について学習する。 【事前学習】2 時間 前期の内容をよく復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 応用プログラミングを実践すること。
第 16 回	人工知能関連論文の輪読	各自が選定した人工知能関連論文を読み，内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能関連論文を選定し，内容を PowerPoint の資料としてまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答の内容を検討し，再検証すること。
第 17 回	人工知能関連論文の輪読	各自が選定した人工知能関連論文を読み，内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能関連論文を選定し，内容を PowerPoint の資料としてまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答の内容を検討し，再検証すること。
第 18 回	人工知能関連論文の輪読	各自が選定した人工知能関連論文を読み，内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能関連論文を選定し，内容を PowerPoint の資料としてまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答の内容を検討し，再検証すること。
第 19 回	人工知能関連論文の輪読	各自が選定した人工知能関連論文を読み，内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能関連論文を選定し，内容を PowerPoint の資料としてまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答の内容を検討し，再検証すること。
第 20 回	人工知能関連論文の輪読	各自が選定した人工知能関連論文を読み，内容を発表する。

		【事前学習】2 時間 人工知能関連論文を選定し、内容を PowerPoint の資料としてまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答の内容を検討し、再検証すること。
第 21 回	人工知能関連論文の輪読	各自が選定した人工知能関連論文を読み、内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能関連論文を選定し、内容を PowerPoint の資料としてまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答の内容を検討し、再検証すること。
第 22 回	人工知能関連論文の輪読	各自が選定した人工知能関連論文を読み、内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能関連論文を選定し、内容を PowerPoint の資料としてまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答の内容を検討し、再検証すること。
第 23 回	人工知能教科書の輪読	人工知能教科書第 1 章を読み、内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能教科書第 1 章をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 人工知能教科書第 1 章でわからなかった点を整理する。
第 24 回	人工知能教科書の輪読	人工知能教科書第 2 章を読み、内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能教科書第 2 章をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 人工知能教科書第 2 章でわからなかった点を整理する。
第 25 回	人工知能教科書の輪読	人工知能教科書第 3 章を読み、内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能教科書第 3 章をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 人工知能教科書第 3 章でわからなかった点を整理する。
第 26 回	人工知能教科書の輪読	人工知能教科書第 4 章を読み、内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能教科書第 4 章をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 人工知能教科書第 4 章でわからなかった点を整理する。
第 27 回	人工知能教科書の輪読	人工知能教科書第 5 章を読み、内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能教科書第 5 章をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 人工知能教科書第 5 章でわからなかった点を整理する。
第 28 回	人工知能教科書の輪読	人工知能教科書第 6 章を読み、内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能教科書第 6 章をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 人工知能教科書第 6 章でわからなかった点を整理する。
第 29 回	人工知能教科書の輪読	人工知能教科書第 7 章を読み、内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能教科書第 7 章をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 人工知能教科書第 7 章でわからなかった点を整理する。

第 30 回	人工知能教科書の輪読	人工知能教科書第 8 章を読み，内容を発表する。 【事前学習】2 時間 人工知能教科書第 8 章をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 人工知能教科書第 8 章でわからなかった点を整理する。
--------	------------	---

授業形式
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし					

テキスト
授業時に指示する.
参考文献
授業の中で適宜紹介する。
オフィスパワー
原則として EcoLink のメッセージで問い合わせること。 必要に応じてテレビ会議等でも対応する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
グループワークや実習が中心なで、周囲に迷惑をかけないために、無断での欠席や遅刻は厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	36
担当教員	豊福 建太	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 2	単位区分	選
講義室	3135	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
金融や日本経済について現在問題になっている事柄について経済学的に考察することができるようになる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
さまざまな金融や日本経済における問題に関する文献を輪読し、ゼミ生同士で意見を交換し合いながらどのような解決策があるのかを議論し、日本経済に対する経済学的な視野を獲得することを目的とします。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミでの発表の概要を説明します。
第 2 回	パワーポイントの使い方	パワーポイントの使い方を演習します。
第 3 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 4 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 5 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 6 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 7 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 8 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 9 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 10 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 11 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 12 回	日本経済に関する論文の 輪読	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。

[illegible]

		ト作成時に注意すべきことをまとめる
第 23 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 24 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 25 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 26 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 27 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 28 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 29 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる
第 30 回	日本経済に関する論文の 輪読 指定された文献の内容を順 番に報告する	事前学習 2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ ート作成時に注意すべきことをまとめる

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
適宜指定する。
参考文献
オフィスアワー
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	37
担当教員	中川 雅之	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 経済学的な考え方を理解し、経済学とはどのような学問なのかを説明することができる。 2. 公共部門の役割を理解し、経済学の立場から適切な評価、企画立案をすることができる。 3. 地域が抱える具体的な問題に関して、他人と協力して解決策を探し、ディスカッション、プレゼンテーションを通して他人を説得することができる。 対応 D P 及び C P : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では、経済学の考え方を基に、中央政府や地方政府の機能を専門書の輪読を通じて理解します。さらに、まちづくり、地域活性化の様々な取り組みについて事例研究を進めます。そのような基礎の上に、全国の公共政策系のゼミが参加する学生政策コンペである「公共政策フォーラム」において、具体的な都市、地域が抱える問題点を発見し、それに対して問題解決の提案を行う基礎的な力を身につけてもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション 1	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 前期の輪読のスケジュールと担当者の割り当てを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと
第 2 回	「自然災害による被害を防ぐにはどんな手段があるのでしょうか？」（第 1 章）の輪読 1	防災対策について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必ず提出すること
第 3 回	「自然災害による被害を防ぐにはどんな手段があるのでしょうか？」（第 1 章）の輪読 2	防災対策について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必ず提出すること
第 4 回	「空き家・空き地はどうして存在するの？」（第 2 章）の輪読 1	空き家問題について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必ず提出すること
第 5 回	「空き家・空き地はどうして存在するの？」（第 2 章）の輪読 2	空き家問題について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必ず提出すること
第 6 回	「誰もが豊かな住宅に住めるようにするためにはどうすればいいのですか？」（第 3 章）の輪読 1	住宅を用いた再分配について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必ず提出すること
第 7 回	「誰もが豊かな住宅に住めるようにするためにはどうすればいいのですか？」（第 3 章）の輪読 2	住宅を用いた再分配について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必ず提出すること

		ず提出すること
第 8 回	「なぜ人は集まりたがるのですか？どうして混雑が発生するの？」（第 4 章）の輪読 1	集積の経済について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 9 回	「なぜ人は集まりたがるのですか？どうして混雑が発生するの？」（第 4 章）の輪読 2	集積の経済について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 10 回	「都市の構造はどのようにして決まるのですか？」（第 5 章）の輪読 1	都市構造の決定メカニズムについて考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 11 回	「都市の構造はどのようにして決まるのですか？」（第 5 章）の輪読 2	都市構造の決定メカニズムについて考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 12 回	「東京に人口が集まると、日本の人口が減る？」（第 6 章）の輪読 1	東京一極集中問題について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 13 回	「東京に人口が集まると、日本の人口が減る？」（第 6 章）の輪読 2	東京一極集中問題について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 14 回	「東京に人口が集まると、日本の人口が減る？」（第 6 章）の輪読 3	東京一極集中問題について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 15 回	公共政策フォーラムのモデル都市に関する地域活性化	公共政策フォーラムのモデル都市の地域活性化に関するブレインストーミング 【事前学習】2 時間

	のアイデア出し	指定した HP でモデル都市の状況を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で定められた役割分担に基づき、上級生と連携して夏季休暇期間中の分析、インタビューなどの準備を行うこと。
第 16 回	イントロダクション 2	後期授業の内容について説明する。 後期の輪読のスケジュールと担当者の割り当てを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと
第 17 回	「第 7 章. コンパクト・シティって何？」の輪読 1	都市のコンパクト化について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 18 回	「第 7 章. コンパクト・シティって何？」の輪読 1	都市のコンパクト化について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 19 回	「第 8 章. どうして相続税が地価や家賃に影響するの？」の輪読 1	相続税性がもたらすゆがみについて考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 20 回	「第 8 章. どうして相続税が地価や家賃に影響するの？」の輪読 2	相続税性がもたらすゆがみについて考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 21 回	公共政策フォーラムプレゼン動画のリハーサルと録画への参加	公共政策フォーラムモデル都市の地域活性化策に関する提案のプレゼンを練り上げる。 【事前学習】2 時間 事前に配布されたプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、上級生と連携の上、プレゼン資料の改善を行う。
第 22 回	「第 9 章. どうして高齢化にどう対応すればいいの？」の輪読 1	高齢化問題について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること

		ず提出すること
第 23 回	「第 9 章 どんどん進む高齢化にどう対応すればいいの？」の輪読 2	高齢化問題について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 24 回	「第 10 章 持家と借家は結局どちらが得なの？」の輪読 1	情報の非対称性がもたらす住宅の選択について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 25 回	「第 10 章 持家と借家は結局どちらが得なの？」の輪読 2	情報の非対称性がもたらす住宅の選択について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 26 回	「第 11 章. 既存住宅の価格は安いのに、誰も買わないの？」の輪読 1	情報の非対称性がもたらす住宅の選択について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 27 回	「第 11 章. 既存住宅の価格は安いのに、誰も買わないの？」の輪読 1	情報の非対称性がもたらす住宅の選択について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 28 回	「第 12 章. マンションは買って大丈夫？」の輪読 1	集団的決定ルールがもたらすゆがみについて考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 29 回	「第 12 章. マンションは買って大丈夫？」の輪読 2	集団的決定ルールがもたらすゆがみについて考える。 【事前学習】2 時間 教科書の担当部分をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
第 30 回	全体のまとめ	経済学の立場からの公共政策の評価について考える。 【事前学習】2 時間

		事前に配布した資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業時に提示した課題に取り組み、期限までに必ず提出すること
--	--	--

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
「経済学で考える人口減少時代の住宅土地問題」(山崎福寿・中川雅之) (東洋経済新報社)
参考文献
授業時に指定する。
オフィシアワー
火曜日 15:00～16:00。事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお、メールアドレスは、授業時に指示する
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	38
担当教員	中村 靖彦	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	3112	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 日常的に使用する経済用語の意味を理解し、説明できる。 2. 私たちの身近にあるさまざまな問題を経済学的な視点から捉えることで、新聞やニュースなどの社会・経済問題を理解できる。 3. 経済学的な考え方を理解し、経済学とはどのような学問なのかを説明できる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では、市場、景気、経済成長、失業、貨幣、金融、為替レートなど、日常的に使用する経済用語について学びます。また、就職、結婚、子育て、教育、医療・福祉、交通、観光など、私たちの身近な問題を経済学的な視点から分析します。これによって、経済学とはどのような学問なのかを理解してもらいます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。

	いて輪読/報告	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ

		ート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	確認と解説	授業を通して学んだことの確認（60 分）および解説（30 分）を行う。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	90%	0%	10%	0%	100%
評価の特記事項					
授業内で提示した課題はすべて提出すること。					

テキスト
授業内で指定する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスパワー
メールでアポをとること。なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻，私語など他の学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	39
担当教員	西山 朗	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この授業では、ゼミのテーマ「グローバル貧困削減の経済学」に関する基礎知識と基礎的考え方を身につけることを目標とします。 また、以下の能力を高めることを目指します。 1. 論理的思考能力 2. 論理的分析能力 3. 論理的説明能力 4. 論理的文章作成能力 5. エビデンス（証拠・根拠）に基づいて議論する能力（ディスカッション力） 6. プレゼンテーション力 7. コミュニケーション能力 対応 DP 及び CP : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
「どうすれば、世界の貧困を削減することができるのか？」 この授業（2 年生西山ゼミ）では、基礎を大切にしながら、ゼミのテーマ「グローバル貧困削減の経済学」に関する基礎知識と基礎的考え方を習得します。具体的には、「世界の貧困は本当に減少してきているのか？」、「なぜ貧困を撲滅できていないのか？」、「途上国がしてはいけないことは何か？」、「途上国が豊かになるためにすべきことは何か？」などについて学びます。 また、世界の貧困削減に関するさまざまな事柄（学校に通えない子供たち、女性に対する暴力、ジェンダー不平等

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	概要説明と教科書説明①	以下の内容を行う。 概要説明（ルール、今学期の方針など） 教科書についての補足説明① 【事前学習】2 時間 教科書前半を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 2 回	概要説明と教科書説明②	以下の内容を行う。 教科書についての補足説明② 輪読発表の担当者 決定 プレゼン課題 担当者 決定 自己紹介 【事前学習】2 時間 教科書前半を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 3 回	ゼミの研究テーマ（学習内容）についての説明	『なぜ貧しい国はなくなるのか 第 2 版』p.7 までを学ぶ 『経済論文の作法 第 3 版』序章と第 6 章 を学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 4 回	PowerPoint を用いたプレゼンテーションの実践①	「フェアトレードをどのように評価すべきか」についてディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 発表とディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 5 回	PowerPoint を用いたプレゼンテーションの実践②	「ジェンダー不平等（女性への暴力、女性の社会的地位に関する問題など）をどのように理解すべきか」についてディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 発表とディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 6 回	第 1 章 輪読発表	第 1 章「開発経済学とは何か？」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 7 回	第 2 章 輪読発表	第 2 章「貧困は減っているか？」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 8 回	第 3 章 輪読発表	第 3 章「なぜ貧困を撲滅できないのか？」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間

		授業内容に基づき、考えをまとめる
第 9 回	第 4 章 輪読発表	第 4 章「飢餓は是が非でも避けたい」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 10 回	第 5 章 輪読発表	第 5 章「東アジアから何を学ぶか？」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 11 回	第 6 章 輪読発表	第 6 章「途上国がしてはいけないこと」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 12 回	第 7 章 輪読発表	第 7 章「途上国が豊かになるためにすべきこと」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 13 回	第 8 章 輪読発表	第 8 章「世界がもっと真剣に取り組むべきこと」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 14 回	ディスカッション「著者の主張に賛成か反対か」	「著者の主張に賛成か反対か」についてディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 発表とディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 15 回	「ゼミの学習内容」と「夏休みの過ごし方」	「ゼミの学習内容」と「夏休みの過ごし方」についてディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 発表とディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 16 回	後期の概要説明と教科書説明	後期の教科書の概要について学ぶ 【事前学習】2 時間 教科書前半を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 17 回	教科書についての補足説明	以下の補足説明を通じて、重要ポイントを学ぶ。 『貧困の終焉』のキーワードと MDGs に関する補足説明（教員） 『貧困の終焉』序文（ボノ）とイントロダクションに関する補足説明（教員） 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間

		授業内容に基づき、考えをまとめる
第 18 回	学生による活動報告	学生による活動報告に基づいてディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 発表とディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 19 回	第 1 章 輪読発表	第 1 章「地球家族のさまざまな肖像」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 20 回	第 2 章 輪読発表	第 2 章「経済的な繁栄の広まり」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 21 回	第 3 章 輪読発表	第 3 章「なぜ繁栄を享受できない国があるのか」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 22 回	第 10 章 輪読発表	第 10 章「声なき死～アフリカと病～」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 23 回	第 11 章 輪読発表	第 11 章「ミレニアム、9.11、そして国連」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 24 回	第 13 章 輪読発表	第 13 章「貧困をなくすために必要な投資」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 25 回	第 15 章 輪読発表	第 15 章「豊かな社会は貧しい人々を助けることができるか？」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 26 回	レポートの書き方	『経済論文の作法』第 4 章と第 5 章を通じて、レポートの書き方について学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間

		授業内容に基づき、考えをまとめる
第 27 回	第 16 章 輪読発表	第 16 章「まちがった神話、効かない万能薬」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 28 回	第 17 章 輪読発表	第 17 章「なぜ私たちがそれをすべきなのか」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の内容を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 29 回	ディスカッション「著者の主張に賛成か反対か」	「著者の主張に賛成か反対か」についてディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 発表とディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 30 回	今年度のゼミの学習内容を振り返る	今年度のゼミの学習内容を振り返り、今年度に学んできたことを整理する 【事前学習】2 時間 発表とディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
ジェフリー・サックス『貧困の終焉：2025 年までに世界を変える』（文庫本）、早川書房、2014 年。 小浜裕久・木村福成『経済論文の作法：勉強の仕方・レポートの書き方』（第 3 版）、日本評論社、2011 年。
参考文献
林典子『フォト・ドキュメンタリー 人間の尊厳 いまこの世界の片隅で』（岩波新書）、岩波書店、2014 年。
オフィスアワー
履修学生と協議して決定する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	40
担当教員	西脇 暢子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	7063	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 経営組織の基礎を理解し、説明できる。 2. 新聞やニュースなどの経営にかかわる問題を理解し、自分なりにどのような解決策が可能かを考える力をつける。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
企業と経営にかかわる問題は絶対的な正解がないのが特徴である。経営の現場でも、トップと従業員は、何が正解かわからない様々な課題に毎日直面し、それに対してベストと思われる解を試行錯誤しながら出している。それをふまえて、経営組織にかかわる諸問題や緒現象を理解しながら、テキスト輪読、討論、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、考える力の習得をめざす。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	企業研究の準備 1	企業研究に必要な知識を学習する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 回	企業研究の準備 2	企業研究に必要な基礎知識を学習する。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 3 回	企業研究の準備 3	企業研究に必要な基礎知識を学習する。自分が調べたい企業を選ぶ。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	企業研究 プレゼンテーション	3 年生のサポートの下で、企業研究のグループワークを行う。是木最後のプレゼンテーションに向けたテーマの設定、課題の洗い出し、などを行う。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 5 回	企業研究 プレゼンテーション	3 年生のサポートの下で、企業研究のグループワークを行う。是木最後のプレゼンテーションに向けたテーマの設定、課題の洗い出し、などを行う。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 6 回	企業研究 プレゼンテーション	3 年生のサポートの下で、企業研究のグループワークを行う。是木最後のプレゼンテーションに向けたテーマの設定、課題の洗い出し、などを行う。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 7 回	企業研究 質問日	これまでの内容とプレゼンテーションの中で発見した疑問に対して、担当教員に質問し、問題解決をはかる。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	企業研究 プレゼンテーション	3 年生のサポートの下で、企業研究のグループワークを行う。是木最後のプレゼンテーションに向けたテーマの設定、課題の洗い出し、などを行う。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 9 回	企業研究 プレゼンテーション	3 年生のサポートの下で、企業研究のグループワークを行う。是木最後のプレ

	ン	ゼンテーションに向けたテーマの設定、課題の洗い出し、などを行う。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 10 回	企業研究 プレゼンテーション	3 年生のサポートの下で、企業研究のグループワークを行う。是木最後のプレゼンテーションに向けたテーマの設定、課題の洗い出し、などを行う。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 11 回	企業研究 質問日	これまでの内容とプレゼンテーションの中で発見した疑問に対して、担当教員に質問し、問題解決をはかる。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	企業研究 プレゼンテーション	3 年生のサポートの下で、企業研究のグループワークを行う。是木最後のプレゼンテーションに向けたテーマの設定、課題の洗い出し、などを行う。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 13 回	企業研究 プレゼンテーション	3 年生のサポートの下で、企業研究のグループワークを行う。是木最後のプレゼンテーションに向けたテーマの設定、課題の洗い出し、などを行う。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 14 回	企業研究 プレゼンテーション	3 年生のサポートの下で、企業研究のグループワークを行う。是木最後のプレゼンテーションに向けたテーマの設定、課題の洗い出し、などを行う。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 15 回	企業研究の発表大会	前期の成果をゼミ全体で発表する。4 年生と可能であれば OB が審査委員として参加する。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 16 回	テキストの輪読	テキストの指定箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。

		【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 18 回	テキストの輪読	テキストの指定箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 20 回	テキストの輪読	テキストの指定箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 22 回	テキストの輪読	テキストの指定箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 24 回	テキストの輪読	テキストの指定箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 26 回	テキストの輪読	テキストの指定箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。

		【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 28 回	テキストの輪読	テキストの指定箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 30 回	後期の総括	後期の内容のまとめ、疑問点の洗い出しを行い、学習内容について振り返る。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
主体性とチャレンジを評価する。与えられた課題をこなすだけでなく、自分で課題を発見、提案し、ゼミに対して貢献した人には高い評価を出します。					

テキスト
前期は企業研究を行うため、テキストは使用しない。後期からはテキストを使ってゼミを行う。テキストは学生の希望を考慮し、夏休み中に決定する。
参考文献
必要に応じて指示する。
オフィスアワー
事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールガイドの注意事項を厳守すること。上述の特記事項をよくよみ、ゼミに取り組んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	41
担当教員	根本 志保子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 私たちの身近にあるさまざまな環境問題を経済学的な視点から捉え、新聞や ニュースなどの社会・経済問題を理解できる。 2. 経済学的な考え方を理解し、経済学および環境経済学とはどのような学問なのかを説明できる。 3. 専門書を読み、要点をまとめる、正しい日本語を書く訓練を通じて、正しい日本語で説明し、討論することができる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
環境問題に関する文献を読み、文章の書き方、要約やレジメ作成の方法を学びます。前期はほぼ毎週、全員がレジメを提出し、それに基づいて討論します。後期はディベート大会を行ない、グループに分かれて自主的な事前研究をします。議論のポイントや戦略の立て方、質疑応答や効果的な説得の仕方など、プレゼンテーションの基本を学びます。また正しい日本語で文章を書き、話す練習をします。これらを通じて、2 年次では、論理的に考察し、自分の考えを的確に書き、述べられるようになることを目指します。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意について説明する 自己紹介などのイントロダクションを行なう 【事前学習】2 時間 シラバスと事前配布の資料を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 文献レジメの作り方の資料を復習する
第 2 回	環境経済論の導入とレジメの作り方	環境問題論の導入と文献レジメづくり方について説明する 【事前学習】2 時間 指定された環境経済論の導入文章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 次週用のレジメを作成すること
第 3 回	レジメの確認と討論	環境問題論の導入と文献レジメづくりの確認, 意見交換の練習する 【事前学習】2 時間 環境経済論の導入文章に基づきレジメを作成すること 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 次週用のレジメを作成すること
第 4 回	専門書購読 I と討論 (1)	文献購読とレジメに基づき, 意見交換の練習をする 【事前学習】2 時間 環境経済論の専門書に基づきレジメを作成すること 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 次週用のレジメを作成すること
第 5 回	専門書購読 I と討論 (2)	文献購読とレジメに基づき, 意見交換の練習をする 【事前学習】2 時間 環境経済論の専門書に基づきレジメを作成すること 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 次週用のレジメを作成すること
第 6 回	専門書購読 I と討論 (3)	文献購読とレジメに基づき, 意見交換の練習をする 【事前学習】2 時間 環境経済論の専門書に基づきレジメを作成すること 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 次週用のレジメを作成すること
第 7 回	専門書購読 I と討論 (4)	文献購読とレジメに基づき, 意見交換の練習をする 【事前学習】2 時間 環境経済論の専門書に基づきレジメを作成すること 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 次週用のレジメを作成すること
第 8 回	環境問題の実際を知る (映像鑑賞と討論)	環境問題の実際を知るため, 映像資料を見て, 討論を行なう 【事前学習】2 時間 映像資料関連の情報を事前に調べておくこと 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 得られた論点を書き出すこと
第 9 回	文章の書き方, レポートの書き方 (1)	レポート・論文を書くための正しい日本語と文章を学ぶ 【事前学習】2 時間 文章・レポートの書き方をよく読み, 準備すること 【事後学習】2 時間 授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 10 回	文章の書き方, レポートの書き方 (2)	レポート・論文を書くための正しい日本語と文章を学ぶ 【事前学習】2 時間 前回指摘された箇所の修正をして書き直してくること 【事後学習】2 時間 相互チェックなどを通してブラッシュアップすること
第 11 回	専門書購読 II と討論 (1)	文献購読とレジメに基づき, 論点を話し合う練習をする 【事前学習】2 時間 環境経済論の専門書に基づきレジメを作成すること 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 次週用のレジメを作成すること
第 12 回	専門書購読 II と討論 (2)	文献購読とレジメに基づき, 論点を話し合う練習をする 【事前学習】2 時間 環境経済論の専門書に基づきレジメを作成すること 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 次週用のレジメを作成すること
第 13 回	専門書購読 II と討論 (3)	文献購読とレジメに基づき, 論点を話し合う練習をする 【事前学習】2 時間 環境経済論の専門書に基づきレジメを作成すること 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 次週用のレジメを作成すること
第 14 回	フィールドワークの方法	夏合宿にて現場から環境問題を考えるため, 調査の候補地や方法について話し合う 【事前学習】2 時間 調査したい事項や場所について調べてくること 【事後学習】2 時間 調査した内容のまとめかたについて復習すること
第 15 回	前期のまとめ	前期のまとめ 【事前学習】2 時間 前期学んだ内容についてまとめてくること 【事後学習】2 時間 夏休みと後期に向けての準備をすること
第 16 回	ディベート大会の説明とテーマ決め	ディベートとは何か, 方法, グループ分け, テーマ決める 【事前学習】2 時間 ディベートで取り上げたいテーマを各自考えてくること

		【事後学習】2 時間 ディベート方法に関する資料をよく読み、準備を始めること
第 17 回	ディベートの準備（1）	グループに分かれて、ディベート内容と作戦を討議する 【事前学習】2 時間 ディベートテーマについて調べてくること 【事後学習】2 時間 話し合ったことに基づいて準備を進めること
第 18 回	ディベートの準備（2）	グループに分かれて、ディベート内容と作戦を討議する 【事前学習】2 時間 ディベートテーマについて調べてくること 【事後学習】2 時間 話し合ったことに基づいて準備を進めること
第 19 回	ディベート大会Ⅰ	グループに分かれて、ディベート大会を試合形式で行なう 【事前学習】2 時間 ディベートテーマについて調べてくること 【事後学習】2 時間 プレゼンや討議方法について学んだことを復習すること
第 20 回	ディベート大会Ⅱ	グループに分かれて、ディベート大会を試合形式で行なう 【事前学習】2 時間 ディベートテーマについて調べてくること 【事後学習】2 時間 プレゼンや討議方法について学んだことを復習すること
第 21 回	ディベート大会Ⅲ	グループに分かれて、ディベート大会を試合形式で行なう 【事前学習】2 時間 ディベートテーマについて調べてくること 【事後学習】2 時間 プレゼンや討議方法について学んだことを復習すること
第 22 回	ディベート大会の準備（3）	グループに分かれて、次のディベート内容と作戦を討議する 【事前学習】2 時間 ディベートテーマについて調べてくること 【事後学習】2 時間 話し合ったことに基づいて準備を進めること
第 23 回	ディベート大会Ⅳ	グループに分かれて、ディベート大会を試合形式で行なう 【事前学習】2 時間 ディベートテーマについて調べてくること 【事後学習】2 時間 プレゼンや討議方法について学んだことを復習すること
第 24 回	ディベート大会Ⅴ	グループに分かれて、ディベート大会を試合形式で行なう 【事前学習】2 時間 ディベートテーマについて調べてくること 【事後学習】2 時間 プレゼンや討議方法について学んだことを復習すること
第 25 回	統計分析の方法（1）	統計分析の基礎を学ぶ 【事前学習】2 時間 統計分析についての資料を読んでくること 【事後学習】2 時間 資料を復習し、統計分析の課題を行なうこと
第 26 回	統計分析の方法（2）	統計分析の基礎を学ぶ 【事前学習】2 時間 統計分析の課題を行なってくること 【事後学習】2 時間 資料を復習し、統計分析の課題を行なうこと
第 27 回	統計分析の方法（3）	統計分析の基礎を学ぶ 【事前学習】2 時間 統計分析の課題を行なってくること 【事後学習】2 時間 統計分析について学んだことを復習すること
第 28 回	環境経済論の最新テーマを学ぶ（1）	環境経済論の最新テーマについて、質疑応答と討論を行なう 【事前学習】2 時間 資料を読んで質問を考えてくること 【事後学習】2 時間 最新テーマについて学んだことを復習すること
第 29 回	環境経済論の最新テーマを学ぶ（2）	環境経済論の最新テーマについて、質疑応答と討論を行なう 【事前学習】2 時間 資料を読んで質問を考えてくること 【事後学習】2 時間 最新テーマについて学んだことを復習すること
第 30 回	後期のまとめ	後期のまとめ 【事前学習】2 時間 後期学んだ内容についてまとめてくること 【事後学習】2 時間 春休みの課題と 3 年次に向けての準備をすること

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	80%	0%	100%
評価の特記事項					
授業内で提示した課題はすべて提出し、ゼミ内では積極的に発言するように努めること。					

テキスト
一方井誠治（2018）『コア・テキスト 環境経済学』新世社，ほか。 輪読用の環境問題関連の入門書や専門書は授業時に指示します。
参考文献
授業時に指示します。
オフィスアワー
火曜日 12：10～12：55、14：25～16：10 事前に授業後またはメールでアポをとること。なお，メールアドレスは，授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
年に 1 回，2 年～4 年生合同で合宿を行います。合宿では現地見学やインタビュー，自然体験やボランティアなどを行ない，環境問題の現実を実地で学びます。 11～12 月に中央大学・法政大学の環境経済学ゼミとのインゼミ発表会に参加します。 授業期間はゼミの課題で忙しくなりますが，ゼミ生自らが行なうゼミ運営や合宿の企画，積極的な発言や議論，グループでの共同作業と貢献を通じて，社会でも必要となる日本語スキル，論理力，コミュニケーション能力も身につけてください。無断欠席は禁止します。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	42
担当教員	野口 翔平	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3122	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
専門研究（一）では、専門研究（二）と卒業論文に向けて、会計学の基本的な用語や考え方を理解し、説明できるようになることを目標とする。また、企業の財務諸表を理解できるようになることを目指す。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では、財務諸表の形式や内容等の財務諸会計の基本的な用語や考え方と、会計による経営管理に使われる管理会計技法の基礎的な事項について学修する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容や進め方などの注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 テキストの第 1 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 2 回	グループ活動	それぞれの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 課題についてレポートを作成する。
第 3 回	貸借対照表	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 4 回	損益計算書	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 5 回	キャッシュフロー計算書	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 6 回	棚卸資産	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 7 回	固定資産と減価償却	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 8 回	無形固定資産	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 9 回	負債の会計	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 10 回	純資産の会計	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間

		配布資料等により理解を深める。
第 11 回	リース会計	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 12 回	減損会計	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 13 回	日本の会計制度①	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 14 回	日本の会計制度②	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 15 回	前期のまとめ	前期のまとめを行う。 【事前学習】2 時間 今までの資料を確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 16 回	グループ活動	それぞれの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 課題についてレポートを作成する。
第 17 回	財務諸表分析	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 18 回	原価管理	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 19 回	原価改善	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 20 回	利益計画	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 21 回	経営意思決定支援の会計	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。

		【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 22 回	グループ活動	それぞれの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 課題についてレポートを作成する。
第 23 回	グループ活動	それぞれの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 課題についてレポートを作成する。
第 24 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 25 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 26 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 27 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 28 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 29 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 30 回	後期のまとめ	後期のまとめを行う。 【事前学習】2 時間 今までの資料を確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
レポートの作成や授業内の報告は必ず行うこと。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
水曜日 13 : 00～14 : 00。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻などの学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	43
担当教員	橋本 英俊	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	3105	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
専門研究(一)では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 自分自身で卒業論文のテーマを見つけることができる。 2. 設定したテーマに対して、適切な資料を見つけることができる。 3. 設定したテーマに対して、適切な分析方法を見つけることができる。 4. 設定したテーマに関連し、プレゼンテーション資料を作成して、報告することができる。 5. プレゼンテーションに伴う質疑応答を通して、ディスカッション能力を高めることができる。 6. 自分自身のテーマについて深く思考することができる。 7. 各ゼミ生のテーマに関連して深い知識を得ることができる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
専門研究(一)では、卒業論文を作成する準備段階として、先ず担当教員および他のゼミ生との意見交換を通じて各ゼミ生が卒業論文に至る一貫した研究テーマを設定します。その上で、それぞれのゼミ生が自分自身で設定した研究テーマに関連したプレゼンテーションを、各回のゼミにおいて毎回数名ずつ報告してもらい、これに対して、担当教員および他のゼミ生とのディスカッションを行う形式でゼミを進めていきます。以上を通じて、自分自身の研究テーマのみならず、他のゼミ生の研究内容についても知識を深め、本学問領域における各問題について、そ

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	専門研究(一)イントロダクション	本演習を通じての 3 年間の内容および、専門研究(一)の年間スケジュールについて確認する。 【事前学習】2 時間 本演習の研究領域に関する、新聞、書籍等に目をとおり、演習に参加する上での問題意識を高めておく。 【事後学習】2 時間 自分自身で、本演習で取り組まれる 3 年間の内容を確認し、見通しを立てた上で、卒業論文のテーマとしてふさわしいものは何かについて検討する。
第 2 回	卒業論文テーマの設定 (1)	各ゼミ生が事前に考えてきた、卒業論文テーマを報告してもらい、担当教員との質疑応答を通じてテーマを設定するとともに、テーマに対してのアプローチおよび、前期第 1 回目のプレゼンテーション報告の方向性について検討確認する。 【事前学習】2 時間 3 年間取り組む卒業論文のテーマおよび研究アプローチについて検討してくる。 【事後学習】2 時間 自分自身の研究テーマおよびアプローチについて、振り返りを行うとともに、他のゼミ生の研究テーマおよびアプローチにまつわる質疑応答を参考にして、自分自身の研究テーマのイメージおよび前期第
第 3 回	卒業論文テーマの設定 (2)	各ゼミ生が事前に考えてきた、卒業論文テーマを報告してもらい、担当教員との質疑応答を通じてテーマを設定するとともに、テーマに対してのアプローチおよび、前期第 1 回目のプレゼンテーション報告の方向性について検討確認する。 【事前学習】2 時間 3 年間取り組む卒業論文のテーマおよび研究アプローチについて検討してくる。 【事後学習】2 時間 自分自身の研究テーマおよびアプローチについて、振り返りを行うとともに、他のゼミ生の研究テーマおよびアプローチにまつわる質疑応答を参考にして、自分自身の研究テーマのイメージおよび前期第
第 4 回	前期第 1 回目プレゼンテーション (1)	ゼミ生がこれまでに設定した卒業論文テーマおよびアプローチに基づいて作成した第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、前期第 2 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすか
第 5 回	前期第 1 回目プレゼンテーション (2)	ゼミ生がこれまでに設定した卒業論文テーマおよびアプローチに基づいて作成した第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、前期第 2 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすか
第 6 回	前期第 1 回目プレゼンテーション	ゼミ生がこれまでに設定した卒業論文テーマおよびアプローチに基づいて作成

	ション（３）	した第１回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、前期第２回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】２時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】２時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすか
第 7 回	前期第 1 回目プレゼンテーション（４）	ゼミ生がこれまでに設定した卒業論文テーマおよびアプローチに基づいて作成した第１回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、前期第２回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】２時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】２時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすか
第 8 回	前期第 1 回目プレゼンテーション（５）	ゼミ生がこれまでに設定した卒業論文テーマおよびアプローチに基づいて作成した第１回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、前期第２回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】２時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】２時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすか
第 9 回	前期第 1 回目プレゼンテーション振り返りおよび前期第 2 回目プレゼンテーションの確認	これまでのゼミ生による前期第１回目のプレゼンテーションを振り返り、お互いのテーマに関する知識や、研究方法、およびプレゼンテーション技術等についてシェアすべき点をディスカッションを通じて検討する。合わせて各ゼミ生の前期第２回目のプレゼンテーション報告の方向性について確認する。 【事前学習】２時間 これまでのゼミ生による前期第１回目のプレゼンテーションを振り返り、ゼミ生の中でシェアすべき点等について検討する。 【事後学習】２時間 これまでのゼミ生による前期第１回目のプレゼンテーションから、自分の研究に応用でき
第 10 回	前期第 2 回目プレゼンテーション（１）	前期第１回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て、確認された方向性を基に作成された前期第２回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、後期第１回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】２時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】２時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすことができるか検討する。
第 11 回	前期第 2 回目プレゼンテーション（２）	前期第１回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て、確認された方向性を基に作成された前期第２回目のプレゼンテーションについて報告し

		てもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、後期第 1 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の研究やプレゼンテーションに
第 12 回	前期第 2 回目プレゼンテーション (3)	前期第 1 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て、確認された方向性を基に作成された前期第 2 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、後期第 1 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の研究やプレゼンテーションに
第 13 回	前期第 2 回目プレゼンテーション (4)	前期第 1 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て、確認された方向性を基に作成された前期第 2 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、後期第 1 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の研究やプレゼンテーションに
第 14 回	前期第 2 回目プレゼンテーション (5)	前期第 1 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て、確認された方向性を基に作成された前期第 2 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、後期第 1 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の研究やプレゼンテーションに
第 15 回	前期第 2 回目プレゼンテーション振り返りおよび後期第 1 回目プレゼンテーションの確認	これまでのゼミ生による前期第 2 回目のプレゼンテーションを振り返り、お互いのテーマに関する知識や、研究方法、およびプレゼンテーション技術等についてシェアすべき点をディスカッションを通じて検討する。合わせて、各ゼミの卒業論文の研究テーマについて改めて確認するとともに、後期第 1 回目のプレゼンテーション報告の方向性について確認する。 【事前学習】2 時間 これまでのゼミ生による前期第 2 回目のプレゼンテーションを振り返り、ゼミ生の中でシェアすべき点等について検討する。 【事後学習】2 時間 これまでのゼミ生による前期第
第 16 回	後期第 1 回目プレゼンテーションおよび卒業論文テーマの確認	夏季休暇期間中に作成された後期第 1 回目プレゼンテーション資料について確認するとともに、各ゼミ生の卒業論文テーマおよびアプローチに関してその適合性や方向性について改めて確認を行う。 【事前学習】2 時間

		夏季休暇期間中に作成したプレゼンテーション資料，および自分自身の卒業論文テーマやアプローチについて確認する。 【事後学習】2 時間 夏季休暇期間中に作成したプレゼンテーション資料や自分自身の卒業論文テーマおよびアプローチについて，十分に振り返りを行う。
第 17 回	後期第 1 回目プレゼンテーション（1）	前期第 2 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，後期第 2 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼンテーションに
第 18 回	後期第 1 回目プレゼンテーション（2）	前期第 2 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，後期第 2 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼンテーションに
第 19 回	後期第 1 回目プレゼンテーション（3）	前期第 2 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，後期第 2 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼンテーションに
第 20 回	後期第 1 回目プレゼンテーション（4）	前期第 2 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，後期第 2 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼンテーションに
第 21 回	後期第 1 回目プレゼンテーション（5）	前期第 2 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，後期第 2 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。

		【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼンテーションに
第 22 回	後期第 1 回目プレゼンテーション（6）	前期第 2 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，後期第 2 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼンテーションに
第 23 回	後期第 1 回目プレゼンテーション振り返りおよび後期第 2 回目プレゼンテーションの確認	これまでのゼミ生による後期第 1 回目のプレゼンテーションを振り返り，お互いのテーマに関する知識や，研究方法，およびプレゼンテーション技術等についてシェアすべき点をディスカッションを通じて検討する。合わせて各ゼミ生の後期第 2 回目のプレゼンテーション報告の方向性について確認する。 【事前学習】2 時間 これまでのゼミ生による後期第 1 回目のプレゼンテーションを振り返り，ゼミ生の中でシェアすべき点等について検討する。 【事後学習】2 時間 これまでのゼミ生による後期第 1 回目のプレゼンテーションから，自分の研究に活用でき
第 24 回	後期第 2 回目プレゼンテーション（1）	後期第 1 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 2 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，専門研究（二）前期第 1 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼ
第 25 回	後期第 2 回目プレゼンテーション（2）	後期第 1 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 2 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，専門研究（二）前期第 1 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼ
第 26 回	後期第 2 回目プレゼンテーション（3）	後期第 1 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 2 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，専門研究（二）前期第 1 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問

		やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼ
第 27 回	後期第 2 回目プレゼンテーション（4）	後期第 1 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 2 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，専門研究（二）前期第 1 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼ
第 28 回	後期第 2 回目プレゼンテーション（5）	後期第 1 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 2 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，専門研究（二）前期第 1 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼ
第 29 回	後期第 2 回目プレゼンテーション（6）	後期第 1 回目のプレゼンテーション報告および質疑応答を経て，確認された方向性を基に作成された後期第 2 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，専門研究（二）前期第 1 回目のプレゼンテーションに向けた方向性を検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼ
第 30 回	後期第 2 回目プレゼンテーション振り返りおよび専門研究（二）への確認	これまでのゼミ生による後期第 2 回目のプレゼンテーションを振り返り，お互いのテーマに関する知識や，研究方法，およびプレゼンテーション技術等についてシェアすべき点をディスカッションを通じて検討する。合わせて，専門研究（二）での内容を確認し，見通しを共有する。 【事前学習】2 時間 これまでのゼミ生による後期第 2 回目のプレゼンテーションを振り返り，ゼミ生の中でシェアすべき点等について検討する。 【事後学習】2 時間 これまでのゼミ生による後期第 2 回目のプレゼンテーションから，自分自身の研究に応用できる点を検討し，専

授業形式

- ・質問等のフィードバックは，講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
特になし。
参考文献
ゼミの時間内で指示する。
オフィスアワー
ゼミの時間内で指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
積極的な姿勢でゼミに参加してくれることを望みます。 無断欠席は一切認めません。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	44
担当教員	挽 直治	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	3115	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
財務会計論に関する重要な論点について，発表者の報告資料に基づいて議論を展開していく。具体的にはわが国の会計制度の法体系を比較・考察すること，企業業績等に関するディスクロージャーの正確な分析により，企業行動の実態を把握できること，国内外の基準設定機関である ASBJ, IASB, FASB 等の公式見解およびその動向を注視することがあげられる。自らの考えをまとめ報告資料を作成するとともに質疑応答ができること，発表者に報告内容についての適切な質問ができることを目標とします。 対応 DP 及び CP:5,6,7,8
授業概要（教育目的）
会計は事業の言語(language of business)として捉えることができる。経済社会での「言語」を読解するために，財務諸表作成プロセスにおける会計処理およびディスクロージャー制度の理解を深め，有価証券報告書，決算短信，IR を適切に利用できることより，企業の会計行動に関する実態の把握を行えることを目的とする。報告者には会計のダイナミズムを実感できるよう最新の事例も随時取り上げることが求められる。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス エコリンクを利用して、資料を提供します。授業実施形態について説明を行います。	専門研究(一)の到達目標についてのガイダンスを行う。 【事前学習】2 時間 シラバスの記載内容を確認すること。 【事後学習】2 時間 到達目標に向けての準備を進めておくこと。
第 2 回	発表することの重要性を知る(1)	発表するうえで注意しなければならないことを学ぶ。 【事前学習】2 時間 発表することの意義について考えてみよう。 【事後学習】2 時間 会計の知識の到達度を確認すること。
第 3 回	発表することの重要性を知る(2)	発表する題目をどのような問題意識から選択したかを考えよう。 【事前学習】2 時間 会計のトピックスを選択すること。 【事後学習】2 時間 会計がなぜ必要であるかを整理すること。
第 4 回	参考文献の利用法	参考文献の正確な引用法を理解する。 【事前学習】2 時間 OPAC を利用してみよう。 【事後学習】2 時間 参考文献を渉猟する意義について整理すること。
第 5 回	企業情報の入手：ディスクロージャー制度について：報告と質疑応答	法定ディスクロージャーの概要と現状を分析する。 【事前学習】2 時間 業績評価を行う企業の有価証券報告書を用意し、利益への変動要因を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 関心のある企業の IR を調べてみよう。
第 6 回	ディスクロージャー制度の変革：IR と業績予測：報告と質疑応答	なぜ企業に関するディスクロージャー制度は拡充されてきたのか、その背景を踏まえ有価証券報告書を利用して企業のディスクロージャー制度を分析検討する。 【事前学習】2 時間 予め指定企業の決算短信を用意し、有価証券報告書との異同を確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 各企業の IR の異同を調べてみよう。
第 7 回	非公開会社の情報の特質：報告と質疑応答	非公開会社と会計情報 【事前学習】2 時間 非公開会社の具体例を調べておくこと。 【事後学習】2 時間 公開会社と非公開会社の異同について整理すること。
第 8 回	キャッシュフロー計算書に関する資料を輪読：報告と質疑応答	キャッシュフロー計算書から何を解読することが可能か、キャッシュフローと企業業績の評価について議論する。 【事前学習】2 時間 関心のある企業のキャッシュフローの状況を調べておくこと。 【事後学習】2 時間 キャッシュフロー計算書のフォームを正確に理解しているか確認すること。
第 9 回	キャッシュフロー経営に関する資料：報告と質疑応答	キャッシュフロー経営について議論する。 【事前学習】2 時間 予め配布資料の課題を遂行しておくこと。 【事後学習】2 時間 検討課題について、復習をすること。
第 10 回	会計利益の伸縮性に関する資料：報告と質疑応答	費用の期間配分について、棚卸資産、有形・無形固定資産、繰延資産の各手続を整理し議論する。 【事前学習】2 時間 予め配布資料を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 検討課題について、復習をすること。
第 11 回	会計利益の伸縮性と会計政策に関する資料：報告と質疑応答	会計政策とは何かを最新の事例を題材として議論する。 【事前学習】2 時間 予め企業業績に影響するいくつかの要因を考察してみよう。 【事後学習】2 時間 取り上げた会計政策について、自身の考えをまとめること。
第 12 回	2019 年 3 月期の企業業績に関して議論：報告と質疑応答	2019 年 3 月期の決算内容に基づき、企業業績の分析を行う。 【事前学習】2 時間 主な収益性分析に関する指標をテキストの終章を読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 収益予測の分析を行ってみよう。
第 13 回	2019 年 3 月期の企業業績	2019 年 3 月期の業績予想に基づき、業界分析を行う。

	績に関して議論：報告と質疑応答	【事前学習】2 時間 主な収益性・安全性分析に関する指標をテキストの終章を読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 業界の経済環境に関して復習すること。
第 14 回	前期の内容に関してのまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間 テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答した内容を加筆修正すること。
第 15 回	前期の内容に関してのまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間 テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答した内容を加筆修正すること。
第 16 回	ガイダンス	夏季休暇中の成果について発表する。また後期の検討課題についてのガイダンスを行う。 【事前学習】2 時間 夏季休暇中の活動成果についてまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 発表の題目をいくつか見つけておくこと。
第 17 回	発表題目と問題意識を発表	発表題目と問題意識について資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表題目に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 18 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 19 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 20 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 21 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 22 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 23 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 24 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 25 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 26 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 27 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 28 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 29 回	後期の内容に関してのまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間 テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答した内容を加筆修正すること。

第 30 回	後期の内容に関してのまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間 テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答した内容を加筆修正すること。
--------	-----------------------	---

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	0 %	0 %	100%	0%	100%
評価の特記事項					
積極的に質疑応答した学生に対しては、加点評価する。					

テキスト
伊藤邦雄『新・現代会計入門(第4版)』日本経済新聞出版社, 4,070 円(税込).
伊藤邦雄『企業価値経営』日本経済新聞出版社, 4,620 円(税込).
参考文献
今福愛志『企業統治の会計学』中央経済社, 3,960 円(税込).
中央経済社編『新版会計法規集(第12版)』中央経済社, 2,640 円(税込).
オフィスアワー
エコリンク・Web Class を利用して、質問に回答します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
議論する内容は広範囲にわたるため、着実に会計基準の把握，有価証券報告書の読解を蓄積していくことが望まれる。 前期講義日までにエコリンクを利用できるようにしてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	45
担当教員	廣野 桂子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 2	単位区分	選
講義室	3102	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
廣野ゼミ（2年生）では、以下の能力を身につけることを目指します。 ① 企業の戦略を学ぶ ② プレゼンテーションの力を身につける 対応 DP 及び CP 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
廣野ゼミでは、ゼミ生が社会人になってから役に立つ企業戦略や経済学，プレゼンテーションの方法を扱います。 最初に、独占，寡占や市場の構造，製品差別化，参入障壁，企業の多角化といったビジネスエコノミックスの基礎を，解説します。また，一人一人が興味のある企業を選択し，研究を行い，主体的に発表をすることにより，実践的な経営スキルを身につけていただきます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	(1)講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。(2)自己紹介の方法を学び, 自己紹介を行う。 [事前学習] 2 時間 Ecolink のシラバスをよく読んでおくこと。 [事後学習] 2 時間 授業内容をよく復習する。
第 2 回	ビジネスエコノミックスの講義 1. 市場の構造	完全競争・独占・寡占や市場の構造を解説し, 市場を分類する方法を説明する。 [事前学習] 2 時間 クラスルームから資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 [事後学習] 2 時間 授業内容をよく復習する。
第 3 回	ビジネスエコノミックスの講義 2. 参入と参入障壁	市場への参入障壁の種類を説明し, 企業が他社の参入を阻止する方法を解説する。 [事前学習] 2 時間 クラスルームから資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 [事後学習] 2 時間 授業内容をよく復習する。
第 4 回	ビジネスエコノミックスの講義 3. 製品差別化	(1)製品差別化に成功している企業のケースを示す。(2)製品差別化のための消費者調査の方法を説明する。(3)製品差別化のための「財のとらえ方」を勉強し, 実際に, 差別化の案を考えてみる。 [事前学習] 2 時間 クラスルームから資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 [事後学習] 2 時間 授業内容をよく復習する。
第 5 回	ビジネスエコノミックスの講義 4. 多角化	(1)企業の多角化のメリットと成功する多角化の方法を解説する。(2)製品ライフサイクルと PPM の説明をする。 [事前学習] 2 時間 クラスルームから資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 [事後学習] 2 時間 授業内容をよく復習する。
第 6 回	ビジネスエコノミックスの講義 5. 5 フォース分析	(1)5 フォース分析とは何か。(2)5 つのフォースについて, 何を調べてまとめるか。(3)5 フォース分析の意義 [事前学習] 2 時間 クラスルームから資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 [事後学習] 2 時間 授業内容をよく復習する。
第 7 回	企業研究の発表 ○好きな企業を選んで発表する	(1)企業の研究を行い, まとめてみよう。 (2)発表内容の例; 儲けの構造, 他社との製品差別化, 広告宣伝, 企業の多角化, 他社の参入の可能性 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。
第 8 回	企業研究の発表 ○好きな企業を選んで発表する	(1)企業の研究を行い, まとめてみよう。 (2)発表内容の例; 儲けの構造, 他社との製品差別化, 広告宣伝, 企業の多角化, 他社の参入の可能性 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。

		[事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。
第 9 回	企業研究の発表 ○好きな企業を選んで発表する	(1)企業の研究を行い、まとめてみよう。 (2)発表内容の例；儲けの構造，他社との製品差別化，広告宣伝，企業の多角化，他社の参入の可能性 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。
第 10 回	企業研究の発表 ○好きな企業を選んで発表する	(1)企業の研究を行い、まとめてみよう。 (2)発表内容の例；儲けの構造，他社との製品差別化，広告宣伝，企業の多角化，他社の参入の可能性 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。
第 11 回	企業研究の発表 ○好きな企業を選んで発表する	(1)企業の研究を行い、まとめてみよう。 (2)発表内容の例；儲けの構造，他社との製品差別化，広告宣伝，企業の多角化，他社の参入の可能性 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。
第 12 回	企業研究の発表 ○好きな企業を選んで発表する	(1)企業の研究を行い、まとめてみよう。 (2)発表内容の例；儲けの構造，他社との製品差別化，広告宣伝，企業の多角化，他社の参入の可能性 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。
第 13 回	企業研究の発表 ○好きな企業を選んで発表する	(1)企業の研究を行い、まとめてみよう。 (2)発表内容の例；儲けの構造，他社との製品差別化，広告宣伝，企業の多角化，他社の参入の可能性 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。
第 14 回	企業研究の発表 ○好きな企業を選んで発表する	(1)企業の研究を行い、まとめてみよう。 (2)発表内容の例；儲けの構造，他社との製品差別化，広告宣伝，企業の多角化，他社の参入の可能性 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。
第 15 回	企業研究の発表 ○好きな企業を選んで発表する	(1)企業の研究を行い、まとめてみよう。 (2)発表内容の例；儲けの構造，他社との製品差別化，広告宣伝，企業の多角化，他社の参入の可能性 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。
第 16 回	ミニ・プレゼンテーション	プレゼンテーションを実践して，プレゼンテーションの力を身に着ける

第 17 回	ミニ・プレゼンテーション	プレゼンテーションを実践して、プレゼンテーションの力を身に着ける
第 18 回	好きな企業についての研究 報告とディスカッション	(1)企業の研究を行い、報告する。報告するパワーポイント資料に自分の考えを入れる。 (2)ディスカッションで、意見を言えるようにする。 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 19 回	好きな企業についての研究 報告とディスカッション	(1)企業の研究を行い、報告する。報告するパワーポイント資料に自分の考えを入れる。 (2)ディスカッションで、意見を言えるようにする。 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 20 回	好きな企業についての研究 報告とディスカッション	(1)企業の研究を行い、報告する。報告するパワーポイント資料に自分の考えを入れる。 (2)ディスカッションで、意見を言えるようにする。 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 21 回	好きな企業についての研究 報告とディスカッション	(1)企業の研究を行い、報告する。報告するパワーポイント資料に自分の考えを入れる。 (2)ディスカッションで、意見を言えるようにする。 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 22 回	好きな企業についての研究 報告とディスカッション	(1)企業の研究を行い、報告する。報告するパワーポイント資料に自分の考えを入れる。 (2)ディスカッションで、意見を言えるようにする。 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 23 回	好きな企業についての研究 報告とディスカッション	(1)企業の研究を行い、報告する。報告するパワーポイント資料に自分の考えを入れる。 (2)ディスカッションで、意見を言えるようにする。 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 24 回	好きな企業についての研究 報告とディスカッション	(1)企業の研究を行い、報告する。報告するパワーポイント資料に自分の考えを入れる。 (2)ディスカッションで、意見を言えるようにする。 [事前学習] 2 時間 発表する内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意すべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 25 回	テキストの輪読 (1)	テキストの内容を順番に報告する。 [事前学習] 2 時間

		自分が報告する内容を読み、パワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点などから、自分の発表時に注意すべき点をまとめる。
第 26 回	卒業論文発表会	廣野ゼミ 4 年生が報告する卒業論文発表会に出席して、卒業論文についての知見を得る。 [事前学習] 2 時間 ゼミの「卒業論文作成の手引き」などから、卒業論文についての知識を得る。 [事後学習] 2 時間 自分の卒業論文のテーマを考える。
第 27 回	テキストの輪読 (2)	テキストの内容を順番に報告する。 [事前学習] 2 時間 自分が報告する内容を読み、パワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点などから、自分の発表時に注意すべき点をまとめる。
第 28 回	テキストの輪読 (3)	テキストの内容を順番に報告する。 [事前学習] 2 時間 自分が報告する内容を読み、パワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点などから、自分の発表時に注意すべき点をまとめる。
第 29 回	テキストの輪読 (4)	テキストの内容を順番に報告する。 [事前学習] 2 時間 自分が報告する内容を読み、パワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点などから、自分の発表時に注意すべき点をまとめる。
第 30 回	テキストの輪読 (5)	テキストの内容を順番に報告する。 [事前学習] 2 時間 自分が報告する内容を読み、パワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点などから、自分の発表時に注意すべき点をまとめる。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	0%	60%	0%	100%
評価の特記事項					
無断で欠席する場合は減点されます。					

テキスト
浅羽茂・牛嶋辰男,『経営戦略をつかむ』, 有斐閣, 2010 年, 2300 円 (税抜) .
参考文献
特になし
オフィスアワー
授業時ないしメールでアポイントメントを取ってもらい, 随時行う。
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
○ゼミには必ず出席し, 遅刻をしないで下さい。 ○ゼミの活動に参加して下さい。 ○ゼミで役割分担したことは, 責任をもって行って下さい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	46
担当教員	藤野 雅史	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
管理会計論は、英語で Management Accounting というように、Management（経営）と Accounting（会計）という 2 つの側面をもっています。どちらだけを勉強しても、管理会計論を学習したとはいえません。管理会計論は会計学の一分野とされることから、どちらかという会計に重点があると理解されがちですが、それは間違っています。そこで、このゼミでは、経営とは何か、ということをつつも考えながら管理会計論を学習していくことにします。ところが、経営とは何かということは非常に難しい問題です。優れた経営者は「経営学を勉強した」から成功したのではなく、社会、生活、人生のなかから経営のセンスを身につけたとさえいわれることがあります。したがって、管理会計論を学習することはあくまでも手段であり、最終的なねらいは、自ら問題を明らかにし、自分の頭で考え、自ら解決策を見つけることであり、そのために必要な論理的な思考を身につけることにあります。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
基礎的な文献を検討し、レジュメの作成・報告を行う。 企業経営における会計の基本的な役割を理解するとともに、管理会計の基本的なテクニックを習得する。 5, 6, 7, 8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション①	メンバー紹介, テキストの使い方, レジュメの作成方法, スケジュールについて説明する。 【事前学習】2 時間 テキストを入手し読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 企業分析の対象となる企業を選定し, 必要なデータを確認すること。
第 2 回	原価計算の基礎	テキストの第 1 章を輪読し, 章末の練習問題を検討する。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 企業分析の対象となる企業について収集したデータをグループで確認すること。
第 3 回	CVP 分析	テキストの第 2 章（前半）を輪読し, 章末の練習問題を検討する。 【事前学習】2 時間 テキスト第 1 章の練習問題を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 財務分析の計算シートに選定した企業のデータを入力すること。
第 4 回	売上高の予算差異分析	テキストの第 2 章（後半）を輪読し, 章末の練習問題を検討する。 【事前学習】2 時間 テキスト第 2 章（前半）の練習問題を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 選定した企業の財務分析の結果についてグループ内で共有し, 検討すること。
第 5 回	損益計算	テキストの第 3 章を輪読し, 章末の練習問題を検討する。 【事前学習】2 時間 テキスト第 2 章（後半）の練習問題を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 選定した企業の財務分析に関するプレゼンテーションを準備すること。
第 6 回	財務分析のプレゼンテーション	選定した企業の財務分析に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 テキスト第 3 章の練習問題を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 7 回	製造原価の分類と計算	テキストの第 4 章を輪読し, 章末の練習問題を検討する。 【事前学習】2 時間 テキスト第 3 章の練習問題を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 テキスト第 4 章に出てきたキーワードについて説明できるようにすること。
第 8 回	仕訳のしくみ	テキストの第 5 章を輪読し, 章末の練習問題を検討する。 【事前学習】2 時間 テキスト第 4 章の練習問題を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 テキスト第 5 章に出てきたキーワードについて説明できるようにすること。
第 9 回	原価計算初級のまとめ	原価計算初級の模擬問題を検討する。 【事前学習】2 時間 テキスト第 1 章～第 5 章の練習問題を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 テキストに出てきたキーワードについて説明できるようにすること。
第 10 回	イントロダクション②	テキストの使い方, レジュメの作成方法, スケジュールについて説明する。

		【事前学習】2 時間 テキストを入手し読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 管理会計に関する研究テーマをグループで話し合うこと。
第 11 回	管理会計を学ぶ	テキストの序章を輪読し、章末の練習問題を検討する。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み、レジュメを作成すること。 【事後学習】2 時間 研究対象となる管理会計の課題を選定し、参考になる文献を収集すること。
第 12 回	管理会計の役立ちに関するプレゼンテーション①	管理会計の役立ちに関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 13 回	管理会計の意義	管理会計の意義に関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み、レジュメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 14 回	管理会計の役立ちに関するプレゼンテーション②	管理会計の役立ちに関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 15 回	前期のまとめ	原価計算、企業分析、管理会計について話し合う。 【事前学習】2 時間 前期に使用したテキストを読み返しておく。 【事後学習】2 時間 管理会計の役立ちについて参考になる文献を収集する。
第 16 回	イントロダクション③	クラス内での役割分担やスケジュールについて説明する。 【事前学習】2 時間 テキストを入手し読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 管理会計の役立ちに関する研究テーマをグループで話し合うこと。
第 17 回	管理会計の基礎概念	管理会計の基礎概念に関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み、レジュメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 18 回	意思決定アプローチ	意思決定アプローチに関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み、レジュメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 19 回	管理会計の役立ちに関するプレゼンテーション③	管理会計の役立ちに関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 20 回	業績管理アプローチ	業績管理アプローチに関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間

		テキストの該当部分を読み、レジユメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 21 回	原価管理	原価管理に関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み、レジユメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 22 回	これから管理会計を学ぶ人 たちへ①	これから管理会計を学ぶ人たちに管理会計の魅力を伝える方法について話し 合う。 【事前学習】2 時間 管理会計の魅力について考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 23 回	管理会計の役立ちに関する プレゼンテーション④	管理会計の役立ちに関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 24 回	長期利益計画	長期利益計画に関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み、レジユメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 25 回	これから管理会計を学ぶ人 たちへ②	これから管理会計を学ぶ人たちに管理会計の魅力を伝える方法について話し 合う。 【事前学習】2 時間 管理会計の魅力について考える。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 26 回	設備投資計画	設備投資計画に関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み、レジユメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 27 回	管理会計の役立ちに関する 一年間の研究成果発表①	一年間の研究成果に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 28 回	管理会計の役立ちに関する 一年間の研究成果発表②	一年間の研究成果に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 29 回	管理会計の役立ちに関する 一年間の研究成果発表③	一年間の研究成果に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 30 回	後期のまとめ	経営戦略，利益計画，意思決定について話し合う。 【事前学習】2 時間

		後期に使用したテキストを読み返しておく。 【事後学習】2 時間 管理会計の役立ちについて参考になる文献を収集する。
--	--	--

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	60%	40%	100%
評価の特記事項					
その他はレジュメやプレゼンテーションによる評価とする。					

テキスト
尾畑裕・挽文子編著『日商 原価計算初級 テキスト』中央経済社，2018 年，1,300 円（税抜）。 谷武幸『エッセンシャル管理会計（第 3 版）』中央経済社，2013 年，2,800 円（税抜）。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
月曜日 16:20～18:00。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
レジュメの提出やプレゼンテーションが評価対象になりますが，何よりも重要なのはゼミ活動への積極的な参加です。無断欠席やマナー違反は退ゼミの対象とします。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	47
担当教員	古川 裕康	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本演習では以下の能力に関する基礎的な部分を身につけることを目指します。 1. 世界の現状を理解し、説明することができる。 2. 論理的・批判的に物事を思考することができる。 3. 問題の所在を発見し、各人なりの解決策を提示することができる。 4. 世の中に遍在する未解決の課題解決や、自らの新しい能力開発について積極的に挑戦することができる。 5. 受講生や指導教員との間で円滑なコミュニケーションを取り、建設的に議論ができる。 6. リーダーシップとは何かを理解し、協働しながらチームで成果を出すことができる。 対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本演習では、グローバル・マーケティングについて専門的に学びます。またこの専門知識を学習しながら、各人の挑戦力、説得力も養成します。グローバル・マーケティングに関するケースやテキストを用いながら専門知識の基礎的な部分を学習するだけでなく、研究活動を通して各自の理解を深めてもらいます。研究活動は「今までに無いものを考える」事の連続となります。ただしこれを考えるためには、これまでに実施されてきた数々の最新研究とその課題を徹底的に理解しておく必要があります。研究活動を通して、受講生は社会に貢献するだけでなく、自身

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	半期のスケジュールと準備の必要な部分の確認。 【事前学習】2 時間 受講前に指定された図書を再度読み、内容を改めて復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 提示された論文を読み、疑問点・批判点について挙げておくこと。
第 2 回	Design Thinking 1	Design Thinking とは何か、そのベースとなる考え方について講義する。 【事前学習】2 時間 指定された論文を再度読み、内容を改めて復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 提示された論文を読み、疑問点・批判点について挙げておくこと。
第 3 回	Design Thinking 2	Design Thinking における Empathize の重要性について学習する。 【事前学習】2 時間 前週に説明した Design Thinking の基礎的な考え方について、内容を改めて復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で出てきたワークを進めておくこと。
第 4 回	Design Thinking 3	Design Thinking における Define の重要性について学習する。 【事前学習】2 時間 前週に説明した Design Thinking の基礎的な考え方について、内容を改めて復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で出てきたワークを進めておくこと。
第 5 回	Design Thinking 4	Design Thinking における Ideate の重要性について学習する。 【事前学習】2 時間 前週に説明した Design Thinking の基礎的な考え方について、内容を改めて復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で出てきたワークを進めておくこと。
第 6 回	Design Thinking 5	Design Thinking における prototype の重要性について学習する。 【事前学習】2 時間 前週に説明した Design Thinking の基礎的な考え方について、内容を改めて復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で出てきたワークを進めておくこと。
第 7 回	Design Thinking 6	Design Thinking における test の重要性について学習する。 【事前学習】2 時間 前週に説明した Design Thinking の基礎的な考え方について、内容を改めて復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で出てきたワークを進めておくこと。
第 8 回	Design Thinking 7	Design Thinking の一連のプロセスを学習する。 【事前学習】2 時間 前週に説明した Design Thinking の基礎的な考え方について、内容を改めて復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で出てきたワークを進めておくこと。
第 9 回	Design Thinking 8	ワールドカフェの手法を利用しながら各グループのアイデアを深め、最終的に新製品を開発する。 【事前学習】2 時間

		前週に説明した Design Thinking の基礎的な考え方について、内容を改めて復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で出てきたワークを進めておくこと。
第 10 回	基礎資料研鑽 1	グローバル・マーケティング論に関する複数の基礎資料について研鑽し、受講生間で疑問点を共有、批判点を挙げながら議論する。 【事前学習】2 時間 基礎資料を読み、疑問点、批判点をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 11 回	基礎資料研鑽 2	グローバル・マーケティング論に関する複数の基礎資料について研鑽し、受講生間で疑問点を共有、批判点を挙げながら議論する。 【事前学習】2 時間 基礎資料を読み、疑問点、批判点をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 12 回	基礎資料研鑽 3	グローバル・マーケティング論に関する複数の基礎資料について研鑽し、受講生間で疑問点を共有、批判点を挙げながら議論する。 【事前学習】2 時間 基礎資料を読み、疑問点、批判点をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 13 回	基礎資料研鑽 4	グローバル・マーケティング論に関する複数の基礎資料について研鑽し、受講生間で疑問点を共有、批判点を挙げながら議論する。 【事前学習】2 時間 基礎資料を読み、疑問点、批判点をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 14 回	基礎資料研鑽 5	グローバル・マーケティング論に関する複数の基礎資料について研鑽し、受講生間で疑問点を共有、批判点を挙げながら議論する。 【事前学習】2 時間 基礎資料を読み、疑問点、批判点をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 15 回	基礎資料研鑽 6	グローバル・マーケティング論に関する複数の基礎資料について研鑽し、受講生間で疑問点を共有、批判点を挙げながら議論する。 【事前学習】2 時間 基礎資料を読み、疑問点、批判点をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 16 回	前期の復習	前期の実施内容について改めて復習し、内容をリマインドする。 【事前学習】2 時間 前期で取り扱った内容について総復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 研究の進行スケジュールについて作成、検討すること。
第 17 回	研究進捗報告 1	研究の進捗報告を実施する。

		【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 18 回	研究進捗報告 2	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 19 回	テキスト輪読 1	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に、基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 20 回	テキスト輪読 2	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に、基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 21 回	テキスト輪読 3	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に、基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 22 回	テキスト輪読 4	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に、基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 23 回	テキスト輪読 5	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に、基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 24 回	研究進捗報告 3	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 25 回	研究進捗報告 4	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。

		【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 26 回	テキスト輪読 6	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に、基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 27 回	テキスト輪読 7	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に、基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 28 回	テキスト輪読 8	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に、基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 29 回	研究進捗報告 5	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 30 回	研究進捗報告 6	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					
定められた期限までに、課題を全て提出すること。					

テキスト
受講者の関心によって検討・決定する。
参考文献
講義時に指示する。
オフィスアワー
水曜日 15:00～16:00。事前に授業後またはメールでアポイントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
積極的な「挑戦」があなたの可能性を広げます。古川ゼミでは、ゼミ活動やプライベート問わず、様々なことに挑戦してもらいます。挑戦には失敗がつきものですが、その失敗はあなたの糧になるでしょう。それ故、ゼミ生には多くの失敗経験をしてもらいます。その一方で、古川ゼミでは挑戦しなかった行為は悪とみなします。失敗は成功するまで繰り返すことです。つまり継続性が大事なのです。一度決めたことは最後までやり切ること（決して投げ出さないこと）。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	48
担当教員	古庄 修	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 2	単位区分	選
講義室	3073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、企業の情報開示（ディスクロージャー）をめぐる様々な現代的課題を取り上げ、財務会計論の観点から考察します。 前期は、日本のディスクロージャー制度の全体像とその到達点について説明できるようになることを目標とします。また、後期は会計とファイナンスの基本を理解できるようになることを目指します。 対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
私が担当する専門研究は、「財務報告論」の枠組みの中で、いま注目されている ESG（環境・社会・ガバナンス）情報や、SDGs（持続可能な開発目標）に係る企業の取り組みと関連づけた「統合報告」の展開まで視野に入れた研究をすべての学年に共通して行います。 財務会計の視点から現代企業の経営の在り方を結び付けた議論を行うために、2 年生を対象とした本講義においては、日本のディスクロージャー制度の現在について解説するとともに、税理士試験や公認会計士試験にも関連のある会計とファイナンスの関係について、その基本的な知識を修得

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容，進め方，評価方法および履修上の注意点について説明します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 2 回	財務報告の概念的・制度的枠組みの全体像（1）	財務諸表を中核とした財務報告の概念的・制度的枠組みの全体像を解説します。併せて財務諸表の作成・開示プロセスを簿記の手続きや会計基準の意義に関連づけて説明します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 3 回	財務報告の概念的・制度的枠組みの全体像（2）	強制開示としての金融商品取引法と会社法，適時開示としての決算短信等の開示規定を解説するとともに，日本における様々なディスクロージャーの方法と各媒体の意義について議論します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 4 回	財務諸表と統合報告（1）	財務諸表と統合報告の関係を理解するために，非財務情報を包含する「統合財務報告制度」の枠組みについて解説し，企業報告をめぐる新たな潮流について知識を高めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 5 回	財務諸表と統合報告（2）	国際統合報告評議会（IIRC）の設立の背景と「国際統合報告フレームワーク」の公表経緯について学び，統合報告の全体像を考察します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 6 回	財務諸表と統合報告（3）	「国際統合報告フレームワーク」の特徴や構成要素等について解説し，特にその基礎概念を考察します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間

		授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第7回	財務諸表と統合報告 (4)	「国際統合報告フレームワーク」における指導原則と内容要素について解説します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第8回	財務諸表と統合報告 (5)	「国際統合報告フレームワーク」公表後の展開について、今般の当該フレームワークの改訂のポイントおよび米国サステナビリティ会計基準審議会（SASB）との統合等、最新の動向を解説します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第9回	日本のディスクロージャー制度（1）	いわゆるアベノミクス成長戦略の一環として推進されたきたコーポレート・ガバナンス改革に着目し、「コーポレート・ガバナンスコード」とディスクロージャー制度との関係について解説します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第10回	日本のディスクロージャー制度（2）	インベストメント・チェーンを念頭に、今般の「コーポレート・ガバナンスコード」の改訂とディスクロージャー制度の拡充との関係について解説します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第11回	日本のディスクロージャー制度（3）	インベストメント・チェーンを念頭に、「スチュワードシップコード」とディスクロージャー制度の関係について解説し、財務諸表の利用者としての年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）における統合報告書の利用と評価について考察します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第12回	日本のディスクロージャー制度（4）	企業内容等の開示に関する内閣府令の改正を踏まえて、有価証券報告書における財務情報および記述情報の充実について解説し、公認会計士等の会計プロフェッションの役割について検討します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 13 回	ディスクロージャー制度の新潮流（1）	環境・社会・ガバナンス（ESG）投資の広がりを踏まえた企業のディスクロージャーの変容について考察します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 14 回	ディスクロージャー制度の新潮流（2）	持続可能な開発目標（SDGs）の意義や背景について解説し、その取り組みの広がりや企業のディスクロージャーの変容について考察します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 15 回	前期の総括	各授業において提出した要約を踏まえて、前期に学んだことを振り返るとともに、補足的・追加的な解説を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、指定した期日までに提出すること。
第 16 回	前期の復習と後期の授業内容の概説	前期の講義内容を改めて振り返るとともに、後期は、新たに会計とファイナンスの領域についてその基本を学習するため、そのガイダンスとして会計学の体系とファイナンスとの関係について概説します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 17 回	会計の領域（1）簿記の手続きと財務諸表の基礎概念	管理会計と財務会計、制度会計の枠組み、および継続企業の公準、発生主義会計等の基礎概念について解説し、討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 18 回	会計の領域（2）財務 3 表の読み方	財務 3 表の相互関係およびその読み方について解説し、討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。

第 19 回	会計の領域（３）継続企業（GC）の前提と経営分析	GC 注記および GC 監査を基礎として、有価証券報告書におけるリスク情報と連携した経営分析の方法について解説し、討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 20 回	会計の領域（４）キャッシュ・フロー計算書の分析	キャッシュ・フロー計算書の意義と情報内容およびその分析方法について解説し、討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 21 回	経営分析の領域（１）経営分析のための指標	経営分析のための 4 指標として、財務レバレッジ、総資本回転率、当期純利益率、自己資本利益率（ROE）を取り上げ、事例と討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 22 回	経営分析の領域（２）KPI マネジメント	ROE の分解式および KPI に基づくマネジメントについて解説し、事例と討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 23 回	ファイナンスの領域（１）	コーポレート・ファイナンスとインベストメントに大別されるファイナンスの領域の全体を概説し解説し、討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 24 回	ファイナンスの領域（２）	貨幣の時間価値、将来キャッシュ・フローの現在価値の算定および投資の採算性に係る評価方法について解説し、討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 25 回	ファイナンスの領域（３）	企業価値の向上とフリー・キャッシュ・フローの関係、利益の増やし方およびキャッシュ・コンバージョンサイクルについて解説し、討議を通じて理解を深めます。

		【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 26 回	ファイナンスの領域（4）	ROIC と ROIC ツリーおよび ROIC 分析に基づく収益性と生産性の向上について解説し、討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 27 回	ファイナンスの領域（5）	ファイナンス論において用いる指標を整理するとともに、資本コストについて解説し、討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 28 回	ファイナンスの領域（6）	のれんの価値、収益還元法、株価収益率（PER）について解説し、討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 29 回	ファイナンスの領域（7）	キャッシュ・フローを重視した企業価値の算定や EBITDA 倍率について解説し、討議を通じて理解を深めます。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、次回授業時までに提出すること。
第 30 回	後期の総括	各授業において提出した要約を踏まえて、後期に学んだことを振り返るとともに、補足的・追加的な解説を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、指定した期日までに提出すること。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	25%	0%	50%	25%	100%
評価の特記事項					
出席点（授業への参画度）を基礎として、毎回の授業の要約（25%）およびプレゼンテーション（25%）を総合的に評価します。					

テキスト
開講時に指示します。
参考文献
開講時に指示します。
オフィスアワー
月曜日 12 時 15 分から 12 時 55 分までとします。事前のアポイントを要します。 なお、メールアドレスは初回授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受講生にはあまり負担がかからないように配慮しつつ、プレゼンテーションおよび質疑応答の準備を行ってもらいます。 言うまでもありませんが、出席点（授業への参画度）にも関係しますので、無断欠席がないようにお願いします。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	49
担当教員	松倉 力也	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 経済や社会において、人口が影響する事象を理解し、説明できる。 2. 私たちの身近にあるさまざまな問題を人口と経済学的な視点から捉えることで、新聞やニュースなどの社会・経済問題を理解できる。 3. 人口は将来予測ができる変数であるので、経済や社会が今後どうなるかと予測し、説明できる。 対応DP及びCP：5、6、7、8
授業概要（教育目的）
本講義では、私たちの身近にある社会を人口と経済を本格的に学修する準備として、基本的な統計学、経済学について解説します。また、人口は就職、結婚、子育て、教育、医療・福祉、交通、観光など、私たちの身近な問題に密接に関係していますので、人口と経済・社会の関係をどのように科学的な視点から分析するかを理解し、実際にフィールドでデータを収集し、それを加工し、理論的に検証という実証分析の基礎を身につけてもらいます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。身近な問題を人口と経済的な視点から捉えてみよう。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 2 回	人口変数の基本的な処理の習得 1	人口に関するマクロレベルのデータソースの紹介やアクセス方法について説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 3 回	人口変数の基本的な処理の習得 2	人口に関する調査などのミクロレベルのデータソースの紹介やアクセス方法について説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 4 回	人口変数の基本的な処理の習得 3	人口統計学の紹介や専門用語を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 5 回	人口変数の基本的な処理の習得 4	人口統計学の紹介や専門用語を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 6 回	人口変数の基本的な処理の習得 5	人口統計学の紹介や専門用語を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 7 回	データ処理の基本的な処理の習得 1	統計学および計量経済学の基礎を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 8 回	データ処理の基本的な処理の習得 2	統計学および計量経済学の基礎を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 9 回	データ処理の基本的な処理の習得 3	統計学および計量経済学の基礎を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 10 回	データ処理の基本的な処理の習得 4	統計学および計量経済学の基礎を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 11 回	データ処理の基本的な処理の習得 5	統計学および計量経済学の基礎を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 12 回	マイクロデータ分析の基本的な処理の習得 1	STATA などの統計ソフトを使用してマイクロデータ分析の基礎を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 13 回	マイクロデータ分析の基本的な処理の習得 2	STATA などの統計ソフトを使用してマイクロデータ分析の基礎を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 14 回	マイクロデータ分析の基本的な処理の習得 3	STATA などの統計ソフトを使用してマイクロデータ分析の基礎を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 15 回	マイクロデータ分析の基本的な処理の習得 4	STATA などの統計ソフトを使用してマイクロデータ分析の基礎を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 16 回	マイクロデータ分析の基本的な処理の習得 5	STATA などの統計ソフトを使用してマイクロデータ分析の基礎を説明する。 実際に Hands on という形で PC を使用して説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきた計算課題を実行すること。
第 17 回	グループワーク 1 研究課題の研究計画	これまでに学んだデータの分析方法を実践で行う。 グループに分かれて研究課題を設定し、研究計画をまとめる。

		研究テーマとその仮説を検証するデータの集計方法、分析方法などを計画する。 研究計画はこちらで、レビューして、研究内容や方法論についてコメントする。 【事前学習】2 時間 事前にある程度の問題を自分たちでいくつか挙げておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時間で計画が完成できないので、各グループで集合して、計画を完成させること
第 18 回	グループワーク 2 研究計画の発表	完成した研究計画の発表を行う。 各グループに分かれて研究課題を選択した背景、目的、検定する仮説、分析方法、データの収集方法を発表する。 【事前学習】2 時間 事前に発表資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表からのフィードバックを考慮して、新たな研究計画をリバイスすること。
第 19 回	グループワーク 3 グループ研究	学生は研究計画から各自の作業およびグループ内で討議を行う。 実際の作業に関して起きた問題や、分析方法などについては子サルタントをする。 【事前学習】2 時間 事前に研究資料の収集や分析をすること。 【事後学習】2 時間 グループ内で研究の進捗状況を理解し、さらに研究資料の収集およびデータの分析を行う。
第 20 回	グループワーク 4 グループ研究	学生は研究計画から各自の作業およびグループ内で討議を行う。 実際の作業に関して起きた問題や、分析方法などについてはコンサルタントをする。 【事前学習】2 時間 事前に研究資料の収集や分析をすること。 【事後学習】2 時間 グループ内で研究の進捗状況を理解し、さらに研究資料の収集およびデータの分析を行う。
第 21 回	グループワーク 5 グループ研究	学生は研究計画から各自の作業およびグループ内で討議を行い、研究結果を発表するための資料を作成する。 実際の作業に関して起きた問題や、分析方法などについてはコンサルタントを行う。 【事前学習】2 時間 事前に研究資料の収集や分析をすること。 【事後学習】2 時間 グループ内で研究の進捗状況を理解し、さらに研究資料の収集およびデータの分析や研究発表用の資料を作成する。
第 22 回	グループワーク 6 グループ研究結果発表	各研究グループによる研究発表を行う。 【事前学習】2 時間 事前に発表用資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表へのコメントを加味し、研究レポートの作成を行う。
第 23 回	グループワーク 7 グループ研究結果発表	各研究グループによる研究発表を行う。 【事前学習】2 時間 事前に発表用資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表へのコメントを加味し、研究レポートの作成を行う。
第 24 回	個人研究 1 研究課題の選定	個人で研究課題を設定し、研究計画をまとめる。 研究テーマとその仮説を検証するデータの集計方法、分析方法などを計画す

		る。 実際にデータをフィールドで集計するための計画を具体的な時刻可能性に関してコメントする。 【事前学習】2 時間 事前にある程度の問題を自分でいくつか挙げておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時間で計画が完成できないので、計画を完成させること
第 25 回	個人研究 2 研究課題の発表 1	完成した研究計画の発表を行う。 研究課題を選択した背景、目的、検定する仮説、分析方法、データの収集方法を発表する。 【事前学習】2 時間 事前に発表資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表からのフィードバックを考慮して、新たな研究計画をリバイスすること。
第 26 回	個人研究 2 研究課題の発表 2	完成した研究計画の発表を行う。 研究課題を選択した背景、目的、検定する仮説、分析方法、データの収集方法を発表する。 【事前学習】2 時間 事前に発表資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表からのフィードバックを考慮して、新たな研究計画をリバイスすること。
第 27 回	個人研究 3 個人研究	学生は研究計画から各自の作業およびを行う。 実際の作業に関して起きた問題や、分析方法などについてはコンサルタントとを行う。 【事前学習】2 時間 事前に研究資料の収集や分析をすること。 【事後学習】2 時間 グループ内で研究の進捗状況を理解し、さらに研究資料の収集およびデータの分析を行う。
第 28 回	個人研究 4 個人研究発表 1	個人の研究成果の発表を行う。 【事前学習】2 時間 事前に発表用資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表へのコメントを加味し、研究レポートの作成を行う。
第 29 回	個人研究 5 個人研究発表 2	個人の研究成果の発表を行う。 【事前学習】2 時間 事前に発表用資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表へのコメントを加味し、研究レポートの作成を行う。
第 30 回	個人研究の総括	個人の研究成果についてのコメントおよび、年間を通して講義の振り返りと、来年以降の講義の説明および、春休みにすべき課題について各個人別に説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をチェックしておくこと。 【事後学習】2 時間 総括のコメントを理解し、来年度に向けての準備や春の課題についての予定をたてておくこと。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30	0%	50	20	100%
評価の特記事項					
講義の参加し、自分の考えを積極的に述べていただきたい。その講義参画度は、講義に出席するだけでなく、どれだけ自分の意見を述べるかで評価する。講義に出席しても何も話さなければ、欠席と同等である。					

テキスト
テキストに関しては、講義前に用意して皆に配布または、連らくする。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
火曜日 15:00～16:00。事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
毎週参画してください。何かあるときは事前に連絡をすること。 何か分からないことがあれば、積極的に質問することも身に付けてください。 あなたたちの専門科目になります。自分が興味を持ったことに躊躇しないように、どんどん知的欲求を広げてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	50
担当教員	松本 純	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 学術的文献を講読することで、豊かな教養・知識を習得する。 2. 複数の学術的文献を読みこなすことで、分析力・批判的思考力を習得する。 3. とりわけ歴史的文献を講読することで、経済・経営の歴史的文脈を解き明かし、現在の諸問題の解決策等を見出す。 対応 DP および CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義は、経営史を対象とします。諸外国そして日本の経営を歴史的に理解して自身の知恵とするには、インターネットの情報に頼るより、経営史に関する専門書を深く読むことが必要となります。普段触れることのない経営史関連の学術的文献を読み込むことによって、経営史の専門知識を身につけ、歴史的価値観を育んでもらいます。 具体的には、複数（講義前半：1 冊，講義後半：1～2 冊）の文献を講読して、その内容を個人で報告してもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 シラバスを熟読し，講義の概要について把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を十分理解し，授業中に紹介したテキスト（文献）を手に入れておくこと。
第 2 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	文献の講読	指指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。

		【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	前半の総括	指定した文献全体の内容を把握し、そこからどのような歴史的文脈を習得したか、まとめる。 【事前学習】2 時間 前半に自分が報告した全ての内容について、復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間

		教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	後半の総括	指定した文献全体の内容を把握し、そこからどのような歴史的文脈を習得したか、まとめる。 【事前学習】2 時間 後半に自分が報告した全ての内容について、復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
授業内で提示した課題は、すべて提出すること。提出物の完成度・授業への参画度などにより、総合評価する。					

テキスト
橘川武郎『ゼロからわかる日本経営史』日経文庫，2018 年，950 円（税抜）。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
受講生との相談により，日時を決める。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受講生にテキスト（文献）の購入を義務づける。しかるべき理由もなく課題の提出などを怠る受講生については，単位を与えないこととする。歴史的文献の講読を続ける授業であるため，なるべく普段から歴史に関心を持つようにすること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	51
担当教員	丸田 利昌	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3112	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 英語で書かれた経済学・ゲーム理論の文献を読めるようになる。 2. 英語で書かれた経済学・ゲーム理論の文献をまとめ、その内容を他者に説明できるようになる。特に、論理的な説明を与えることができるようになることを目指す。ここで「説明」とは、聴衆の前に登壇して説明する、いわゆる「プレゼンテーション」である。 3. 他者のプレゼンテーションをよく理解し、その上で適切な質問・コメントをできるようになる。 対応 DP 及び CP:5,6,7,8
授業概要（教育目的）
英語で書かれた経済学・ゲーム理論の文献を厳しく読み込みます。「厳しく」とは、経済学・ゲーム理論の論理においても、英文の読解においても、「流すことなく」読むということです。各学生は、割当てられた部分をプレゼンテーションファイル（ex., パワーポイント）にまとめ、報告します。聴衆となる学生は、できる限り多くの質問を発するよう努めます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義内容・形式・評価などについて、教員による説明。その後、教科書序章を教員が講義する。 【事前学習】教科書序章を通読しよう。（2 時間） 【事後学習】教科書序章を通読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認しよう。（2 時間）
第 2 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 3 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 4 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 5 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 6 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 7 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 8 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 9 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（2 時間）報告

[illegible]

[illegible]

		【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 27 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 28 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 29 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 30 回	まとめ	輪読の結果得られた事柄をまとめる。皆で議論する。 【事前学習】どの主題が特に興味深いものであったかを振り返る。また、自分の担当箇所については、その内容を復習する。（２時間） 【事後学習】卒業論文へ向けて、ゲーム理論をどのような形で使用するかを考察する。（２時間）

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
3 回連続, または通算 5 回の無断欠席があった場合は, 不合格。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
Game Theory, 2nd Edition, Bonnano, G., http://faculty.econ.ucdavis.edu/faculty/bonanno/GT_Book.html
オフィスアワー
火曜 16 : 30 ~ 17 : 30。または事前のアポイントメントの上, 随時。
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	52
担当教員	三井 泉	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 「経営学」の基礎的概念を学び、それを実践的に活用するためのスキルを学習する。 2. 専門的テキストの読み方、整理の仕方、報告資料の作成について学習する。 3. 上記に基づいて、全員の前でプレゼンテーションを行い、ディスカッションするスキルを学習する。 4. グループワークによって、特定課題の資料検索収集やフィールドリサーチのやり方を学び、実際にプロジェクトを体験する。 5. レポートの書き方を学び、実際に特定課題についてのレポート作成し提出する。 対応 DP および CP:5,6,7,8
授業概要（教育目的）
1. 経営学のイントロダクションとして、グループワークでビジネスプランの作成とプレゼンテーション、レポート作成を行う。 2. 上記から得られた経験と知見に基づき、経営学の基本的考え方を学んでもらう。 3. 上記をさらに深めるために、実際の企業のケーススタディを行い、経営学への関心をさらに深めてもらう。 4. 初歩的なテキストの読み方を学び、それを各自がまとめて、ゼミ全員の前で報告し、ディスカッションをしてもらう。 5. 徐々に専門性の高いテキストを輪読し、経営学の基礎的な知識を高め、ケース分析等に活用できるよう学ん

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション 「経営学」とは学ぶとは？ 「事業（ビジネス）」と「経営（マネジメント）」について	自己紹介 「事業」「企業」「経営」という捉え方を学び、経営学を学ぶ意味についてディスカッションする。事後学習 2 時間：経営学を学ぶ意義についてまとめる。
第 2 回	グループワークについて プロジェクト「ビジネスプランの作成」について	グループワークを行う意味について討論し、実際にグループを作成する。 プロジェクト「ビジネスプランの作成」の説明と質問 事前学習 2 時間：身の回りのビジネスについて調べる 事後学習 2 時間：ビジネスプランとは何かについての復習
第 3 回	ビジネスプランの作成① 「ビジネスアイデア」の創造	「ビジネスアイデア」の創造についての説明 グループに分かれて、ディスカッションを行い、アイデアを出し合う。 事前学習 2 時間：ビジネスアイデアについて自分で考えてみる。 事後学習 2 時間：話し合った内容をもう一度整理して、自分の考えをまとめる。
第 4 回	ビジネスプランの作成② 「ビジネスコンセプト」の確立	「ビジネスコンセプト」についての説明 グループに分かれて、ディスカッションを行い、コンセプトを作成する。 事前学習 2 時間：ビジネスコンセプトについての予習。 事後学習 2 時間：皆で話し合ったビジネスコンセプトを振り返る。
第 5 回	ビジネスプランの作成③ 「ビジネスモデル」の構築	「ビジネスモデル」についての説明 グループに分かれて、ディスカッションを行い、ビジネスモデルを作成する。 事前学習 2 時間：ビジネスモデルについて、自分自身で意見をまとめる。 事後学習 2 時間：話し合った内容を振り返り、モデルの完成度を確認する。
第 6 回	ビジネスプランの作成④ 「ビジネスプラン」の作成	「ビジネスプラン」についての説明 グループに分かれて、ディスカッションを行い、ビジネスプラン作成する。 事前学習 2 時間：前回までの内容を整理する。 事後学習 2 時間：話し合った内容を整理し、プランの完成度をチェックする。
第 7 回	ビジネスプランの作成⑤ ビジネスプランのプレゼンテーション方法とツール	ビジネスプランのプレゼンテーション方法についての説明 グループに分かれて、プレゼンテーションの構想を練り、PPT などを作成する。 事前学習 2 時間：プレゼンテーションの構成を考えておく。 事後学習 2 時間：話し合った内容を再度確認し、完成度を高める。
第 8 回	ビジネスプランのプレゼンテーション プレゼンテーションとディスカッション	グループごとに全員の前でプレゼンを行い、質疑応答を行う。 全体が終わった段階で、全体ディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：プレゼンの内容確認をし、リハーサルを行う。 事後学習 2 時間：行ったプレゼンテーションの内容を自己評価する。
第 9 回	ビジネスプランのレポート作成 ビジネスプラン作成の全体総括	ビジネスプランのレポート作成の方法を説明 グループワーク全体の総括と総合ディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ビジネスプランをレポートにまとめるための構想を練る。 事後学習 2 時間：話し合った内容をプランに反映させる。
第 10 回	「ビジネス」とは何か① グループワークから学んだこと	グループワーク「ビジネスプラン作成」の全体を通じて学んだことと、「ビジネスとは何か」ということについて各自でまとめ、全体でディスカッションする。 事前学習 2 時間：ビジネスとは何かについて、自分自身の意見をまとめてみる。 事後学習 2 時間：話し合った内容を振り返り、自分の意見を整理する。
第 11 回	「ビジネス」とは何か② ケーススタディ	実際の企業の「事業創造」のケーススタディを通じて、「ビジネスとは何か」について学び、ディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ケースを熟読し、疑問点などを解決しておく。 事後学習 2 時間：ディスカッションの内容を踏まえて再考する。
第 12 回	「ビジネス」とは何か③ 概念枠組（理論的フレーム	「事業」「企業」「経営」の観点についての理論的フレームワークを学び、各自、そのフレームワークで、自分たちが制作したビジネスモデルを分析する。

	ワーク) の学習	事前学習 2 時間：理論的枠組みについての予習をする。 事後学習 2 時間：分析結果についての再考を行う。
第 13 回	「ビジネス」とは何か④ 卒業生起業家の講演とディスカッション（可能であれば）	ゼミ卒業生起業家を教室に招き、自分自身のビジネス体験を話していただいた後で、受講生とディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：自分たちのビジネスプランと講義の内容を整理しておく。 事後学習 2 時間：講演の内容を整理し、重要点をまとめる。
第 14 回	「ビジネス」とは何か⑤ 全体総括	グループワーク、ケーススタディ、概念学習、起業家講演などの全体を通じて、「ビジネスとは何か」という点から学んだことをディスカッションし、各自レポートに作成する。 事前学習 2 時間：前期プロジェクト、講演などの内容を整理する。 事後学習 2 時間：「ビジネスとは何か」について、自分の考えをまとめる。
第 15 回	前期の総括と夏休みの課題	前期のゼミ全体を振り返り、各自が学んだことと疑問点をまとめた上で、相互にディスカッションする。そこから、夏休みの各自の学修課題を設定する。 事前学習 2 時間：前期ゼミの全体を振り返り、学習の欠落点を補う。 事後学習 2 時間：夏休みの課題に向けた資料収集などの計画を立てる。
第 16 回	夏休みの課題の講評と後期の説明 テキストとその進め方の説明	夏休みの課題（夏合宿の発表）についての講評と、前期の説明を行う。 後期テキスト：P.F.ドラッカー『エッセンシャル版 マネジメントー基本と原則』の説明と質疑応答。 事前学習 2 時間：夏休みの課題について振り返る。 事後学習 2 時間：ドラッカーについて調べておく。
第 17 回	テキスト第 1 章「企業の成果」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 1 章の内容を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 1 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 1 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 18 回	第 1 章のディスカッション	第 1 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 19 回	第 2 章「公的機関の成果」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 2 章の内容を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 2 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 2 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 20 回	第 2 章のディスカッション	第 2 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 21 回	第 3 章「仕事と人間」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 3 章の内容を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 3 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 3 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 22 回	第 3 章のディスカッション	第 3 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 23 回	第 4 章「社会的責任」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 4 章の内容を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 4 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 4 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 24 回	第 4 章のディスカッション	第 4 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。

第 25 回	第 5 章「マネジャー」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 5 章の内容を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 5 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 5 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 26 回	第 5 章のディスカッション	第 5 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 27 回	第 6 章「マネジメントの技能」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 6 章の内容を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 6 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 6 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 28 回	第 6 章のディスカッション	第 6 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 29 回	第 7 章「マネジメントの組織」	テキスト第 7 章の内容を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 7 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 7 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 30 回	第 7 章のディスカッション 第 1 章～第 7 章のまとめディスカッション	第 7 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、全体でディスカッションを行う。その後、1～7 章のディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	60%	10%	100%
評価の特記事項					
経営学（マネジメント）のゼミなので、ゼミ運営（サブゼミ、合宿、大会参加等を含む）への参加状況も評価する。					

テキスト
P.F.ドラッカー（上田惇生編訳）『エッセンシャル版 マネジメントー基本と原則ー』ダイヤモンド社，2001 年。 その他、適宜指示する。
参考文献
適宜指示する。
オフィスアワー
基本的に、ゼミ開講日の 18：00 以降。事前予約の上で実施。それ以外の日程も調整可能。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミは、教員から教えられるのみならず、個人個人の学習や積極的な参加により、その成果に大きな違いが生じる。 従って、全員が毎回の課題遂行のみならず、事前学習と事後学習をしっかりと行なった上で、参加することが望まれる。 また、毎日企業や経営に関する情報に敏感になってほしいと願っている。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	53
担当教員	三井 秀俊	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	7073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 株式・債券・外国為替相場等のリスク資産価格評価の分析手法を理解し、説明できる。 2. 金融データ分析で利用される統計・計量分析手法を理解し、説明できる。 3. 統計学や計量経済学で学んだ計量分析手法が、どのように金融分析に応用されるかを理解し、かつ実践できる。 対応 DP 及び CP5,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では、株式、債券、為替レート、投資信託、金融派生商品（デリバティブズ）などの資産価格に関して理論・実証研究を行ないます。資産価格の理論・実証研究は、金融業界（銀行・証券・保険・不動産）の実務家や個人投資家の間でも不可欠なものとなっています。そのため、現実の資産価格がどのように決まるかを、実際のデータを用いて検証できるように研究を進めていきます。また、資産価格分析のみならず、理論経済学、統計・計量経済学等についても理解が深まるように研究を進めていきます。同時に、現実の株式投資を実感してもらうため、株

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	チャート入門	チャートについての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 2 回	移動平均線入門	移動平均線についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 3 回	ローソク足入門・日足、週足・月足	ローソク足についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 4 回	株価の節目	株価の節目についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 5 回	株価の上昇・下降期間, 日柄	株価の上昇・下降期間, 日柄についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 6 回	トレンド	トレンドについての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 7 回	トレンド転換のシグナル	トレンド転換のシグナルについての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。

第 8 回	ゴールデンクロスとデッドクロス	ゴールデンクロスとデッドクロスについての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 9 回	移動平均線の性質とパーフェクト・オーダー	移動平均線の性質とパーフェクト・オーダーについての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 10 回	満月・新月と株価の関係	満月・新月と株価の関係についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 11 回	MACD と RSI	MACD と RSI についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 12 回	銘柄選択	銘柄選択についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 13 回	現物取引と先物取引の関係	現物取引と先物取引の関係についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 14 回	株価変動の季節性	株価変動の季節性についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 15 回	投資戦略	投資戦略についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 16 回	株式ゲーム (1)	株式ゲームの内容について理解する。 株式ゲームのルール・手順について説明する。 投資銘柄の選択を行なう。 【事前学習】2 時間 手引の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 手引きの該当箇所と資料を基にして授業内容を要約する。
第 17 回	グループワークの実践 (1)	投資手法・投資戦略についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資手法・投資戦略について調べておく。 【事後学習】2 時間 グループワークの内容ををよく復習し、まとめる。
第 18 回	グループワークの実践 (2)	投資手法・投資戦略についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資手法・投資戦略について調べておく。 【事後学習】2 時間 グループワークの内容ををよく復習し、まとめる。
第 19 回	株式ゲーム (2)	株式ゲームの上手いっている要因と失敗している要因についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資対象銘柄の株価の動きとポートフォリオ評価の確認を行なう。 【事後学習】2 時間 改善点と今後の投資戦略の考えをまとめる。
第 20 回	グループワークの実践 (3)	投資手法・投資戦略についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資手法・投資戦略について調べておく。 【事後学習】2 時間 グループワークの内容ををよく復習し、まとめる。
第 21 回	グループワークの実践 (4)	投資手法・投資戦略についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資手法・投資戦略について調べておく。 【事後学習】2 時間 グループワークの内容ををよく復習し、まとめる。
第 22 回	株式ゲーム (3)	株式ゲームの上手いっている要因と失敗している要因についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資対象銘柄の株価の動きとポートフォリオ評価の確認を行なう。 【事後学習】2 時間 改善点と今後の投資戦略の考えをまとめる。
第 23 回	データ分析 (1)	基本的な統計分析に関して復習を行なう。また、金融データ分析への応用に関して解説を行なう。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、予めよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出了きたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 24 回	データ分析 (2)	最小 2 乗法 (単回帰分析) に関して復習を行なう。また、金融データ分析へ

		の応用に関して解説を行なう。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、予めよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出たきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 25 回	株式ゲーム (4)	株式ゲームの上手いっている要因と失敗している要因についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資対象銘柄の株価の動きとポートフォリオ評価の確認を行なう。 【事後学習】2 時間 改善点と今後の投資戦略の考えをまとめる。
第 26 回	データ分析 (3)	マーケット・モデルに関して解説を行なう。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、予めよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出たきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 27 回	データ分析 (4)	これまでのデータ分析の授業内容に関して、実際の金融データを使用して演習を行なう。 【事前学習】2 時間 データ分析(1)～データ分析(3)の授業内容を復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 各自で興味のある金融データを用いて実証分析を行なう。
第 28 回	株式ゲーム (5)	株式ゲームの上手いっている要因と失敗している要因についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資対象銘柄の株価の動きとポートフォリオ評価の確認を行なう。 【事後学習】2 時間 改善点と今後の投資戦略の考えをまとめる。
第 29 回	研究報告会 (1)	株式ゲームのパフォーマンス評価・成果についてプレゼンテーションを行なう。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーション資料を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーション資料を基にして授業内容を要約する。
第 30 回	研究報告会 (2)	データ分析の研究成果についてプレゼンテーションを行なう。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーション資料を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーション資料を基にして授業内容を要約する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
	20%		60%	20%	100%
評価の特記事項					
積極的に発言・質問をして下さい。グループ・ワークでも積極的に参加するようにして下さい。プレゼンテーションの仕方・内容も評価対象となります。					

テキスト
相場師朗『相場の赤本 チャートで騰がる株完全マスター』, 宝島社, 1500 円 + 税.
参考文献
若林公子『金融市場のための統計学』, 金融財政事情研究会, 2400 円 + 税.
山本拓・竹内明香『入門 計量経済学 – Excel による実証分析へのガイド』, 新世社, 2500 円 + 税.
オフィスアワー
火曜日, 5 限, 16 : 20 – 17:50. 事前にメールでアポイントをとること。 メールアドレスは, 授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
予習・復習を必ずすること。授業中のノートの取り方など工夫して下さい。授業中に配布する資料などは、きちんと整理して下さい。また, できる限りテキストだけでなく参考文献にも目を通すようにして下さい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	54
担当教員	南 雅一郎	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	3132	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本演習（ゼミナール）では、以下の能力を身につけることを目指します。 1 経済用語の意味を理解し、実際に起こっている経済事象を理論的に説明できることを目指します。 2 経済問題について経済学の視点から分析し、まとめることができることを目指します。 3 自身の考えを明確に提示し、その上で他の意見を尊重しつつ、建設的なディスカッションができることを目指します。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本演習（ゼミナール）では指定されたテキストを輪読し、まとめ、発表し、質疑応答並びにディスカッションを行ってもらうことで、国際経済・国際金融に関する基本的な枠組みを理解してもらうと同時に、時事的なテーマについて各学生個人またはグループに発表してもらい、質疑及びディスカッションを行ってもらうことで、現代経済社会及び国際経済システムの中で実際に起こっている事柄についての理解を深めてもらいます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「国際経済学とは何か？」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 2 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「貿易と金融」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 3 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「世界経済の外観」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 4 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「重力モデル」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 5 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「比較優位と貿易」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 6 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「リカードモデル」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 7 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「特殊要素と所得分配」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 8 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「貿易と失業」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 9 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「資源と貿易」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 10 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「HO モデルの実証的な	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間

	証拠」	授業内容を確認し、検討しておく。
第 11 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「貿易の標準モデル」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 12 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「国際的な借り入れと異時点間の貿易」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 13 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「規模の経済、外部性、生産立地」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 14 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「地域間貿易と経済地理」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 15 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「不完全競争と貿易」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 16 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「グローバル経済と多国籍企業」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 17 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「アウトソーシング」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 18 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「貿易政策のツール」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 19 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「貿易政策の実際」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 20 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「貿易政策の政治経済学」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 21 回	①経済記事の要約とディス	【事前学習】2 時間

	カッション ②テキストの輪読と質疑応答「自由貿易対保護主義」	発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 22 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「発展途上国の貿易」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 23 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「輸入代替工業化と経済発展」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 24 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「貿易政策をめぐる論争」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 25 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「グローバル化と環境問題」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 26 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「国際貿易から国際金融へ」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 27 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「国民所得計算とオープン・マクロ経済学」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 28 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「国際収支勘定」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 29 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「為替レートと対外取引」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 30 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「外国為替市場の実際」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
授業内で指示された課題についてはすべて提出すること。レポート点は担当する発表を含む。参画度点にはゼミ中のディスカッションに対する姿勢や発言等に対する評価が含まれる。					

テキスト
P.R.クルーグマン/M. オブストフェルド/M.J.メリッツ『国際経済 理論と政策（上）貿易編』丸善出版、2017 年、4000 円（税抜）
P.R.クルーグマン/M. オブストフェルド/M.J.メリッツ『国際経済 理論と政策（上）金融編』丸善出版、2017 年、5000 円（税抜）
参考文献
授業中に適時支持する。
オフィシアワー
当該授業時間の前の休み時間もしくは事前にアポイント（メール）をとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻、発表者の無断欠席は、他の学生への迷惑となるので厳禁とする。テキストの学習は論文作成の基礎となるのでしっかりと授業内で学習することはもちろん、予習・復習に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	55
担当教員	宮里 尚三	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3132	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミでは、社会保障や分配問題、社会福祉などを扱っていきます。それらの問題を深く理解し自らの思考で政策的含意を導きだし議論を行うためには、理論的思考と実証的な考察が必要となります。ここでは主に経済学的（特に公共経済学的）なアプローチから理解を深めていきます。具体的には次のような内容を予定しています。 1. 我が国の年金、医療、分配問題のおかれている現状を把握し、それらの分野の問題点を考察します。 2. 世代間格差、所得分配、社会福祉と家族、リスクシェアリングなどに関連させながら社会保障政策、分配政策、社会福祉政策について理解を深めていきます。 3. 実際のデータや実証分析、定量分析の結果を丁寧に検討し、少子高齢社会に対応した、社会保障システム、社会福祉システムを考察していきます。 対応DP及びCP：5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
「専門研究(一)」： 基本的な文献や資料を用いて「社会保障」、「分配問題」、「社会福祉」などについての基礎知識を身につけます。その知識を活用して特定のテーマについて検討、議論を行います。 「専門研究(二)」：「専門研究(一)」で身につけた知識を応用して、各自がより興味のあるテーマを見つけ出し研究を深めていく作業を行います。また同時にゼミ生の間での議論を行います。 「卒業論文」： 各人の問題意識にしたがって卒業論文をまとめます。 ゼミ生による発表、グループスタディー、ディスカッションという形式を中心

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	自己紹介	お互いの自己紹介
第 2 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 3 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 4 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 5 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 6 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 7 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 8 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 9 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 10 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 11 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 12 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 13 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 14 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 15 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 16 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 17 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 18 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 19 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 20 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 21 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 22 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 23 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 24 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 25 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 26 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 27 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 28 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 29 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 30 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					

テキスト
最初のゼミの時に決めます。
参考文献
オフィスアワー
月曜 3 限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
やる気のある方、歓迎です。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	56
担当教員	宮地 忠幸	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3115	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
経済地理学的視点に基づいて、論理的かつ実証的な研究を進めるために必要な視点、スキル等を習得する。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
専門研究（二）と連動して、「班ごとに設定したテーマに基づいて、主体的に先行研究を検討し、統計や資料を収集するとともに、現地での調査等を行い、研究成果を発表するとともに論文を作成する。」ために必要な視点、スキル等を講じる。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	1 年間の授業計画を説明するとともに、履修上の注意事項などを確認する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 自分自身で取り組みたい研究テーマを検討する。
第 2 回	大学で学ぶことは何か？	グループワークを通して「大学で学ぶことは何か」を考える。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 班ごとの見解について確認し、ゼミへの参画のあり方を考える。
第 3 回	文献の集め方	学会と学術雑誌の違いや種類、文献検索方法、文献表記方法を学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題（文献検索、文献表記方法の復習）に取り組む。
第 4 回	論文の読み方 1	問題意識、章構成の立て方を学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 取り組んでみたい研究テーマを複数考える。
第 5 回	論文の読み方 2	実証的な説明の方法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 研究方法および調査方法について復習しておく。
第 6 回	論文の読み方 3	研究目的に対する考察や結論の導出方法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 第 4 ～第 6 回の授業内容を踏まえて、学術論文を 1 本熟読する。
第 7 回	統計の活用 1	統計とは何か？基本的な性格を学ぶ。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に配布された資料を再度読み直しておく。
第 8 回	統計の活用 2	基幹統計の収集方法を学ぶとともに、「専門研究（二）」と連動させて、研究対象地域の統計を集める。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 収集した統計を分析する。
第 9 回	統計の活用 3	第 8 回に続いて基幹統計を取り扱い、収集した統計の分析結果を発表する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 主な基幹統計に掲載されている内容や性格、統計がとられる年次などを確認しておく。
第 10 回	地図の活用 1	一般図と主題図の違い、基本的な性格などを学ぶ。

		【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 地図の基本的性格とルールを復習する。
第 11 回	地図の活用 2	フリーソフトを活用して主題図の作成方法を学ぶ（第 1 回：絶対図の作成方法を学ぶ） 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題に取り組む。
第 12 回	地図の活用 3	フリーソフトを活用して主題図の作成方法を学ぶ（第 1 回：相対図の作成方法を学ぶ） 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題に取り組む。
第 13 回	地図の活用 4	一般図（地理院地図）の活用方法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題に取り組む。
第 14 回	地図の活用 5	一般図（ベクター地図の作成）の活用方法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題に取り組む。
第 15 回	前期の振り返り	前期の授業内容を振り返り、習得できた能力やスキルを確認する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 前期振り返りシートに回答し、提出する。
第 16 回	質問票の作成方法 1	アンケート調査（留置法）を想定して、質問票の作成方法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 質問票を作成するにあたって注意すべき点を復習する。
第 17 回	質問票の作成方法 2	「専門研究（二）」と連動させて、班ごとに質問票を作成する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 班ごとに質問票を再検討する。
第 18 回	質問票の作成方法 3	「専門研究（二）」と連動させて、班ごとに質問票をレイアウト等にも留意しながら最終的に作成する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 班ごとに質問票を完成させる。
第 19 回	フィールドノートの活用方法 1	フィールドノートの取り方を学ぶ。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に配布された資料を読み直し復習する。

第 20 回	フィールドノートの活用方法 2	調査後に利用できるフィールドノートにするための工夫を学ぶ。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に配布された資料を読み直し復習する。
第 21 回	現地でのヒアリング体験 1 ※オンラインヒアリング	現地でのヒアリングを行う この回は、公的機関へのヒアリングを予定。 【事前学習】2 時間 ここまで準備してきた質問票等を確認しておく。 【事後学習】2 時間 ヒアリングを通して理解できたこと、分からなかったことを整理しておく。
第 22 回	現地でのヒアリング実習 2 ※オンラインヒアリング	現地でのヒアリングを行う この回は、民間事業者へのヒアリングを予定。 【事前学習】2 時間 ここまで準備してきた質問票等を確認しておく。 【事後学習】2 時間 ヒアリングを通して理解できたこと、分からなかったことを整理しておく。
第 23 回	現地でのヒアリングを振り返る	ヒアリングを振り返り、できたこと、反省点を話し合う。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 振り返りシートを作成し、提出する。
第 24 回	地域調査後の作業	お礼状の作成、「調査公害」を生まないために注意したいことを確認する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題に取り組む。
第 25 回	統計学的方法の基礎	科学的真実とは何か。測定とは何か？データの性質と統計尺度を学ぶ 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題に取り組む。
第 26 回	データ分析の方法 1	単純集計とクロス集計、データ行列とデータイメージの作り方を学ぶ。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題に取り組む。
第 27 回	データ分析の方法 2	質的データにおける関連性：クロス表分析 独立性の検定、検定と推定。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題に取り組む。
第 28 回	データ分析の方法 3	量的データにおける関連性：共分散と相関、相関係数と相関行列 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題に取り組む。
第 29 回	データ分析の方法 4	地理的データへの応用：特化係数、標準偏差による地域分析を学ぶ。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で示された課題に取り組む。

第 30 回	後期および一年間の振り返り	後期および一年間の授業内容を振り返り、習得できた能力やスキルを確認する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 年間振り返りシートに回答し、提出する。
--------	---------------	--

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
授業内課題、グループワーク等の内容から総合的に評価する。					

テキスト
特定のテキストは使用しない
参考文献
・野間晴雄・香川貴志・土平 博・山田周二・河角龍典・小原丈明編 2017.『ジオ・パル NEO [第2版]』海青社. これ以外は、適宜紹介する。
オフィスアワー
水曜日 2 時限目を原則とするが、適宜相談に応じる。事前にメールでアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・「経済地理学」や「都市・農村システム論」をはじめとした関連する専門科目の修得も求める。 ・グループで年間研究を行うため、コミュニケーションを丁寧にとりながら、研究を深めていくことを期待したい。 ・無断欠席や遅刻は認めない。欠席する場合は、事前に連絡すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	57
担当教員	村上 英吾	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
ゼミでの学習を通じて、以下の能力を身につけることを目指す。 1. 文献を的確に理解し、その内容を他者に説明できる。 2. 得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。 3. 客観的な資料に基づき、社会・経済問題の原因や背景を分析し、解決策を提案できる。 4. 他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。 対応 DP 及び CP:5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミは、人々の働き方／働かされ方に関する諸問題を研究することを課題とする。 日本の職場をめぐる状況は、働く人々にとって厳しいものになっている。このような状況が、なぜ、どのような形で生じているのか、また、変化の方向を変え、働きやすい職場をつくるにはどうしたら良いのかという点を考察する。また、労働問題を理解するためには、経済問題に対する幅広い知識が必要であるため、労働問題だけにとどまらず、経済問題全般に関して議論する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 2 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 3 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 4 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 5 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 6 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 7 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 8 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 9 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 10 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間

		授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 11 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 12 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 13 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 14 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 15 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 16 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 17 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 18 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 19 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 20 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 21 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定

		【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 22 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 23 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 24 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 25 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 26 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 27 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 28 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 29 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 30 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
初回授業時に指示する					

テキスト
石畑良太郎・牧野富夫・伍賀一道『よくわかる社会政策』ミネルヴァ書房
参考文献
授業内に指示する
オフィスアワー
質問等には適宜対応する。事前にメールでアポイントを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受け身になるのではなく、積極的に取り組むこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究（一）	クラス	
担当教員	村上 直樹	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
米国に代って中国の国際的な影響力がますます高まっています。同じ「漢字文明圏」に属する日本にとって中国の復活・台頭は本来、歓迎すべきことのはずです。もし、現状で必ずしもそうならないとしたら、それは中国について（そして、おそらくは米国についても）まだよく知らないからかもしれません。という訳で、本ゼミでは中国に関してとくにその経済面を中心に理解を深めることを目的とします。ここで理解を深めるとは実際の姿を詳しく知るだけではなく、その背景にある要因を探ることを意味します。中国経済の勉強を通じて、因果関係を明らかにするための計量分析（統計的分析）の方法を身に着けることが、本ゼミのもう一つの目的です。
対応 DP 及び CP : 5 , 6 , 7 , 8
授業概要（教育目的）
中国について経済はもとより、広く政治、文化、歴史等を知るためにテキスト①を参加者で輪読し、議論します。併せて、テキスト②を輪読し、計量分析の基礎としての統計学を学びます。なお、学習到達度を確認するため、適宜レポートを課します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	本授業のガイダンスおよび、参加者の自己紹介を行う。【事前学習】2 時間 自己紹介の準備を行う。【事後学習】2 時間 ガイダンスの内容を確認する。
第 2 回	経済成長の過去と将来 （1）	テキスト①の第 1 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 1 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 3 回	経済成長の過去と将来 （2）	テキスト①の第 1 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 1 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 4 回	計画経済と市場経済 （1）	テキスト①の第 2 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 2 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 5 回	計画経済と市場経済 （2）	テキスト①の第 2 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 2 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 6 回	労働市場（1）	テキスト①の第 3 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 3 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 7 回	労働市場（2）	テキスト①の第 3 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 3 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 8 回	財政と金融（1）	テキスト①の第 4 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 4 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 9 回	財政と金融（2）	テキスト①の第 4 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 4 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 10 回	技術（1）	テキスト①の第 5 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 5 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 11 回	技術（2）	テキスト①の第 5 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 5 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 12 回	市場経済のなかの国有企業 （1）	テキスト①の第 6 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 6 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 13 回	市場経済のなかの国有企業 （2）	テキスト①の第 6 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 6 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 14 回	外資系企業と対外開放政策 （1）	テキスト①の第 7 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 7 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 15 回	前期のまとめ	前期のまとめを行う。
第 16 回	外資系企業と対外開放政策 （2）	テキスト①の第 7 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 7 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 17 回	民間企業と産業集積 （1）	テキスト①の第 8 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 8 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 18 回	民間企業と産業集積 （2）	テキスト①の第 8 章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の第 8 章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 19 回	中国の前途に待ちかまえる 罫（1）	テキスト①の終章を輪読する。【事前学習】2 時間 テキスト①の終章を予習する。【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。

第20回	中国の前途に待ちかまえる 罫（2）	テキスト①の終章を輪読する。【事前学習】2時間 テキスト①の終章を予習する。【事後学習】2時間 授業内容を復習する。
第21回	ばらつきのスタイル	テキスト②の第3章を輪読する。【事前学習】2時間 テキスト②の第3章を予習する。【事後学習】2時間 授業内容を復習する。
第22回	ばらつきの法則（1）	テキスト②の第4章を輪読する。【事前学習】2時間 テキスト②の第4章を予習する。【事後学習】2時間 授業内容を復習する。
第23回	ばらつきの法則（2）	テキスト②の第4章を輪読する。【事前学習】2時間 テキスト②の第4章を予習する。【事後学習】2時間 授業内容を復習する。
第24回	見本で全体を推定する[その1]（1）	テキスト②の第5章を輪読する。【事前学習】2時間 テキスト②の第5章を予習する。【事後学習】2時間 授業内容を復習する。
第25回	見本で全体を推定する[その1]（2）	テキスト②の第5章を輪読する。【事前学習】2時間 テキスト②の第5章を予習する。【事後学習】2時間 授業内容を復習する。
第26回	見本で全体を推定する[その2]（1）	テキスト②の第6章を輪読する。【事前学習】2時間 テキスト②の第6章を予習する。【事後学習】2時間 授業内容を復習する。
第27回	見本で全体を推定する[その2]（2）	テキスト②の第6章を輪読する。【事前学習】2時間 テキスト②の第6章を予習する。【事後学習】2時間 授業内容を復習する。
第28回	能力を判定する（1）	テキスト②の第7章を輪読する。【事前学習】2時間 テキスト②の第7章を予習する。【事後学習】2時間 授業内容を復習する。
第29回	能力を判定する（2）	テキスト②の第7章を輪読する。【事前学習】2時間 テキスト②の第7章を予習する。【事後学習】2時間 授業内容を復習する。
第30回	1年間のまとめ	1年間のまとめを行う。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行う。 ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					

テキスト
①丸川知雄『現代中国経済』有斐閣、2013 年、2,200 円+税。②大村平『統計のはなし』(改訂版) 日科技連、2002 年、1,700 円+税。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
水曜日 10:00-11:00。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	42
担当教員	村田 直樹	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3134	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
専門研究（一）では、専門研究（二）と卒業論文に向けて、会計学の基本的な用語や考え方を理解し、説明できるようになることを目標とする。また、企業の財務諸表を理解できるようになることを目指す。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では、財務諸表の形式や内容等の財務諸会計の基本的な用語や考え方と、会計による経営管理に使われる管理会計技法の基礎的な事項について学修する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容や進め方などの注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 テキストの第 1 章を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 2 回	グループ活動	それぞれの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 課題についてレポートを作成する。
第 3 回	貸借対照表	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 4 回	損益計算書	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 5 回	キャッシュフロー計算書	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 6 回	棚卸資産	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 7 回	固定資産と減価償却	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 8 回	無形固定資産	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 9 回	負債の会計	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 10 回	純資産の会計	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間

		配布資料等により理解を深める。
第 11 回	リース会計	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 12 回	減損会計	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 13 回	日本の会計制度①	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 14 回	日本の会計制度②	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 15 回	前期のまとめ	前期のまとめを行う。 【事前学習】2 時間 今までの資料を確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 16 回	グループ活動	それぞれの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 課題についてレポートを作成する。
第 17 回	財務諸表分析	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 18 回	原価管理	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 19 回	原価改善	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 20 回	利益計画	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 21 回	経営意思決定支援の会計	テキストの該当箇所をグループで報告し、討論する。

		【事前学習】2 時間 テキストを読み、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。
第 22 回	グループ活動	それぞれの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 課題についてレポートを作成する。
第 23 回	グループ活動	それぞれの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 課題についてレポートを作成する。
第 24 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 25 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 26 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 27 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 28 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 29 回	財務諸表分析	企業の財務諸表に関してグループで報告し、討論する。 【事前活動】2 時間 該当する企業の財務諸表を確認する。 【事後活動】2 時間 配賦資料等により理解を深める。
第 30 回	後期のまとめ	後期のまとめを行う。 【事前学習】2 時間 今までの資料を確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 配布資料等により理解を深める。

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
レポートの作成や授業内の報告は必ず行うこと。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
水曜日 13 : 00～14 : 00。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻などの学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究（一）	クラス	
担当教員	山崎 福壽	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3135	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 経済学的な考え方を理解し、経済学とはどのような学問なのかを説明することができる。 2. 公共部門の役割を理解し、経済学の立場から適切な評価、企画立案をすることができる。 3. 地域が抱える具体的な問題に関して、他人と協力して解決策を探し、ディスカッション、プレゼンテーションを通して他人を説得することができる。 対応 D P 及び C P : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
法や規制が資源配分や所得配分に及ぼす影響について、経済学的な観点から分析するための手法を学ぶ。法律のあり方が、企業や個人の行動にどのような影響を及ぼすかについて考察したうえで、市場的な解決と法や規制による解決を比較検討する。借地借家法についての議論や、日照権を含む土地利用規制のあり方、環境問題を解決するための司法的解決のあり方、企業再生のための法律の持つ意義、規制改革のあり方、知的財産権の保護のあり方等の具体的なテーマについても法と経済学の観点から考えて見たい。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 前期の輪読のスケジュールと担当者の割り当てを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと
第 2 回	指定した文献の輪読①	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	グループワークの実践①	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 4 回	指定した文献の輪読②	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	グループワークの実践②	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 6 回	指定した文献の輪読②	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	グループワークの実践②	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間

		前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 8 回	指定した文献の輪読③	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	グループワークの実践③	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 10 回	指定した文献の輪読④	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	グループワークの実践④	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 12 回	指定した文献の輪読⑤	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	グループワークの実践⑤	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 14 回	指定した文献の輪読⑥	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第15回	グループワークの実践⑦	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第16回	指定した文献の輪読⑧	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第17回	グループワークの実践⑧	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第18回	指定した文献の輪読⑨	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第19回	グループワークの実践⑨	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第20回	指定した文献の輪読⑩	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第21回	グループワークの実践⑩	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。

第 2 2 回	指定した文献の輪読⑪	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 3 回	グループワークの実践⑪	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 2 4 回	指定した文献の輪読⑫	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 5 回	グループワークの実践⑫	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 2 6 回	指定した文献の輪読⑬	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 7 回	グループワークの実践⑬	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 2 8 回	指定した文献の輪読⑭	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 9 回	グループワークの実践⑭	前回実施内容についてグループワークをする。

		【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 3 0 回	全体のまとめ	全体のまとめ・1 年間の振り返り 【事前学習】4 時間 これまでの内容を振り返っておく。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行う。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付ける。 ・学生によるプレゼンテーション、ディスカッションを基本とする。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	0 %	0 %	0 %	100 %	1 0 0 %
評価の特記事項					
授業時の報告・グループワークによる。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	58
担当教員	山下 雄司	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 自らの関心に即して文献や資料を探し、読解、比較判断することができる。 2. 二元論に陥らず、事象を多角的に観察することができる。 3. 社会経済を構成する多様な分野に対する視野を広げることができる。 対応 DP・CP ⇒ 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
当ゼミでの学習の目的は、各自の個人テーマの研究を通じて、現在の経済構造や社会が歴史的にどのように形成されたのかを明らかにすることです。と同時に、どのような問題・困難・機能不全に直面しているのかを明らかにし、目先の安易な解決策にとらわれず、多様かつ長期的な視野を持ち、社会と自分の関係＝自らの進路と向かい合うことを目標にしています。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ゼミの進め方に関するガイダンス	年間スケジュール、作業ルーチン、議事録作成について解説する。 【事前学習】2 時間 ゼミ用 SNS の使い方に慣れておく。 【事後学習】2 時間 ゼミ用 SNS の使い方に慣れておく。
第 2 回	報告の進め方について	雑誌記事報告の進め方を解説する。 【事前学習】2 時間 ゼミ用 SNS で先輩の報告事例を読んでおく。 【事後学習】2 時間 記事報告の資料を探してみる。
第 3 回	資料・文献の収集方法について	各種データベース・検索エンジンを用いて関心のある文献へのアプローチ方法について解説する。 【事前学習】2 時間 データベースを用いて関心のある文献を探しておく。 【事後学習】2 時間 学んだ方法を駆使してデータベースを用いて関心のある文献を探しておく。
第 4 回	図書館ツアー	図書館に行き、実際に文献を入手するまでを体験する。 【事前学習】2 時間 関心のある事象について複数のキーワードを用意しておく。 【事後学習】2 時間 学んだ方法を駆使して関心のある記事を複写しておく。
第 5 回	アイスブレイクとグループワーク①	アイスブレイクを行いゼミ生間で議論のしやすい環境を作る。 【事前学習】2 時間 アイスブレイク方法の説明を読んでおく。 【事後学習】2 時間 ゼミ用 SNS を用いて課題を解く。
第 6 回	アイスブレイクとグループワーク②	アイスブレイクを行いゼミ生間で議論のしやすい環境を作る。 【事前学習】2 時間 アイスブレイク方法の説明を読んでおく。 【事後学習】2 時間 ゼミ用 SNS を用いて課題を解く。
第 7 回	雑誌記事報告の実践①	身近な問題に関する雑誌記事報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた記事報告を読んでおく。 【事後学習】2 時間 ゼミ生全員が回答しやすい質問やクイズを考える。
第 8 回	雑誌記事報告の実践②	身近な問題に関する雑誌記事報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた記事報告を読んでおく。 【事後学習】2 時間 新書とは何かその特徴を調べておく。
第 9 回	新書紹介報告の実践①	関心のあるテーマの新書を選定し紹介する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 10 回	新書紹介報告の実践②	関心のあるテーマの新書を選定し紹介する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。

		【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 11 回	新書紹介報告の実践③	関心のあるテーマの新書を選定し紹介する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 12 回	グループ報告の実践①	指定文献を用いたグループ報告と雑誌記事報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 13 回	グループ報告の実践②	指定文献を用いたグループ報告と雑誌記事報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 14 回	グループ報告の実践③	指定文献を用いたグループ報告と雑誌記事報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 15 回	前期のまとめ	夏合宿での報告についての説明、グループ分け。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 関心のある分野の文献を探しておく。
第 16 回	個人報告への道	個人報告のためのテーマを選定する。 持参した文献が入門としてまた学術的に適しているか吟味する。 【事前学習】2 時間 基礎文献を集めておく。 【事後学習】2 時間 指摘を元にほかの文献も入手する。
第 17 回	個人報告の組み立て方	個人報告の進め方、作り方を解説する。 【事前学習】2 時間 ゼミ用 SNS にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 18 回	個人報告の実践①	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 19 回	個人報告の実践②	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 20 回	個人報告の実践③	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間

		資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 21 回	個人報告の実践④	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 22 回	ゼミ説明会・入室試験の運営方法について	どのような学生に入室してほしいか、またその選抜方法について議論する。 【事前学習】2 時間 自分の入室試験を踏まえ、改善点を考えておく。 【事後学習】2 時間 ゼミ説明会での役割を考える。
第 23 回	個人報告の実践⑤	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 24 回	個人報告の実践⑥	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 25 回	個人報告の実践⑦	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 26 回	個人報告の実践⑧	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 27 回	個人報告の実践⑨	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 28 回	個人報告の実践⑩	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 29 回	個人報告の実践⑪	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 30 回	後期のまとめ	春合宿での報告について説明する。 【事前学習】2 時間 合宿の過去事例をゼミ用 SNS で読んでおく。 【事後学習】2 時間 合宿の準備をする。

授業形式
・質問等のフィードバックは, 講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0	0%	70	30	100%
評価の特記事項					
雑誌記事報告、グループ報告、個人報告によって判断する。					

テキスト
決まったテキストはありません。 グループ報告用テキストは、毎年入室した学生の関心に合わせて読みやすいものを選定しています。
参考文献
各自の研究テーマによって異なる。
オフィスアワー
水曜日 3 限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミで使用する各種ファイル、過去の事例はゼミ用の SNS に保存されている、また一切の連絡も同 SNS を用いて行う。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	59
担当教員	山田 仁志	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	7064	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、経営財務の基本的な仕組みや役割、その方法や現象ならびに研究の方法について学び、それを踏まえた研究を行うための基礎作りを行うことを目的とする。具体的には、以下の能力の習得を目指す。 1. 経営財務論の基礎知識を習得し、説明できる。 2. データの収集と分析、レポートや報告資料の作成など研究に必要な基礎知識を身につけ、実践できる。 3. 報告・ディスカッション・グループワーク等を通じて、建設的な議論を行い、協働して研究を進めることができる。 対応 DP および CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
専門研究（一）では、企業経営における資金の流れに焦点をあて、企業の財務行動を分析し、理解することを目的としている。具体的には、「どのような事業に投資すべきか(投資決定)」「どのように資金を集めるのか(資金調達)」「利益をどのように配分するか(ペイアウト政策)」について、財務の視点から企業経営について考える。また、会計情報や株価等を使った企業価値評価の手法についても学び、企業のデータを使った分析を行う。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	学習内容およびスケジュールの確認	この演習の内容、スケジュール、実施方法などについて説明する。基礎知識として、経営財務論とはどのような学問分野なのかを解説する。 【事前学習】2 時間 教科書を入手し、内容を確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 2 回	輪読の仕方について	テキストの輪読の仕方について学習する。分担担当を決める。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 自分の担当分野を確認する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 3 回	レジュメの作り方	報告のための資料の作り方、諸注意事項について学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 4 回	輪読①	担当者によるテキスト内容の発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 5 回	輪読②	担当者によるテキスト内容の発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 6 回	輪読③	担当者によるテキスト内容の発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 7 回	輪読④	担当者によるテキスト内容の発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 8 回	輪読⑤	担当者によるテキスト内容の発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 9 回	輪読⑥	担当者によるテキスト内容の発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。テキストの該当箇所を讀

		んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 10 回	輪読⑦	担当者によるテキスト内容の発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 11 回	輪読⑧	担当者によるテキスト内容の発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 12 回	輪読⑨	担当者によるテキスト内容の発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 13 回	輪読⑩	担当者によるテキスト内容の発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 14 回	ビジネスゲーム①	企業経営と決算書の関係を理解するため、ビジネスゲームを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 15 回	ビジネスゲーム②	企業経営と決算書の関係を理解するため、ビジネスゲームを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 16 回	後期の学習内容・スケジュールの確認	後期の学習内容およびスケジュールを確認する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 17 回	会計情報に基づく調査・研究①	会計情報を使った ROA・ROE 等の企業分析手法の基礎を学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 18 回	会計情報に基づく調査・研究②	会計情報の収集とデータベースづくり 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。

第 19 回	会計情報に基づく調査・研究③	ROA・ROE を使った企業財務分析の手法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 20 回	会計情報に基づく調査・分析④	企業財務分析の知識を使ったグループワークによる演習を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 21 回	会計情報に基づく調査結果の報告①	グループによる調査結果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 22 回	会計情報に基づく調査結果の報告②	グループによる調査結果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 23 回	会計情報に基づく調査結果の報告③	グループによる調査結果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 24 回	会計情報を用いたビジネスモデル分析①	ROIC を使った企業分析手法の基礎を学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 25 回	会計情報を用いたビジネスモデル分析②	ROIC を使った企業分析手法に必要なデータの収集と整理を行い、手法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 26 回	会計情報を用いたビジネスモデル分析③	ROIC を使った企業分析手法の手法を学び、演習を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 27 回	会計情報に基づくビジネスモデル分析結果の報告①	グループによる調査結果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 28 回	会計情報に基づくビジネスモデル分析結果の報告②	グループによる調査結果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 29 回	会計情報に基づくビジネスモ	グループによる調査結果の報告と質疑応答を行う。

	デル分析結果の報告③	【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 30 回	学習内容の復習	これまで学習した内容を整理し、振り返る。 【事前学習】2 時間 後期の学習内容の総復習を行う。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	60%	40%	100%
評価の特記事項					
授業への参画度，発表，レポートなどから総合的に評価する。					

テキスト
砂川伸幸著 [2017] 『コーポレートファイナンス入門第 2 版』日本経済新聞社
参考文献
中野誠著 [2016] 『戦略的コーポレートファイナンス』日本経済新聞社
砂川伸幸他著[2013]『経営戦略とコーポレートファイナンス』日本経済新聞社
リチャード・ブリーリー他著[2014] 『コーポレートファイナンス第 10 版』日経 BP 社
宮川壽夫著 [2016] 『企業価値の神秘』中央経済社
オフィスアワー
事前にメール等で連絡をすること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
データ分析のときなど PC が必要になるので，あらかじめ用意すること。授業でわからなかったことなどがあれば，遠慮なく質問してほしい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	60
担当教員	行武 憲史	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	7073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，専門研究（一），専門研究（二），卒業論文を通じて，統計学リテラシーを身につけ計量経済学を社会に出で活用できる能力を取得することを目的とします。そのために，専門研究（一）ではその準備として，以下のような基礎的な知識を身につけるようにする。 1.統計学に必要な基礎的な数学の知識を身につける。 2.データ分析に必要な計量経済学の分析手法を理解する。 3.発表に必要なプレゼンテーション能力を身につける。 対応 DP 及び CP：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では，3 年間で統計学的な数値の意味を理解できる統計リテラシーと，データ分析を通じた経済学的な考察力を身に着けることを目的とします。そのため，初年度では実証分析に必要な統計学，計量経済学の基礎を身に着けることを目標とし，初歩の数学および計量経済学のテキスト輪読と，データ分析に必要な表計算ソフト，統計ソフトの使用法について学びます。 そのため，数学，統計学，計量経済学以外にも GIS や機械学習などを授業外でも学習していきます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 配布資料を, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 2 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 1 章「データ分析を整理するための基礎知識」1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 3 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 1 章「データ分析を整理するための基礎知識」2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 4 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 2 章「データを分析するための基礎知識」1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 5 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 2 章「データを分析するための基礎知識」2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 6 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 3 章「相関関係を調べるための数学」1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 7 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 3 章「相関関係を調べるための数学」2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 8 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 3 章「相関関係を調べるための数学」3	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し, ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 9 回	「統計学のための数学教	指定した文献の内容を順番に報告する。

	室」の輪読 第 4 章「バラバラのデータを分析するための数学」1	【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 10 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 4 章「バラバラのデータを分析するための数学」2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 11 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 4 章「バラバラのデータを分析するための数学」3	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 12 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 5 章「連続するデータを分析するための数学」1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 13 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 5 章「連続するデータを分析するための数学」2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 14 回	「統計学のための数学教室」の輪読 第 5 章「連続するデータを分析するための数学」3	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 15 回	まとめ	前期授業のまとめ。 【事前学習】2 時間 これまでの授業の復習。 【事後学習】10 時間 夏季レポートの作成。
第 16 回	夏季レポートの報告及びフィードバック	夏季レポートについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】10 時間 夏季レポートの作成 【事後学習】2 時間 レポートの改善点の確認。
第 17 回	「計量経済学」の輪読 第 1 章「最小 2 乗法」1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 18 回	「計量経済学」の輪読 第 1 章「最小 2 乗法」2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間

		練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 19 回	「計量経済学」の輪読 第 2 章「計量経済学で使われる確率・統計」1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 20 回	「計量経済学」の輪読 第 2 章「計量経済学で使われる確率・統計」2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 21 回	「計量経済学」の輪読 第 3 章「単回帰モデル」1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 22 回	「計量経済学」の輪読 第 4 章「多重回帰モデル」	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 23 回	「計量経済学」の輪読 第 5 章「計量モデルの特定化」	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 24 回	「計量経済学」の輪読 第 6 章「仮説検定」	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 25 回	「計量経済学」の輪読 第 7 章「不均一分散」	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 26 回	「計量経済学」の輪読 第 9 章「操作変数法」	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し、ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 27 回	「計量経済学」の輪読 第 10 章「時系列モデル」	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読

		んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 28 回	「計量経済学」の輪読 第 11 章「パネルデータモデル」	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 29 回	「計量経済学」の輪読 第 12 章「質的従属変数モデル」	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 練習問題を解いて学修内容について理解を深める。
第 30 回	実証分析の進め方	各自の専門研究（二）の研究テーマを検討する。 【事前学習】2 時間 各自の研究テーマをまとめる。 【事後学習】2 時間 各自の報告に対してフィードバックする。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	10%	0%	85%	5%	100%
評価の特記事項					
積極的な発言を望みます。					

テキスト
永野 裕之【著】/岡田 謙介【監修】（2015）『統計学のための数学教室—この1冊で腑に落ちる』ダイヤモンド社。 黒住英司 （2016）『計量経済学』東洋経済新報社。
参考文献
授業時に指示する.
オフィスアワー
火曜 13 時－15 時 水曜 11 時-14 時 30 分 事前に必ずアポイントを取ること。 連絡先は、初回授業時にお知らせします。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
データの統計・計量分析を行うことが必須なので、数学的思考やパソコン操作を嫌がらない学生が望ましい。 ① 3 年次に「経済データ分析Ⅱ」「計量経済学」、2 年次に「経済データ分析Ⅰ」を必ず履修してください。 ②「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」、「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」の講義をしっかり勉強すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	61
担当教員	吉田 博之	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3132	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
このゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目標としている。 （1）マクロ経済学の基本的用語の意味を理解し、日本経済について論理的に説明できるようになる。 （2）マスメディアや政府が提供する経済情報を主体的に収集し、科学的な分析ができるようになる。 （3）マクロ経済学に限らず、多くの分野を学ぶことにより幅広い知識を自律的に探求できるようになる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
このゼミナールでは、経済理論の一分野であるマクロ経済学を学ぶことにより、現実の経済体系や社会構造に関する理解・知見を深めるように努める。例えば、IS-LM 分析を用いることにより、財政政策や金融政策の効果を知ることができる。また、このような知識を前提にして、バブル経済崩壊以後の超低金利政策の意義や不況における経済政策のありかたなどを検討する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ゼミに関するガイダンス	ゼミの内容, ゼミの形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 テキストに目を通しておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し, 当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 2 回	GDP の概念について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また, 発表担当者は資料を事前に作成し, 当日のプレゼンを行う。その後, 参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し, 当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 3 回	物価指数について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また, 発表担当者は資料を事前に作成し, 当日のプレゼンを行う。その後, 参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し, 当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 4 回	マクロ経済学における短期について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また, 発表担当者は資料を事前に作成し, 当日のプレゼンを行う。その後, 参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し, 当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 5 回	マクロ経済学における長期について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また, 発表担当者は資料を事前に作成し, 当日のプレゼンを行う。その後, 参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し, 当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 6 回	経済成長に関する概論について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また, 発表担当者は資料を事前に作成し, 当日のプレゼンを行う。その後, 参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し, 当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 7 回	所得水準の決定について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また, 発表担当者は資料を事前に作成し, 当日のプレゼンを行う。その後, 参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し, 当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 8 回	消費関数の構造について輪	【事前学習】2 時間

	読	全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また、発表担当者は資料を事前に作成し、当日のプレゼンを行う。その後、参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 9 回	財政政策と乗数について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また、発表担当者は資料を事前に作成し、当日のプレゼンを行う。その後、参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 10 回	貨幣の需要（取引動機，投機的動機）について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また、発表担当者は資料を事前に作成し、当日のプレゼンを行う。その後、参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 11 回	貨幣の供給（貨幣乗数，ハイパワードマネー）について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また、発表担当者は資料を事前に作成し、当日のプレゼンを行う。その後、参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 12 回	利子率の決定について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また、発表担当者は資料を事前に作成し、当日のプレゼンを行う。その後、参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 13 回	IS-LM 分析（1）について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また、発表担当者は資料を事前に作成し、当日のプレゼンを行う。その後、参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 14 回	IS-LM 分析（2）について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また、発表担当者は資料を事前に作成し、当日のプレゼンを行う。その後、参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 15 回	IS-LM 分析における労働市場について輪読	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また、発表担当者は資料を事前に作成し、当日のプレゼンを行う。その後、参加者による議論を実施する。

		【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 16 回	後期ゼミに関するガイダンス	前期ゼミの内容、ゼミの形式を振り返り、後期ゼミの進行などについて議論を実施する。 【事前学習】2 時間 各自が前期ゼミの振り返りを行い、それを A4 用紙 1 枚程度にまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 17 回	経済時事レポートの発表、並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は、事前に発表資料を作成しておくこと。なお、経済時事レポートには、テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 18 回	経済時事レポートの発表、並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は、事前に発表資料を作成しておくこと。なお、経済時事レポートには、テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 19 回	経済時事レポートの発表、並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は、事前に発表資料を作成しておくこと。なお、経済時事レポートには、テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 20 回	経済時事レポートの発表、並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は、事前に発表資料を作成しておくこと。なお、経済時事レポートには、テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 21 回	経済時事レポートの発表、並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は、事前に発表資料を作成しておくこと。なお、経済時事レポートには、テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 22 回	経済時事レポートの発表、並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は、事前に発表資料を作成しておくこと。なお、経済時事レポートには、テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。

	並びに参加者による議論	発表担当者は、事前に発表資料を作成しておくこと。なお、経済時事レポートには、テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 23 回	経済時事レポートの発表、 並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は、事前に発表資料を作成しておくこと。なお、経済時事レポートには、テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し、今回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 24 回	日本経済の現状に関するグループワークの実践：グループ A による発表	【事前学習】2 時間 発表担当グループは、事前に発表資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し、今回の話題について熟考・検討すること。
第 25 回	日本経済の現状に関するグループワークの実践：グループ B による発表	【事前学習】2 時間 発表担当グループは、事前に発表資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し、今回の話題について熟考・検討すること。
第 26 回	日本経済の現状に関するグループワークの実践：グループ C による発表	【事前学習】2 時間 発表担当グループは、事前に発表資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し、今回の話題について熟考・検討すること。
第 27 回	日本経済の課題に関するグループワークの実践：グループ A による発表	【事前学習】2 時間 発表担当グループは、事前に発表資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し、今回の話題について熟考・検討すること。
第 28 回	日本経済の課題に関するグループワークの実践：グループ B による発表	【事前学習】2 時間 発表担当グループは、事前に発表資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し、今回の話題について熟考・検討すること。
第 29 回	日本経済の課題に関するグループワークの実践：グループ C による発表	【事前学習】2 時間 発表担当グループは、事前に発表資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し、今回の話題について熟考・検討すること。
第 30 回	1 年間の学修のまとめとその省察	【事前学習】2 時間 1 年間を通じて学んだことの確認とその省察を行うので、事前に発表資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自が復習し、今回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	60%	10%	100%
評価の特記事項					
授業内で提示した課題はすべて提出すること。					

テキスト
中谷巖『入門マクロ経済学』第 5 版
参考文献
授業時に適宜，指示する。
オフィシアワー
原則として，月曜日 13:00～14:00 とする。有意義な時間とするための準備が必要であるから，事前にメールでアポをとることが望ましい。
なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・ゼミナールは大学生活において最も重要な位置を占める。事前学習に力を注ぎ，真摯な態度で参加すること。 ・特段の理由なしに無断欠席や 2 回連続の遅刻は厳重に禁止する。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	62
担当教員	米澤 聡士	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	土 2	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールは、国際経営論の学習を通じて、以下の能力を身につけることを目的とする。 1) 国際経営の仕組みを理解し、ビジネスの現場でその知識を活用する力。 2) 学習した知識を用いて、ロジカルに発想する力。 3) ビジネスの現場で、適切にコミュニケーションをとる力。 対応 DP 及び CP 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールの授業は、主に企業の国際経営戦略を具体的にイメージするためのケース・スタディと、国際経営の仕組みを説明するための理論学習とで構成される。 いずれも、数名ずつのチームを編成し、グループワークを中心に学習を進める。各チームは、所定のテーマについて文献・資料を収集し、発表資料をまとめた上で、授業時にプレゼンテーションを行う。それに対して、受講生全員で質疑応答やディスカッションを行う形を基本とする。なお、課外学習として参加するインターンシップの準備も含めて指導する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についての説明を行う。 【事前学習】1 時間 国際経営論のテキストを予習する。 【事後学習】1 時間 グループごとに発表テーマの確認を行う。
第 2 回	文献・資料収集の方法	前期に実施するケース・スタディの発表、準備の手順、文献・資料収集の方法を説明する。 【事前学習】1 時間 各自の発表テーマに関する文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 チームごとに文献・資料収集の手順を確認し、メンバーの役割等を決定する。
第 3 回	プレゼンテーションの方法	プレゼンテーションの方法について説明する。 【事前学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。
第 4 回	グループワーク（1）	チームごとに収集した文献・資料を共有し、内容を整理する。 【事前学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、必要な文献・資料を収集する。
第 5 回	グループワーク（2）	チームごとに収集した文献・資料を共有し、内容を整理する。 【事前学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、必要な文献・資料を収集する。
第 6 回	グループワーク（3）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとに資料・文献を収集する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーション時に配布するレジюмеを作成する。
第 7 回	グループワーク（4）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとにレジюмеを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、レジюмеを修正する。 プレゼンテーション時に使用する Powerpoint を作成する。
第 8 回	グループワーク（5）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとに Powerpoint を作成する。 【事後学習】 授業でのフィードバックを踏まえ、Powerpoint を修正する。
第 9 回	プレゼンテーション（1）ケース・スタディ	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジюмеを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 10 回	プレゼンテーション（2）ケ	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。

	ース・スタディ	【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 11 回	プレゼンテーション（3）ケース・スタディ	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 12 回	プレゼンテーション（4）ケース・スタディ	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 13 回	プレゼンテーション（5）ケース・スタディ	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 14 回	プレゼンテーション（6）ケース・スタディ	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 15 回	前期総括	前期の学習内容を整理し、フィードバックする。 【事前学習】1 時間 前期の授業内容を整理する。 【事後学習】1 時間 前期の学習成果を確認し、問題意識を整理する。
第 16 回	理論学習の指導	後期の理論学習の進め方について説明し、チームごとにテーマを割り当てる。 【事前学習】2 時間 国際経営論のテキストを予習する。 【事後学習】1 時間 チームごとに学習テーマの確認を行う。
第 17 回	グループワーク（1）	チームごとに収集した文献・資料を共有し、内容を整理する。 【事前学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、必要な文献・資料を収集する。
第 18 回	グループワーク（2）	チームごとに収集した文献・資料を共有し、内容を整理する。 【事前学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、必要な文献・資料を収集する。
第 19 回	グループワーク（3）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとに資料・文献を収集する。

		【事後学習】2 時間 プレゼンテーション時に配布するレジュメを作成する。
第 20 回	グループワーク（４）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとにレジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、レジュメを修正する。 プレゼンテーション時に使用する Powerpoint を作成する。
第 21 回	グループワーク（５）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとに Powerpoint を作成する。 【事後学習】 授業でのフィードバックを踏まえ、Powerpoint を修正する。
第 22 回	プレゼンテーション（１）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 23 回	プレゼンテーション（２）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 24 回	プレゼンテーション（３）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 25 回	プレゼンテーション（４）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 26 回	プレゼンテーション（５）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 27 回	プレゼンテーション（６）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 28 回	インターンシップ準備（１）	インターンシップへのエントリーに関する指導を行う。 【事前学習】2 時間 各自の興味・関心のある企業を選択し、エントリー先企業の候補を整理す

		る。 【事後学習】2 時間 エントリーシートの書き方、自己 PR、志望動機等を整理する。
第 29 回	インターンシップ準備（2）	インターンシップ実習における注意点の説明を行う。 【事前学習】2 時間 インターン実習希望先企業にエントリーする。 【事後学習】2 時間 インターンシップ実習に必要な準備を行う。
第 30 回	後期総括	1 年間のゼミナール活動を整理する。 【事前学習】2 時間 1 年間のゼミナール活動を整理する。 【事後学習】2 時間 ゼミナール活動から得られた学習成果、問題意識を整理する。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
プレゼンテーションの内容だけでなく、質問やディスカッションなど授業への参画度も評価の対象とする。					

テキスト
授業内で指示する。
参考文献
授業内で指示する。
オフィスアワー
火曜日 10 時 40 分～12 時。希望者は事前に Gmail でアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
十分な予習・復習を行い、常に問題意識をもって授業に臨むこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	63
担当教員	リ ケ	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 2	単位区分	選
講義室	A35b	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
The focus of this course is to help students to study and understand the introductory level economics more explicitly and vividly through English learning materials. The corresponding DP and CP Numbers: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
This course will facilitate and enforce students' understanding and knowledge over the basic analytical framework on economics. In particular, it will improve and urge the students' knowledge and ability to express and explain economic theories and issues

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	Course introduction and Information for students Overviewing of the course	Explanation about the course contents, the learning materials, grading, and participation. Self-introduction of the instructor and students. Prior learning (2 hours): briefly read the lecture-notes for the whole semester; Subsequent learning (2 hours): r
第 2 回	Introduction of Economics I	Introduction to Economics with its basic concern and questions, its basic analytical framework and structure, and other relevant issues. Prior learning (2 hours): read and summarize last lecture-note 1; Subsequent learning (2 hours): read and write revie
第 3 回	Introduction of Economics II	Introduction to Economics with its basic concern and questions, its basic analytical framework and structure, and other relevant issues. Prior learning (2 hours): read and summarize last lecture-note 2; Subsequent learning (2 hours): read and write revi
第 4 回	The Basic Economic Problems Analysis I	Introducing the Production Possibilities and Opportunity Cost , The PPF and Marginal Cost , the Preferences and Marginal Benefit, the Gains from Trade, the Economic Growth, the Economic Coordination, etc.. Prior learning (2 hours): read and summar
第 5 回	The Basic Economic Problems Analysis II	Introducing the Production Possibilities and Opportunity Cost, The PPF and Marginal Cost, the Preferences and Marginal Benefit, the Gains from Trade, the Economic Growth, the Economic Coordination, etc.. Prior learning (2 hours): read and summarize last l
第 6 回	Basic Analysis of Demand and Supply I	Describing and analyzing a competitive market, supply and demand. Thinking about a price as an opportunity cost. Explaining how demand and supply determine prices and quantities bought and sold. Using the demand and supply model to make predictions about
第 7 回	Basic Analysis of Demand and Supply II	Describing and analyzing a competitive market, supply and demand. Thinking about a price as an opportunity cost. Explaining how demand and supply determine prices and quantities bought and sold. Using the demand and supply model to make predictions about
第 8 回	Analysis of Elasticity I	Defining, calculating, and explaining the factors that influence the price elasticity of demand, the income elasticity of demand, the cross elasticity of demand, and the elasticity of supply. Prior learning (2 hours): read and summarize last lecture-
第 9 回	Analysis of Elasticity II	Defining, calculating, and explaining the factors that influence the price elasticity of demand, the income elasticity of demand, the cross elasticity of demand, and the elasticity of supply. Prior learning (2 hours): read and summarize last lecture-no
第 10 回	Studies on Economic	Describing the alternative methods for allocating scarce

	Efficiency and Equity I	resources. Explaining the connection between demand and marginal benefit and define consumer surplus. Explaining the connection between supply and marginal cost and define producer surplus. Explaining the conditions under which markets are efficient and inefficient. Explaining the main ideas about fairness and evaluating claims that markets result in unfair outcomes. Prior learning (2 hours): read and summarize last lecture-note 9; Subsequent learning (2 hours): read and write review on today's lecture-note 10.
第 11 回	Studies on Economic Efficiency and Equity II	Describing the alternative methods for allocating scarce resources. Explaining the connection between demand and marginal benefit and define consumer surplus. Explaining the connection between supply and marginal cost and define producer surplus. Explaini
第 12 回	Analysis of Government Actions on Markets I	Describing how rent ceilings create housing shortages. Explaining how minimum wage laws create unemployment. Explaining the effects of a tax. Explaining the effects of production quotas and subsidies. Explaining how markets for illegal goods work. Prior
第 13 回	Analysis of Government Actions on Markets II	Describing how rent ceilings create housing shortages. Explaining how minimum wage laws create unemployment. Explaining the effects of a tax. Explaining the effects of production quotas and subsidies. Explaining how markets for illegal goods work. Prior I
第 14 回	Global Markets in Action I	Explaining how markets work with international trade. Identifying the gains from international trade and its winners and losers. Explaining the effects of international trade barriers. Explaining and evaluating arguments used to justify restricting intern
第 15 回	Global Markets in Action II	Explaining how markets work with international trade. Identifying the gains from international trade and its winners and losers. Explaining the effects of international trade barriers. Explaining and evaluating arguments used to justify restricting intern
第 16 回	Analysis of Utility and Demand I	Explaining the limits to consumption and describing preferences using the concept of utility. Explaining the marginal utility theory of consumer choice. Using marginal utility theory to predict the effects of changes in prices and incomes and to explainin
第 17 回	Analysis of Utility and Demand II	Explaining the limits to consumption and describing preferences using the concept of utility. Explaining the marginal utility theory of consumer choice. Using marginal utility theory to predict the effects of changes in prices and incomes and to explainin
第 18 回	Studies on Consumption Possibilities, Preferences and	Describing a household's budget line and showing how it changes when prices or income change. Using indifference curves to map preferences and explaining the principle of diminishing marginal rate of substitution. Predicting the

	Choices I	effects of changes in price
第 19 回	Studies on Consumption Possibilities, Preferences and Choices II	Describing a household's budget line and showing how it changes when prices or income change. Using indifference curves to map preferences and explaining the principle of diminishing marginal rate of substitution. Predicting the effects of changes in price
第 20 回	Organizing Production I	Explaining the economic problem that all firms face. Distinguishing between technological efficiency and economic efficiency. Defining and explain the principal-agent problem. Distinguishing among different types of markets. Explaining why markets coordinate
第 21 回	Organizing Production II	Explaining the economic problem that all firms face. Distinguishing between technological efficiency and economic efficiency. Defining and explain the principal-agent problem. Distinguishing among different types of markets. Explaining why markets coordinate
第 22 回	Production Output and Production Costs I	Distinguishing between short run and long run. Explaining and illustrating a firm's short-run product curves. Explaining and deriving a firm's short-run cost curves, and long-run average cost curve. Prior learning (2 hours): read and summarize last lecture
第 23 回	Production Output and Production Costs II	Distinguishing between short run and long run. Explaining and illustrating a firm's short-run product curves. Explaining and deriving a firm's short-run cost curves, and long-run average cost curve. Prior learning (2 hours): read and summarize last lecture
第 24 回	Studies on Perfect Competition I	Defining perfect competition. Explaining how a firm makes its output decision. Explaining how price and output are determined in perfect competition. Explaining why firms enter and leave a market. Predicting the effects of technological change in a competitive market
第 25 回	Studies on Perfect Competition II	Defining perfect competition. Explaining how a firm makes its output decision. Explaining how price and output are determined in perfect competition. Explaining why firms enter and leave a market. Predicting the effects of technological change in a competitive market
第 26 回	Studies on Monopoly I	Explaining how monopoly arises. Explaining how a single-price monopoly determines its output and price. Comparing the performance and efficiency of single-price monopoly and competition. Explaining how price discrimination increases profit. Explaining how
第 27 回	Studies on Monopoly II	Explaining how monopoly arises. Explaining how a single-price monopoly determines its output and price. Comparing the performance and efficiency of single-price monopoly and competition. Explaining how price discrimination increases profit. Explaining how
第 28 回	Public Choices and Public Goods I	Explaining why some choices are public choices and how they are made in a political marketplace. Explaining how the free-rider problem arises and how the quantity of public goods is determined. Explaining why governments provide healthcare

		and how our hea
第 29 回	Public Choices and Public Goods II	Explaining why some choices are public choices and how they are made in a political marketplace. Explaining how the free-rider problem arises and how the quantity of public goods is determined. Explaining why governments provide healthcare and how our hea
第 30 回	Course Review	To Review the Content.

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
50%	30%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
In-class presentation and report will be highly appreciated toward course evaluation.					

テキスト
Michael Parkin (2018), Microeconomics (13th edition), Pearson, ISBN-10: 0134744470.
参考文献
Certain Specified. References and Reading Materials may be Distributed to the Class if Necessary.
オフィスアワー
Students are welcomed to talk and discuss the relevant course issues through emails and/or Google Classroom prior to the office hours: Wednesday 15:00 to 17:00 pm, or under appointments.
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
The contents and schedule of the course can be modified responding to interests of the students. Participants should be able to read and understand English well, and should have good interest and knowledge of Economics.
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	64
担当教員	陸 亦群	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3112	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この講義は、新興国の経済発展に焦点を当て、経済開発の歴史的推移、経済開発の基礎的な理論および開発戦略についての基礎知識を習得し、経済開発諸問題に関する分析手法を身に付けることを目指したい。この講義を通じて、新興国の開発問題に常に関心を払うことができ、開発問題の起源と展開について、そして経済開発の諸理論について説明できるようになり、発展途上国が抱える様々な問題への対策を述べることができるようになる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義は、主に開発問題の歴史的展開、経済開発の基礎理論、国際貿易と経済開発を学び、国・地域に関するテーマを中心に、経済開発問題を的確にアプローチする力を養うことを目的とする。この講義を通じて、私たちの暮らしに密接な関わりのある経済開発の現状を勉強して課題を浮き彫りにし、冷静な頭脳と暖かい心をもってどのような解決策が考えられるかを探求していく。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	スタートアップ：経済開発問題へのアプローチ	開発経済学の守備範囲，新興国・発展途上国の定義を理解する。 【事前学習】2 時間 インターネットを活用し統計資料を参照して，世界の諸国の特徴を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り，テキストの関連内容を再度確認しながら復習すること。
第 2 回	開発問題の歴史的把握－南北問題の発生	グループ学習。植民地支配は現地経済にどのような影響を及ぼしたか，植民地独立のインパクトはどのようなものか，南北問題がどのように発生したのかについて学ぶ。 【事前学習】2 時間 報告資料を作成すること。EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 講義資料の内容をよく復習し，植民地支配の現在の途上国経済に与える影響，そして途上国登場の本質的意義を説明できるようにしておくこと。
第 3 回	開発問題の歴史的展開 (1)－第三世界の結束と南北問題の展開	グループ学習。1960 年代と 70 年代に南北問題がいかにして展開したのかについて学ぶ。 【事前学習】2 時間 報告資料を作成すること。発展途上国の連帯は「国連開発の 10 年」や UNCTAD の設立について調べること。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，1960 年代と 70 年代における南北問題の展開を説明できるようにしておくこと。
第 4 回	開発問題の歴史的展開 (2)－新興工業国が登場と南々問題	グループ学習。南北格差拡大と累積債務問題の深刻化，開発問題の急展開について学ぶ。 【事前学習】2 時間 報告資料を作成すること。EcoLink から資料をダウンロードし，よく予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 新興工業国登場のインパクト，南北問題の変容と冷戦終結後の開発問題の急展開を説明できるようにしておくこと。
第 5 回	開発問題の歴史的展開 (3)－グローバル化と新興国経済	グループ学習。新興国とりわけ BRICs の台頭のその可能性について学ぶ。 【事前学習】2 時間 報告資料を作成すること。EcoLink から資料をダウンロードし，よく予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 1990 年代以降の開発問題の展開，市場経済の恩恵と新興国の台頭について説明できるようにしておくこと。
第 6 回	経済開発問題の歴史的推移	グループディスカッションの実践。経済開発問題の歴史的推移についてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 第 2 回から第 5 回までの各回の資料をよく読み，ディスカッションに備え，ポイントとキーワードを押さえて発言の要点を事前に準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り，リアクションペーパーを書くこと。
第 7 回	アジア NIEs の経済発展の軌跡について(1)	グループワーク。各国・政府はどのような経済政策を採用したか。高度経済成長の過程で，各国・地域の経済構造・貿易構造はどのように変化したかを学ぶ。

		【事前学習】2 時間 各国・地域がその当時置かれていた世界経済事情はどのようなものであったかについて調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。報告テーマを決め、それに沿って題材を準備すること。
第 8 回	アジア NIEs の経済発展の軌跡について(2)	グループワーク。アジア NIEs が発展途上国群の中から頭角を現し、高度経済成長を通じて、先進国の水準に短期間で到達した過程について分析する。 【事前学習】2 時間 アジア NIEs の経済事情、政府の役割、開発戦略はどのように展開したかについて調べておくこと。 【事後学習】2 時間 高度経済成長の過程で、アジア NIEs の経済構造・貿易構造はどのように変化したかを説明できるようにしておくこと。報告テーマに沿って発表資料を作成すること。
第 9 回	アジア NIEs の経済発展の軌跡について(3)	グループ報告と討論の実践。アジア NIEs の経済発展の軌跡についての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。 【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り、リアクションペーパーを書くこと。
第 10 回	BRICS (ブラジル, ロシア, インド, 中国, 南アフリカ共和国) 経済の興隆について(1)	グループワーク。BRICS という用語はいつ登場したか突きとめる。BRICS 経済の特徴は何か、その特徴を踏まえて経済発展の可能性と限界を考える。 【事前学習】2 時間 インターネットを活用し統計資料を参照して、BRICS 諸国の経済の基本データおよび経済事情について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。報告テーマを決め、それに沿って題材を準備すること。
第 11 回	BRICS (ブラジル, ロシア, インド, 中国, 南アフリカ共和国) 経済の興隆について(2)	グループワーク。BRICS が世界経済の中で注目を集めることになった経緯をまとめ、その経済的な潜在力を特定するとともに、その経済のもろさについても浮き彫りにする。 【事前学習】2 時間 BRICS 経済が抱えている主な課題について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り、十分に文献等を調べ、報告テーマに沿って発表資料(スライド)を作成すること。
第 12 回	BRICS (ブラジル, ロシア, インド, 中国, 南アフリカ共和国) 経済の興隆について(3)	グループ報告と討論の実践。BRICS (ブラジル, ロシア, インド, 中国, 南アフリカ共和国) 経済の興隆についての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。 【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り、リアクションペーパーを書くこと。
第 13 回	開発経済の基礎理論(1)ー初期の理論的枠組み	グループ学習。初期開発モデルとしての経済発展段階説と線形段階論のハロッド=ドーマー=モデルについて学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 3 章(第 3 節の 1)を読み、報告資料を作成すること。EcoLink から資料をダウンロードし、講義資料を参照し、ポイントを把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業中に出てきたキーワードを説明できるよう

		にしておくこと。
第 14 回	開発経済の基礎理論(2) ー構造論的アプローチ	グループ学習。構造論的アプローチである二重経済発展論（ルイス・モデル）そして国際従属学派の理論について学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 3 章(第 3 節の 2)を読み、報告資料を作成すること。EcoLink から資料をダウンロードし、講義資料を参照し、ポイントを把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 15 回	開発経済の基礎理論(3) ー新自由主義アプローチ	グループ学習。経済開発に関する新古典派のアップロード、ソロー・モデル(外生的成長理論)および新成長理論(内生的成長理論)について学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 3 章(第 3 節の 3)を読み、報告資料を作成すること。EcoLink から資料をダウンロードし、講義資料を参照し、ポイントを把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 16 回	ラテンアメリカ経済と 1980 年代の累積債務問題について(1)	グループワーク。ラテンアメリカ経済が債務を累積させた原因を分析し、債務返済が滞ったことで国際社会とラテンアメリカ経済はどのような対応策を採ったのか、そして、その結果ラテンアメリカ経済はどうなったかについて考える。 【事前学習】2 時間 ラテンアメリカ経済が債務を累積させた原因と経緯について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。報告テーマを決め、それに沿って題材を準備すること。
第 17 回	ラテンアメリカ経済と 1980 年代の累積債務問題について(2)	グループワーク。ラテンアメリカ経済は 1980 年代に債務返済が滞り、経済が大混乱を来した。その原因と復興の過程について分析する。 【事前学習】2 時間 インターネットを活用して資料を収集し、累積債務問題の実態を調べておくこと。 【事後学習】2 時間 累積債務者の解決策と先進国の取り組みを開発経済の下観点から説明できるようにしておくこと。報告テーマに沿って発表資料を作成すること。
第 18 回	ラテンアメリカ経済と 1980 年代の累積債務問題について(3)	グループ報告と討論の実践。ラテンアメリカ経済と 1980 年代の累積債務問題についての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。 【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り、リアクションペーパーを書くこと。
第 19 回	アフリカ経済(サブ・サハラアフリカ諸国)の発展の可能性(1)	グループワーク。BRICS という用語はいつ登場したか突きとめる。BRICS 経済の特徴は何か、その特徴を踏まえて経済発展の可能性と限界を考える。 【事前学習】2 時間 インターネットを活用し統計資料を参照して、BRICS 諸国の経済の基本データおよび経済事情について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。報告テーマを決め、それに沿って題材を準備すること。
第 20 回	アフリカ経済(サブ・サハラアフリカ諸国)の発展の可能性(2)	グループワーク。BRICS が世界経済の中で注目を集めることになった経緯をまとめ、その経済的な潜在力を特定するとともに、その経済のもろさについても浮き彫りにする。 【事前学習】2 時間

		BRICS 経済が抱えている主な課題について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り、十分に文献等を調べ、報告テーマに沿って発表資料(スライド)を作成すること。
第 21 回	アフリカ経済(サブ・サハラアフリカ諸国)の発展の可能性(3)	グループ報告と討論の実践。アフリカ経済(サブ・サハラアフリカ諸国)の発展の可能性についての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。 【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り、リアクションペーパーを書くこと。
第 22 回	CLMV 諸国(カンボジア, ラオス, ミャンマー, ベトナム)の経済発展とメコン地域開発について(1)	グループワーク。メコン地域開発プロジェクトは CLMV 諸国の経済発展にどのような影響を与えるか。その結果と課題は何か。 【事前学習】2 時間 メコン地域開発の概念, そして CLMV 諸国経済の特徴について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。報告テーマを決め, それに沿って題材を準備すること。
第 23 回	CLMV 諸国(カンボジア, ラオス, ミャンマー, ベトナム)の経済発展とメコン地域開発について(2)	グループワーク。インドシナ半島に広がる CLMV 諸国の経済発展の現状と課題及び可能性について, メコン地域開発を踏まえて検討する。 【事前学習】2 時間 CLMV 諸国の経済発展の現状メコン地域における国境経済圏と課題について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 メコン地域における国境経済圏, 開発戦略, そして地政学的リスクについて把握しておくこと。報告テーマに沿って発表資料を作成すること。
第 24 回	CLMV 諸国(カンボジア, ラオス, ミャンマー, ベトナム)の経済発展とメコン地域開発について(3)	グループ報告と討論の実践。CLMV 諸国(カンボジア, ラオス, ミャンマー, ベトナム)の経済発展とメコン地域開発についての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。 【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り, リアクションペーパーを書くこと。
第 25 回	ASEAN(東南アジア諸国連合)の成立と展開について(1)	グループワーク。ASEAN は地域としての経済発展を実現するためにいかなる政策を採ったか, ASEAN における経済協力の結果と課題は何かを考える。 【事前学習】2 時間 ASEAN はなぜ結成されたか, ASEAN 諸国の経済事情について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。報告テーマを決め, それに沿って題材を準備すること。
第 26 回	ASEAN(東南アジア諸国連合)の成立と展開について(2)	グループワーク。ASEAN 経済の現状と課題を検討した上で, 将来の発展の可能性について分析する。 【事前学習】2 時間 ASEAN 諸国のインフラ基盤, 開発戦略, 自由貿易交渉について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 アジアの分業構造・分業関係の深化, GVCs, 開かれた地域主義を説明できるようにしておくこと。報告テーマに沿って発表資料を作成すること。
第 27 回	ASEAN(東南アジア諸国	グループ報告と討論の実践。ASEAN(東南アジア諸国連合)の成立と展開

	連合)の成立と展開について (3)	についての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。 【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り、リアクションペーパーを書くこと。
第 28 回	経済発展と貿易の役割 (1)—国際貿易の実態と経済発展に対する意義	グループ学習。国際貿易に実態を把握し、そのうえ経済発展に対する国際貿易の意義について学び、国際貿易は経済成長のエンジンであるのは何故かを考える。 【事前学習】2 時間 テキスト第 4 章(第 1 節と第 2 節)を読み、報告資料を作成すること。講義資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、「一次産品」、「プレビッシュ＝シンガー命題」、「輸出悲観論」などのキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 29 回	経済発展と貿易の役割 (2)—国際分業関係の深化と経済発展	グループ学習。国際貿易理論は国家から産業、そして企業の視点へと進展していく。この回では、企業の海外進出は発展途上国にどのようなインパクトを与えたか、また国際分業関係の深化と途上国の経済発展との関連性について学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 4 章(第 3 節と第 4 節)を読み、報告資料を作成すること。EcoLink から講義資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、「比較優位」、「消費の多様性」、「独占的競争」、「企業の異質性」などのキーワードを正しく理解
第 30 回	まとめ	開発問題の歴史的推移、経済開発の基本的な課題や開発経済の理論的アプローチ、国際貿易の役割などについてまとめる。 【事前学習】2 時間 テキスト第 1 章から第 4 章までの内容に目を通すこと。 【事後学習】2 時間 講義全体の内容をよく復習し、教材を熟読した上で、これまで各回の授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	60%	40%	100%
評価の特記事項					
評価方法のその他は、提出物の内容（プレゼンテーション資料も含む）などを評価するものである。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
毎週火曜日 11:50～12:50 の間、研究室にて行う（8 号館受付で所定の手続きをとること）。必ず事前にアポイント を取る。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
地道な努力で学力を定着させることがポイントとなる。 必ず毎回の授業に出席すること。十分な予習・復習に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(一)	クラス	65
担当教員	渡邊 修士	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	7071	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
金融を中心に、ミクロ・マクロ経済学の基礎について学び、身の回りの経済の問題についてある程度の考えを論理的に述べられるようになることを目指す。今日の経済において金融の果たす役割は極めて大きく、貨幣や証券等の金融資産を明示的に組み込んだマクロ経済の理解が求められる。教科書の輪読を通して、経済学のものの考え方を身に着けるとともに、議論に積極的に参加し、論理的に主張を展開する能力の獲得を目指す。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
基本的な金融の教科書(グラフィック 金融論 第 2 版, 細野他著)を輪読し、学生同士が議論をし教師が補足説明する中で、金融論を中心にミクロ・マクロ経済学の基礎を学ぶ。ゼミ生は金融市場論を受講することが求められており、それを通して金融についての基礎的な概念を学ぶことで、学習効率を高める。併せて、毎回、経済や金融及びその周辺分野についての日経新聞の記事を読み、それについて発表し皆で議論する。これを通して、今日の経済の問題に目を向けるとともに、問題を考える際にどのようにして経済学の考え方を応用するかも理解する。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	Introduction : 経済学の考え方	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 2 回	金融システム(1) 金融システムの基本	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 3 回	金融システム(2) 金融システムの諸問題	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 4 回	貨幣(1) 貨幣の定義, Monetary base , Money stock	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 5 回	貨幣(2) インフレ・デフレ, 貨幣数量説	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 6 回	企業の資金調達(1) 企業の資本構成	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 7 回	企業の資金調達(2) 企業金融	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 8 回	銀行(1) 銀行ビジネス, risk 管理	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 9 回	銀行(2) 銀行経営	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 10 回	金融規制(1) 預金保険, 自己資本比率	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 11 回	金融規制(2) BIS 規制, 政府の金融活動	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 12 回	利子率(1) 債券利回り, 期間構造	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 13 回	利子率(2) 割引現在価値, 名目・実質金利利子率	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 14 回	利子率(3) 貯蓄と投資	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 15 回	前期のまとめ	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 16 回	株価(1) 株式市場, 株式収益率	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 17 回	株価(2) 株価の決定,	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書

	株式 portfolio	報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 18 回	株価(3) 株式投資	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 19 回	為替レート(1) 為替レ ート, 通貨制度	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 20 回	為替レート(2) 名目・実 質為替レート, 国際収支	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 21 回	為替レート(3) 為替レ ートの決定	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 22 回	貨 幣 の 需 要 と 供 給 (1) 貨幣供給	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 23 回	貨 幣 の 需 要 と 供 給 (2) 貨幣需要	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 24 回	貨 幣 の 需 要 と 供 給 (3) 名目利子率の決定	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 25 回	金融政策(1) 中央銀行	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 26 回	金融政策(2) 金融政策 の目的, 手段, メカニズム	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 27 回	金融政策(3) 非伝統的 金融政策	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 28 回	後期のまとめ	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 29 回	Discussion(1) 今日の 経済社会の問題点	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習
第 30 回	Discussion(2) 今日の 経済社会の問題点	【事前学習】 2 時間 : Classroom からの配布資料の予習. 教科書 報告者は説明資料作成, 新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 : 授業内容の復習

授業形式
・質問等のフィードバックは, 講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
積極的発言・質問を重視する					

テキスト
グラフィック 金融論 第2版, 細野・石原・渡部著 新世社
参考文献
金融市場論講義資料
オフィスアワー
木曜日 9:00-11:00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミのレベルは高いので、欠席するとその後の理解は困難になる。経済学は学習の積み重ねによって初めて理解が可能となる。授業に真面目に出席し理解に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2